

ディベートにおける談話構造の日米比較

井上, 奈良彦
九州大学大学院言語文化研究院 : 助教授

<https://hdl.handle.net/2324/4777973>

出版情報 : 平成11年度～平成13年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (2)) 研究成果報告書 : ディ
ベートにおける談話構造の日米比較, pp.1-168, 2002-03
バージョン :
権利関係 :

ディベートにおける談話構造の日米比較

課題番号 11610561

平成 11 年度～平成 13 年度
科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））
研究成果報告書

平成 14 年 3 月

研究代表者 井上 奈良彦
（九州大学 大学院言語文化研究院 助教授）

Comparative Study of Discourse Structures in Japanese and American Debating

GRANT-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH (KAKEN)

PROJECT No. 11610561

TERM OF PROJECT: 1999 - 2001

SUMMARY OF RESEARCH RESULTS

This research project has reexamined and proposed tentative models of analyzing discourse structures of "Academic Debate"--educational/competitive debate practiced in Japan and the United States. It also involves audio/video recording of those debates as well as transcribing them. The tentative models have been applied to the analysis of those transcribed debates. The data collection was successful in Japanese participants debating in Japanese and English in line with the originally planned number of debates. The number of collected debate speeches was smaller than the original plan for American participants debating in English due to unexpected decline in the participants in targeted debate tournaments.

One of the examined frames of analysis is based on the logical structure of arguments (Toulmin's Model). In coding elements of arguments that appear in debate speeches, the decision was based on the intention of the speaker judged by members of the target speech community ("debate community") including the head investigator. A tentative comparison was conducted based on the linear time order of the elements that consist of arguments.

In order to pursue more detailed analysis of discourse structures, attempts have been made to apply "Linguistic Approach" of Discourse Analysis to debate speeches. Debate speeches were analyzed in order to establish "moves" and "acts" that specifically characterize discourse structures in debate. These analyses involve determination of temporal and hierarchical relationship of the discourse units in debate speeches. They also involve their interaction (e.g., presentation of argument, proof, question, response, counterargument).

Results of the research project will be submitted as conference papers and journal papers, which are currently under preparation.

Narahiko INOUE

Associate Professor, Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University

The print version of this report was published on March 29, 2002. This electronic version is published in the Kyushu University Repository in April, 2022.

はしがき

本書は、平成 11 年度～平成 13 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））課題番号 11610561 の助成を得て行った、日米の競技ディベートにおける議論の談話構造の分析プロジェクトの研究成果報告である。はじめに断っておかなければならないのは、データの収集・分析に予想以上の困難が生じたため、特に分析は試行錯誤の連続であり、今回ここに報告する部分を含め現在の分析結果は最終的なものではありえない。今後、もう一度データの見直しを含めた分析結果の再検討を予定している。

英語競技ディベートにおいて議論の談話構造は、一定の決まり文句的表現と形式スキーマと考えられる話の構成法によって支えられていることがわかっている。このような談話構造は制度化されたコミュニケーションの中の諸要素に条件付けられているとともに、「ディベート・コミュニティー」と呼ばれる一種の言語共同体が共有するコミュニケーションの型として捉えることができる。本研究では、日本人の英語ディベートおよび日米の参加者の母語でのディベートのデータの比較分析を試みた。

研究組織

研究代表者：井上奈良彦（九州大学 大学院言語文化研究院 助教授）

研究協力者：戸倉信之、一瀬清乃、松井智恵、周芹恵、下條かおり
（九州大学 大学院比較社会文化学府修士課程・博士後期課程）

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 11 年度	1,700	0	1,700
平成 12 年度	700	0	700
平成 13 年度	500	0	500
総計	2,800	0	2,800

研究発表

無し

研究成果による工業所有権の出願・取得状況

無し

研究成果

目次

年度別研究概要	p. 6
第 I 部 分析編	p. 9
研究対象のディベート	p. 10
ツールミンモデルを用いた分析 戸倉信之・井上奈良彦	p. 12
Notes on the Method of Analyzing Discourse Structures: Discourse Analysis and Conversation Analysis Narahiko INOUE (井上奈良彦)	p. 38
言語学的アプローチによる談話分析の応用 井上奈良彦	p. 45
第 II 部 文字化資料 (別冊)	

年度別研究概要

平成 11 年度

「アカデミック・ディベート」と呼ばれる日米の教育・競技を目的とするディベートの談話構造の分析方法を検討し、同時に、ディベートの試合のデータを一部収集した。

日本語と英語のディベート各 1 試合について談話構造の分析を試みた。その結果、文字化やコード化の際の問題点がいくつか判明した。また、特に反対尋問においては非言語メッセージの果たす役割を無視することができないことが確認された。スピーチの談話構造においては、「文章構成」に近い形の枠組と議論の論理構造（例えばトゥールミンのモデル）を用いて分析できることを概ね確認した。反対尋問の分析においては井上が先行研究で使用した「質疑応答」の一般的枠組の修正で対応できることを概ね確認した。

福岡地区と東京近辺で行われた日本人による日本語ディベート、日本人による英語ディベート、日本人とアメリカ人による英語ディベートの録画を行い、その一部分のトランスクリプトを作成を始めた。

平成 12 年度

昨年度に引き続き、ディベートの談話構造の分析方法を検討し、同時に、ディベートの試合のデータを収集し文字化を行った。

日本人参加者による日本語のディベートと日本人参加者による英語のディベートについては、ほぼ計画どおりの数の録音・録画をすることができた。アメリカ人による英語のディベートについては、予定した数が確保できていないので、対策を検討した。ディベートの文字化は 1/3 程度終了し、残りの文字化を継続した。

議論の論理構造（特にトゥールミンのモデル）を分析の枠組みの一つとして検討を加えた。コード化を行う場合、あるコード化単位（命題）がモデル内のどの要素に該当するかの認定はディベートが行われているスピーチ・コミュニティーの成員（研究代表者を含む）が発話者の意図性を推測して行う。ただし、実際のディベートの中で発話者以外の参加者の別解釈が生じている場合など、例外的に折衷的な調整を加える

必要があると考えられた。

議論の構造の階層性について検討を加えた。たとえば、ある議論 1 の「根拠」が別の議論 2 によってさらに支えられているとき、構造記述は平面的に行い議論 1 の根拠（根拠 1）と議論 2 の主張（主張 2）を同一のコード化単位（命題）に対して[根拠 1/主張 2]のようなコード化を行うことが解決策 1 である。同じデータを入れ子状に構造記述を行い[根拠 1[議論 2]]のようなコード化を行うことが解決策 2 である。論理構造の記述としては解決策 2 の方が妥当のように思われるが、時系列に沿って生成される談話構造の記述としては解決策 1 のほうが直観的である。ただし、ディベートのスピーチにおいてはサインポストと呼ばれる談話標識が明示的に現れるので入れ子構造にある程度の実体性があるかもしれない。

平成 13 年度

ディベートの談話構造の分析方法を再検討し暫定的モデルを提唱した。録音・録画したディベートを文字化しデータベース化した。暫定モデルを用いて実際のディベートを分析した。

日本人参加者による日本語のディベートと日本人参加者による英語のディベートについては、ほぼ計画どおりの数の録音・録画をすることができた。アメリカ人による英語のディベートについては、収録対象としたディベートの試合での参加者の変動などにより予定より少ないデータ数となった。

議論の論理構造（特にトゥールミンのモデル）を分析の枠組みの一つとして検討を加えた。コード化を行う場合、あるコード化単位（命題）がモデル内のどの要素に該当するかの認定はディベートが行われているスピーチ・コミュニティーの成員（研究代表者を含む）が発話者の意図性を推測して行った。このモデルを利用して時系列に沿って生成される談話構造の記述として利用し、日米のディベートの談話構造の暫定的な比較分析を行った。

さらに詳細な談話構造の分析を行うため、スピーチアクトを利用した「言語学的アプローチ」による談話構造の分析の方法を援用して実際のディベートの分析に当てはめた。ここでは特にディベート参加者の間でほぼ共有されているディベートに特化した「手 (move)」や「行為 (act)」のレベルでの要素を設定しコード化のための基礎

的な分析を行った。

上記の文字化データ、分析モデル、暫定的分析をまとめたものがこの報告書である。また分析の成果は今後学会発表、雑誌論文の投稿を行う予定である。

なお、当初の研究計画に示した、言語情報と非言語情報の相関などの記録・分析は、大学生の英語ディベート練習試合を用いて記録を試みた（ディベーター毎のビデオ録画と準備書面・試合中のメモの入手）。しかし多角的・総合的なデータ収集は今回交付を受けた補助金の額と期間では不可能と判断した。

第Ⅰ部

分析編

研究対象のディベート

今回、研究対象としたディベートは広義にアカデミックディベート（教育ディベート）と呼ばれる議論の訓練を目的としたディベートである。さらにその中でも、政策ディベートと呼ばれる、政策論争を扱い論理的議論と客観的証拠資料を重視しようという規範を持つディベートである。そういったことを重視するために、この種のディベートの中では、弁論者・審査員を含め非常に限られた範囲の内で行われ、聴衆への訴えかけというようなパブリックスピーキング的要素が極力排除される種類のディベートもある。しかし、今回分析対象としたものは、比較的広範囲に参加者や聴衆を募集しているので、パブリックスピーキング的要素もかなり持っている。純粋な学生の競技ディベートも録画記録はしているが、本稿では分析の対象にはしていない。

ディベートの形式は反対尋問型の2人制のチームディベートである。典型的な形式を以下に挙げる。

肯定側第1立論 1st Affirmative Constructive Speech (1AC)	8 min.
否定側反対尋問 Cross-Examination by the Negative Team (1ACCX)	3 min.
否定側第1立論 1st Negative Constructive Speech (1NC)	8 min.
肯定側反対尋問 Cross-Examination by the Affirmative Team (1NCCX)	3 min.
肯定側第2立論 2nd Affirmative Constructive Speech (2AC)	8 min.
否定側反対尋問 Cross-Examination by the Negative Team (2ACCX)	3 min.
否定側第2立論 2nd Negative Constructive Speech (2NC)	8 min.
肯定側反対尋問 Cross-Examination by the Affirmative Team (2NCCX)	3 min.
否定側第1反駁 1st Negative Rebuttal Speech (1NR)	4 min.
肯定側第1反駁 1st Affirmative Rebuttal Speech (1AR)	4 min.
否定側第2反駁 2nd Negative Rebuttal Speech (2NR)	4 min.
肯定側第2反駁 2nd Affirmative Rebuttal Speech (2AR)	4 min.

加えて両方のチームに各試合中に自由に使える準備時間が10分ずつ与えられる。スピーチ、反対尋問、準備時間はトーナメントによって伸縮があるが、いずれも双方のチームに同じだけの時間が配分されている。なお、もともとアメリカの刑事裁判を模

したところから、肯定側が最初にスピーチを始め最後のスピーチを行う。したがって、途中、反駁のスピーチは否定側から開始される。

ツールミンモデルを用いた分析

戸倉信之・井上奈良彦

1.はじめに

本章では、ディベートのスピーチに現れる議論の談話構造を論理構造に基づくモデルを援用して分析することを試みる。ディベートにおける議論は各スピーチ内部では基本的に「主張の議論」（送り手が受け手にある主張を提示し何らかの正当化が行われる行為、およびその生産物としてのテキスト）であり、双方のチームのスピーチが交換されていくことで「やりとりの議論」（相互作用としての議論）を構成していくことになる（井上奈良彦 2000、Inoue 1994）。この章で扱う議論は前者の主張の議論であり、分析にはこの種の議論を念頭に考案されている「ツールミンモデル」と呼ばれるモデルを援用する。

2.ツールミンモデル概観

ツールミンモデルを提唱した Stephan Toulmin はイギリスの哲学者で、彼のモデル（Toulmin 1958 など）は本来日常における議論の妥当性を確かめるモデルであり、ディベートでの議論のためだけに作られたモデルではなかったが、多くのディベート教科書で彼のモデルの模倣したものが掲載されている。その多くは、例えば、ツールミンの言う "ground" が "data" や "evidence" という単語に置き換えられていたり、"warrant" が "reasoning" に置き換えられていたり (e.g. Fryer, Thomas, & Goodnight 1989) といった専門用語が変更されている類のもので、そのモデルの本質については変えられていない。このモデルによって、各議論の構成を分析することが出来、それらの妥当性を確認することが出来る。

彼は議論がいくつかの要素から成り立っていることを提唱し、それらの要素は、claim、ground (=data)、warrant、backing、qualifier、そして rebuttal と呼ばれる。Toulmin, Rieke, & Janik (1984) は各要素を以下のように定義している。

Claim(C):	assertion put forward publicly for general acceptance
Ground(G):	statement specifying particular facts about a situation =Data(D)
Warrant(W):	statement indicating how the facts on which we agree are connected

- to the claim or conclusion now being offered
- Backing(B): generalization making explicit the body of experience relied on to establish the trustworthiness of the ways of arguing applied in any particular case
- Qualifier(Q): phrase that show what kind and degree of reliance is to be placed on the conclusion
- Rebuttal(R): the extraordinary or exceptional circumstance that might undermine the force of the supporting arguments

これらの定義についてはそれぞれの要素について例も交えながらももう少し詳細に見ていきたい。なお、ground に関しては Toulmin を含めて一般に data という用語も多く用いられるので、本稿では同義として両方用いる。

各要素の具体的な種類は、ディベートの教科書などから暫定的なリストを作成し、実際のディベート（日米のディベートを文字化したもの）の分析を通じて抽出したものである。

2.1.Claim(C)

日本語では「主張」とされ、話者が結論として最も言いたい部分のことを指す。大別して、「主張」には4つの種類があり、それぞれ Factual Claim, Definitional Claim, Value Claim, Policy Claim と呼ばれる。

Factual Claim は現在、過去、未来における出来事の発生、存在、ある物や人の状態に関する主張で、客観的なデータや五感を通して聞き手や他人に確認されうるものである。例えば、「死刑制度を廃止した国家では犯罪率が上昇した。」や「アメリカには司法制度として陪審制度がある。」や「日本経済はデフレ傾向にある。」などはそれぞれ出来事の発生、存在、あるものの状態についての主張で、これらはそれぞれ客観的データによって確認しうるものである。

Definitional Claim はある物、事柄がどのように定義、分類されるかに関して述べている主張である。例えばこの主張の例は、「脳死とは人間の自発的な生命活動が失われ、生命維持装置を通してしか呼吸、血液循環が出来ないことである」、「成人とは20才以上のことを指す。」といったものなどである。

Value Claim は Factual Claim と異なり、客観的なデータ、事実では確認が取れない

ものである。例えば、「この花は美しい。」や「この議論はばかげている。」という発話のもととなる花や議論は、発話者にとっては美しい、またはばかげているが、ある人に見れば変な花かもしれないし、妥当な議論かもしれないし、個人個人によって受け取り方も違うため、美しさやばかさ加減を客観的に測ることは出来ない。このような個人の主観的な価値観に関する主張が **Value Claim** とされる。

Policy Claim はある事柄について誰かが何かをすべきである、ということ述べる主張である。例えば、「日本国は一般市民が裁判内容の決定に実質的に関与できるように裁判制度を変えるべきである」といったものがこの種の「主張」の例として挙げられる。

2.2.Ground (G)=Data(D)

日本語では「根拠」や「データ」とされ、主張を基礎付けるものであり、支持するものである。根拠も意見に関するものと事実に関するものの2つに大別され、さらに種類に応じて前者が **Testimony**、後者が **Statistics, Illustration** と分類できる。

Testimony は専門家の証言に基づいた「根拠」である。例えば、「死刑を廃止すれば、死刑の犯罪抑止効果が失われ、犯罪が増加する傾向がある。これは、犯罪研究の第一人者である A 教授が 1995 年の著書で以下のように述べています。引用します。…」や、「日本に陪審制度を導入すると、冤罪の少ないよりよい裁判が実現します。このことは実際に裁判官であった B 氏が 1998 年に述べています。引用を開始します。…」などが **Testimony** の根拠の例である。

Statistics は科学的統計に基づいた「根拠」である。この例としては、「日本人は現在の憲法を改正すべきであると考えている。1999 年に行われた世論調査によると 58% の国民は憲法を改正して国際貢献をすべきであると考えている。」や、「75% のアメリカ国民は同時多発テロに対する報復攻撃を支持している。」などといった統計を基にした議論が挙げられる。

Illustration は具体的事例を挙げる「根拠」である。例えば、「タリバンが政権を執って以降、アフガニスタン国民の人権は侵害されている。女性は仕事が出来なくなったし、子供も教育を受けることも遊ぶことも許されなくなった。男性も顎鬚がないと拷問にかけられる」といった議論が具体例による議論として挙げられる。聞き手がより明確な像を見出せるように具体的に説明をするのに用いられる。**Example**(例示)とも考えら

れる。

2.3.Warrant (W)

日本語では「理由付け」、「論拠」、または「推論」と呼ばれ、「主張」と「根拠」を結びつけ橋渡しするものである。「根拠」から「主張」への飛躍が成り立つように、その理由を表すものである。「論拠」はさらに Authority, Analogy, Cause-Effect, Generalization, Sign などに大別される。

Authority による論拠は、何かについての主張を専門家の意見をもとに行うことである。例えば、「A 氏によると、B 氏の死亡の原因は薬物による中毒死らしい。A 氏は薬物の専門家で、数多くの実験を行ってきたし、その B 氏が言うのだから間違いないだろう。」とか、「景気を回復させるには個人消費を増やすことが一番である。これは、C 氏が言ったことだが、C 氏は様々な経済活動に関する論文が認められた経済学者であり、かつ経済担当の大臣であるから、このことは確かだろう。」などが Authority による論拠となる。

Analogy による論拠は、一方で真実であることが他方でも真実であると言えるほど二つの間に十分な類似性がある場合に使用される。例えば、「経済活動を活発化させ、景気を上向きにするためには、A という政策をとるべきである。これは実際にアメリカにおいて景気を回復するために用いられた方法で、その時は上手く機能した。今回日本で用いるにあたっては上手く機能するだろう。」や、「今までに発売された A 社の携帯電話には不具合が数多く発生したので、今回新発売になった機種も不具合が発生しそうだ。」などが例として挙げられる。前者は日本とアメリカの間において、後者は今までの A 社の携帯電話と新発売の A 社の携帯電話との間において、十分な類似性があるとしての議論ということになる。

Cause-Effect による論拠は、ある種の出来事や状態が、別の種類の出来事や状態の原因となる場合に用いられる。例えば、「彼はタバコを一日二箱吸うので、そのうち肺がんになるだろう。」や「テストの日ずっと頭痛がしていた。今回のテストの結果は悪いだろう。」などが例として挙げられる。前者では喫煙と肺がんの因果関係が、後者では頭痛とテストの結果の因果関係が論じられている。

Generalization による論拠はあるサンプルに対して真実であることが、そのサンプルを含むグループ全体についても真実といえる傾向があるときに使用される。例えば、

「A、B という車は燃費が悪い。だから、A と B の車を作っている会社 C の車は全部燃費が悪いだろう。」や「A さんは国数理社の成績がよい。だから英語もよいだろう」などが **Generalization** による議論として考えられる。前者では A と B という 2 種類の車の例から C 社全体の車に対しての議論を、後者ではいくつかの教科の成績から他の教科の成績についての議論を行っている。

Sign による論拠は、兆候とそれの指し示すものが一緒に起こりうるだろうと予測できるときに用いられる。例えば、「アメリカがイスラエルに対する攻撃の準備を整えつつある中で、イスラエルのアメリカ大使館に勤務する職員がアメリカに帰国をするように命じられた。アメリカのイスラエルに対する攻撃がもうじき始まるのだろう。」や「紅葉が散りつつある中で、渡り鳥が南へ飛び立つのを見た。そろそろ冬がやってくるのだろう。」などはこの議論の例として挙げられる。前者では攻撃を仕掛けるときは自国民を巻き込まないように退去させるだろうという考え、後者では葉が散り渡り鳥が南へ渡るのは冬がくる兆候であるという考えに基づいて議論がなされている。

2.4.Backing (B)

日本語で「裏付け」とされ、「根拠」が「主張」を支えるものであると同様に、「論拠」の妥当性を裏付けるものを示すのが「裏付け」である(井上尚美 1977)。とはいえ、「主張」に対する「根拠」がほぼ必ずといってよいほど明示されているのに対して、「裏付け」は必ずしも明示されず、「論拠」の背後に省略されることが多いのが実情である(Hazen 1984, 井上尚美, 1977)。

2.5.Qualifier (Q)

日本語で「限定」とされ、提示された「主張」や「理由付け」などの確かさの度合いを示すために使用される。具体的には副詞である「おそらく」「たぶん」や、文末の「だろう」「かもしれない」などがある。これによって真か偽かという二者択一ではなく、可能性をも含んだ議論が可能となる。

2.6.Rebuttal (R)

日本語で「反証」や「反駁」と呼ばれ、先の「限定」がなぜ付けられたのかという根拠になるものである。表現としては、「ただし、～である」「もし～であれば」「もし～でなければ」などに表れる。井上尚美(1977)は、ある主張をする際、通常、その

主張の妥当性の範囲には制約があり、その例外既定、どういう場合に制限されるのかという条件、反対の証拠を考慮しておくことは重要であると述べている。相手側から言い出される前に、自身の側からその例外既定について述べておけば、自分の主張の範囲をはっきりさせることが出来、さらに相手側から言い出された後に反証を述べるよりも、信頼されやすいものであると考えられる。

上記のカテゴリーを実際に適応させたツールミン自身がその著書 (Toulmin 1958) で紹介している例を以下に示す。

Anne is one of Jack's sisters (G). Since any sister of Jack's may be taken to have red hair (W), on account of the fact that all his sisters have previously been observed to have red hair (B). So, presumably (Q), Anne now has red hair (C), unless Anne has dyed/ gone white/ lost her hair... (R)

この例のように、彼はたとえそれが日常生活における議論だとしても理論的に分析できることを主張した。

アリストテレスの演繹法やベーコンの帰納法と異なる点は、演繹法と帰納法についての特徴で書いたように、両者はある文が真か偽かのどちらかでしか分けることが出来なかったのに対して、ツールミンのモデルにおいては **Qualifier** や **Rebuttal** などの存在によって必ずしも新か偽かという観点で文を分析する必要がないことが挙げられる。上記の例においても、「もし髪を染めたり、白髪になっていたり、髪が無くなっていなければ」という条件節や、「おそらく」といった限定詞を用いることによって、真か偽かという二者択一ではなく、可能性や蓋然性といった観点も含めて文を分析することが出来るようになった。このことは実際に行われている日常会話などを分析する際には大きな意味を持つように思える。先にも述べたように、日常の議論においては 100% そうである、または 100% そうではないといった分け方では分けることが出来ない文が多いからである。特にアカデミックディベートにおいては、政策決定についての論題が多いが、将来必ず肯定側のいったようになる、または否定側の述べたようになるというよりも、肯定側と否定側のどちらの方がより確からしいかということが焦点となることが多い。この点においては、三段論法や帰納法といった形式よりも、ツールミンのモデルの方がアカデミックディベートを分析するのに適しているとい

えるだろう。

2.7. ツールミンのモデルに対する批判

議論の分析に大きな影響を及ぼしたツールミンのモデルだが、このモデルにも多くの批判は寄せられた。また同時にモデルの修正も試みられた。批判の多くは、モデルの考えを完全には否定し得なかったように思えるが、その中のいくつかを簡単にここで紹介したい。以下の批判や修正案については井上尚美(1977)や島崎(1993)を参照した。

ツールミンのモデルに対しての批判は数多く出版された。(Cooley, 1959., Brockriede, & Ehniger, 1971., Bird, 1961., Cowan, 1964., Manicas, 1966., Anderson & Mortensen, 1967., Trent, 1968., McCroskey, 1966)

ツールミンのモデルに対して、それぞれの要素の定義や基準が不鮮明であるという批判や、議論を分析するには記述されているような複雑な分類はならず、従来の演繹的推理で問題ないとする批判がなされてきた。前者の批判に対しては、ツールミン自身が非常に多くの例を提示してはいるものの、先に述べた定義以外に定義に関する説明をしていないため、曖昧な点は否めない。その曖昧さから例えば、「根拠」「論拠」「裏付け」は、どれもある意味「主張」に対する「根拠」であるから区別する必要はあるのか、といった批判もある。Cowan(1964)も「根拠」と「論拠」の区別の曖昧さをつき、さらにツールミンのモデルではよい議論と悪い議論の区別がつかないと批判し、また議論は多様なものであるから図式化されるものではないとも批判した。こういった批判に対して、島崎(1993)は「論証の良否は全体的に評価されるべきものであり、論証に用いられる素材(認識)が説得的かどうか、それが論証の諸要素に適切に配分されたかどうか、それら諸要素の有機的連関が捉えられたかどうか、などが基準となろう」(p.115)と述べ、Cowan(1964)の批判を退けた。さらに「コーワンは『ツールミン図式』をほぼ全面的に否定するが、これではツールミンらの創造的問題意識は無視されてしまう」(p.115)とも述べ、ツールミンを擁護した。筆者個人の意見としても、議論の良し悪しは決してモデルに沿っているかどうかといったレベルで語られるべきものではないと考えるので、Cowanの批判は的外れと考える。「根拠」と「論拠」の区別が曖昧であるということに関しては、井上尚美(1977)は「根拠」の方は「個別的な事実」(p.127)であり、「論拠」の方が「より一般的な仮説」(p.127)と区別をしている。ただ、

これも何をもって「より一般的な仮説」とするのかについては述べられておらず、明確な区別とは言い難い。こういった個々の要素の定義に関して言えば、多くの批判を払拭しきれていないようにも感じられる。とはいうものの、それらの批判がツールミンのモデルの重要性を完全に否定しきれていないのも事実である。

またさらに、モデルの構造についての批判もなされてきた。例えば、井上尚美(1977)は「W(arrant)にはB(acking)を必要とするのにD(ata)はその裏付けが要求されないという理由がわかりませんし、Q(ualifier)やR(ebuttal)は、場合によってはD(ata)にもW(arrant)にもつきうると思います。さらにB(acking)は、W(arrant)それ自体を1つのC(laim)として見てそのD(ata)に当たると考えることもでき」と述べ、さらに「裏付け」や「限定」、そして「反証」の3つを「主張」や「根拠」、そして「論拠」の但し書きとして一括し、それらのなかでの下位区分として分類をした方が理論的にもすっきりするし、扱いやすいだろうと提案している。「根拠」にも「裏付け」があっても良いと考えられる。ただし、井上尚美(1977)も述べているように「個別的な事実」(p.127)である「根拠」には「裏付け」はあまり必要なく、「より一般的な仮説」(p.127)である「論拠」の方に、より「裏付け」が必要であろう。「根拠」は特に裏付けがなくても「事実」として聞き手に受け入れられるような情報が典型的であるが、「論拠」はあくまでも「より一般的な仮説」でありそれが受け入れられるかどうかは個人個人によって異なるため、「裏付け」が必要になるのだと考えられる。同様に、事実である「根拠」に「おそらく」といった「限定」や「もし〜であれば」といった「反証」もあまり必要ではないと考える。事実とは実際にあった事柄や現実にある事柄を指し、それらには「限定」も「反証」も必要ないのではないだろうか。井上尚美(1977)の提案として「裏付け」は「論拠」を1つの「主張」として考えれば、その「根拠」としてみることが出来る、と述べている妥当であろう。実際の議論においては全ての議論が必ずしも独立しているわけではなく、ある議論が別の大きな議論の下位区分という可能性もある。本研究の分析においてもこうした考え方でっており、それについてはコード化に際して特記すべき事例に述べているので参照してもらいたい。

ツールミンのモデルの修正案の提案は他にも多くある。例えば、McCroskey(1972)は、モデルを、論理的ではなく、聴衆の説得を中心とした心理学的な配慮を基に修正しているし、Trent(1968)もツールミンのモデルを基に7種類の議論の型を提案している。

井上尚美(1977)は、McCroskey(1972)の修正案は次の3つの特徴があるとしている。1つ目は、「根拠」に階層性を設けたこと。具体的には聴衆がすでに持っている知識や信念を第一次資料、その根拠や情報源を第二次資料、さらにその証明として第三次資料を考えている。そして第二次資料や第三次資料は必要な場合それ自身が1つの「主張」として「根拠」や「論拠」を要求することとなる。2つ目は、「裏付け」に関しては論証の主要な要素としては認めていない。もし「裏付け」が必要な場合にはそれ自身1つの証明されるべき「主張」として「根拠」や「論拠」が要求されると考える。そして3つ目は、「反証」は「根拠」「論拠」「主張」のどこにでも入れることができ、また「限定」については独立した項目にしていない。

様々な点を考慮された上で複数の修正案がツールミンのモデルに対して提案されていることから、ツールミンのモデルが議論を分析するための完全なモデルとは考えられない。しかし、議論の構造を分析する際、このモデルが全く役に立たないともいえないだろう。このモデルを出発点として、もし何か不都合な点があれば、よりよいモデルになるように改善していけばよいことだと考える。結局のところ、ツールミンのモデルはアリストテレスによる三段論法の限界を乗り越えるために作られたものであり、「伝統的な三段論法にとって代わろうとするものではなく、三段論法の『補足(supplement)』として考えるべき」(井上尚美 1977)なのである。

次節では、実際にツールミンのモデルを使用してディベートのスピーチを分析した研究を紹介する。

3. 日米ディベーターの議論分析の先行研究

ツールミンのモデルに基づいて、ディベートにおける日本人の議論分析をしたのが Hazen(1984)である。彼はツールミンのモデルを使用しながら、日本人ディベーターの行った反駁スピーチを分析し、比較対照としてアメリカ人ディベーターの反駁スピーチも分析した。彼が立論ではなく反駁を分析対象として選んだのは、反駁スピーチの方が、「自然発生を重視するから」(Hazen, 1984)であった。

分析のサンプルとなったのは1978年から1981年に行われた日本人のディベート大会での決勝戦と準決勝戦をテープ録音したものであり、一方、アメリカ人の分析サンプルは1982年から1984年に行われた高校生のディベート大会での試合を無作為に選んだものである。日本人のサンプルは4試合から14人、アメリカ人は3試合から5

人である。

分析のカテゴリーとしてはツールミンのモデルの6要素が選ばれた。すなわち、「主張」、「根拠」、「論拠」、「裏付け」、「限定」そして「反証」である。このモデルを分析のためのカテゴリーとして選んだ理由として彼は、何が議論を構成する要素かを考える際に広く受け入れられたモデルであり、伝統的な論理学よりも議論の過程をよりよく描写すること、それでいて同時にコード化のシステムとして複雑すぎないことを挙げている。

分析の結果として彼は、ディベートのスピーチ中において、ツールミンのモデルの各要素は平等に使用されてはいないことを挙げている。「主張」や「根拠」、そして「論拠」といった3つの要素は「裏付け」や「限定詞」、そして「反証」に比べてより多くサンプルに表れていた。彼の結果によると、日本人の反駁スピーチの中での全議論における「主張」、「根拠」、「論拠」、「裏付け」、「限定」そして「反証」の各要素のパーセンテージはそれぞれ51%、27%、19%、2%、0%、0%であった。加えて、複数の「根拠」から1つの「主張」が導き出されることが多く、「論拠」については省略されることが多いとも述べている。また、日本人の論理は整った議論の使用に重点をおかれているとも述べている。

彼の結論として、日本人とアメリカ人の主な相違点は日本人の方が整った議論を行う傾向があるとし、類似点としては日米両方のグループで同じものが欠ける傾向があり、それは「論拠」であるとしている。両者を比較し、日本人の方がアメリカ人より整った議論を行う傾向があることについて彼は、アメリカ人はディベートの試合中、前にされた議論や証拠により大きな信頼を置いているからではないかと述べている。その一方で日本人は、理想的な議論にするがために、議論がなされるときは毎回議論を完全に整える必要があると感じるからアメリカ人よりその傾向が強いのではないかと述べている。しかし、この結論に関して彼は、日本人とアメリカ人の相違点を比較するにはアメリカ人のサンプルが十分でなく、異なる文化の要素を比較する際の落とし穴に気をつけるように注意を促している。

戸倉（2002）ではツールミンモデルを用いたコード化を詳細に検討し、日米の大学生英語競技ディベート全国大会の決勝線のトランスクリプトを用いて、立論のスピーチの議論の論理構造の分析を行なっている。なお、本稿は論理構造の分析ではなく、談話構造の分析である。

4.議論の要素のコード化の方法

本研究では、各スピーチから文字化資料に基づいて「議論」を抽出し、言語化された基本3要素を特定し、各議論内における3要素の出現順序を分析する。

4.1.コード化の単位

基本的には、分析の最小単位は文字化された資料から抽出される一命題(Proposition)と考え、特に文(sentence)単位での分析は行わない。これは、本研究がディベートにおける談話構造の分析を行うのではなく、ディベートにおける議論構造のみを明らかにすることを目的としているためである。よって、本章では、スピーチを構成する全ての談話を分析対象とするのではなく、スピーチの中で議論を構成する要素があると認められる部分のみを分析している。文などの形式ではなく、議論という意味内容を分析するために、本章のコード化の単位は一命題とした。Foster, Tonkyn, & Wigglesworth(2000)が述べているように、意味内容からだけコード化の単位を用いると、確実性を作り出しにくいということが言われるが、本章の研究はその意味内容を単位として、それらがどのように議論を構成しているかを明確にすることが目的なのでコード化の単位は一命題とした。

形式的に文の形、主語と述語があるものでないと一命題にならないというわけではない。表層では主語述語がないものも、ディベートの参加者の間では機能上命題に相当する議論と認識していることがあるので、分析でもそのように扱うことにした。例としては、"No proof."や"Turn around."といった句による発話は形式としては主語も述語もないが、前者は「～の証拠がない。」、後者は「相手の議論は逆の結果をもたらす。」というような意味機能を持つと考え、議論の要素として考える。また、"Advantage"といった議論の内容を表す表題(タイトルラベル)も、「プランから利益が発生する。」という意味機能を持つと考え、一つの議論として考慮する。同様のタイトルラベルではあるが、"Contention"というものは、具体的な意味機能を持たないものと考え、分析においては取り上げないこととする。ただし、"Contention"の後に例えば、"War"などといったその内容を指し示す表現があれば、一つの議論を構成するものとして考えるが、書いてない場合でその内容から意味内容が想定出来る場合も自分で想定はしないものとする。以下の例を示す(例に用いているデータは必ずしも今回の研究課題で収集したデータではない)。

Contention1: Non-classification of wastes is the only obstacle for recycling. 1. Consumers want to buy recycled products. Prof. Yorimoto at Waseda Univ., '90:...(1997NAFAT 決勝戦第一肯定側立論より抜粋)

Contention1: a) 1. Legal restriction creates injustice because of non-payments. Watanabe '89: ...(1993JNDT 決勝戦第一肯定側立論より抜粋)

最初の例では"Contention1"の後に主張"Non-classification of wastes..."があり、その後に下位の主張"Consumers want to buy..."が続いている。前者の例では、一番上位の議論に着目すると"Contention1"は"Non-classification of wastes..."と一緒に1つの主張と考え、"Consumers want to buy..."はその主張に対する根拠となる。そして、下位の議論では"Consumers want to buy..."が主張となり、その根拠として証拠資料を持つと考える。しかし、もう一方の後者の例では、"Contention1"のすぐ後には何も無く下位の議論"Legal restriction creates injustice..."が続いている。このときは"Contention1"を最上位の議論の構成要素(主張)としては考えず、"Legal restriction creates injustice..."を最上位の議論として考える。

今回の論文では原則として一命題を一単位として分析を試みるが、ひとつだけ例外を設ける。それは引用に関してで、スピーチ中の引用に関しては引用一括りで一単位とする。引用の中には複数の命題が集合して一つの引用を形作っているものもあるが、その場合それら一つ一つを別々の命題として考えるのではなく、一つの集合体として考え、全体を分析のための一単位として考えることとする。これは引用の中の命題を一つ一つ別々に考えることは実際にディベーターがその引用に持たせている意味と異なる可能性があると考えからである。引用は別に長さに制限などがあるわけではないので、仮に複数の命題を含んだ引用をディベーターが用いたとしたら、主張を支持するためにそれら全体が必要であるとディベーターは考えていると捉えることが出来るし、そうだとすれば引用の中の命題一つ一つを別々に分析するより、引用全体で分析をする方が実際に映しだすのに適切であると考えからである。

4.2.コード化の範疇

コード化のためのカテゴリーとして、ツールミンのモデルの主な 3 要素(主張、根

拠、論拠)を使用する。ツールミンのモデルをコード化のカテゴリーとして使用することに決めたのは、このモデルが議論のモデルとして広く受け入れられているということと、多くのディベートの教科書で証明を立証するためのシステムとしてこのモデルが紹介されていること、さらには、コード化のカテゴリーとして複雑すぎないことが理由として挙げられる。

ツールミンは裏付け、限定、反証といった要素も自身のモデルの中に含んでいるが、これらを分析のための要素に含まない理由は、これらの3つの使用頻度はあまり高くないという分析が Hazen(1984)によってなされているからである。反駁スピーチの中で使用された要素を分析した結果、backing, quantifier, rebuttal の使用頻度はそれぞれ2%、0%、0%であった。加えて、多くのディベートの教科書などでは、議論の構成要素として主張、根拠、論拠の3つを重要なものとして記載し、それら以外は副次的なものとしてされているさらに、例えば、論拠とそれを支持する裏付けの関係は主張とそれを支持する根拠の関係と置き換えることによって説明が付くので、特に主張、根拠、論拠の3つ以下のカテゴリーを使用する必要もないと考えられる。以上の理由からコード化のカテゴリーとして裏付け、限定、反証を使用しないこととする。

4.3. コード化のための範疇の定義

分析のためにはそれぞれのカテゴリーの定義が明確である必要がある。基本的には、Toulmin, Rieke, & Janik(1984)で紹介された定義を使用する。前述の定義を用いてToulmin(1958)が *The Uses of Argument* の中で出している一例が、

Harry was born in Bermuda. (G)

Since a man born in Bermuda will generally be a British subject. (W)

Harry is a British subject. (C)

というものである。「ハリーは英国国民である」という主張(C)を支持するために「ハリーの生まれはバミューダである」という根拠(G)を示し、さらに主張と根拠をつなぐ「バミューダ生まれのものは通常英国国民である」という論拠(W)を紹介している。

この定義は一見問題なさそうに見えるが、実際にはかなり曖昧な定義であり、多くの批判がなされている。例えば、根拠と論拠の違いが不明瞭であり、どちらも主張にとっての根拠として考えられるのでは、といった問題が考えられる。Toulmin もその

著書 *The Uses of Argument* (1958) の中では、各要素の定義を提示した後は、さらに詳細な定義はしておらず、様々な具体例を出してそれぞれ要素の説明としている。

しかし、そもそもこれらの3つの関係は相対的なものであり、この命題は必ず主張となり、こっちの命題は必ず根拠として考えられる、という類のものではなく、全く同じ表現でもある使用では、主張として考えられ、別の使用では根拠として考えられるということも十分に考えられるわけである。例えば、

死刑制度は廃止すべきである。なぜなら死刑は日本が 1999 年に加盟した拷問禁止条約に反しているからです。この条約では、①重い苦痛を与えること(身体的苦痛だけではなく精神的苦痛も含む)、②一定の目的や動機が存在すること、③公務員その他の公的資格で行動するものが何らかの形で関与していること(煽動、同意、黙認による場合を含む)といったものを拷問と規定していて、死刑はそれによると明らかに拷問に当てはまるからです。

といった議論において一番上位の議論では「死刑を廃止すべきである」という部分が主張となり、それを支持する根拠が「死刑は日本が 1999 年に加盟した拷問禁止条約に反している」こととなる。しかし、さらに下位の議論においては「死刑は日本が 1999 年に加盟した拷問禁止条約に反している」の部分が主張となり、拷問を規定する3つの条項がそれをささえる根拠となる。こうした例のように、同じ表現(この場合は「死刑は日本が 1999 年に加盟した拷問禁止条約に反している」という表現)が考察する議論のレベルによって役割を変えることがありうる。

4.4.コード化に際して特記すべき事例

ディベートでは同じ陳述が何度か繰り返し言われることがあるが、その場合は各々の陳述に対して分析を行い、同じだからといって一回にまとめて分析はしない。これは今回の研究の目的がディベート全体の議論の構造ではなくディベーターのスピーチの議論の構造に焦点を当てているためであり、つまりディベーターがディベートの試合全体を通してどのような議論を構成しているかではなく、各スピーチにおいてどのような構成をしているかをみるためである。

ディベートの議論構成は階層構造になっているため、1つの命題が2つの役割を持

っているものとして数えていることがある。先に記述した死刑制度反対に関する例をもう一度取り上げると、一番上のレベルの発話では「死刑は日本が加盟した拷問禁止条約に反している」という命題を1つの根拠として数え、さらに下位のレベルの発話では、1つの主張として数えている。重複する形になってしまうが、ディベートの議論構成を正確に把握するためにはやむをえないことと考える。もし、1つの命題はどちらか一方のカテゴリーにしか属さないということになると、上位レベルの議論の根拠として数えた場合、下位レベルの議論の構成を正確に描写できないし、下位レベルの議論の主張として数えた場合逆に上位レベルの議論構成を描写できなくなってしまうからである。

本章で「議論」という場合は、潜在的には主張、根拠、論拠のすべてが揃っていると仮定する。とはいえ、Hazen(1984)の研究結果にもあるようにディベートの中ですべての要素が明示的に使用された議論はそう多くない。本論で述べる議論においては、各要素は必ずしも明示的に使用されている必要はない。つまりここで談話構造として問題にするのは、明示的に示された要素の提示であり、また、その要素がどういう順序に提示されたかである。

5.英語と日本語によるディベートの分析

本節では、上記の方法に基づいてディベートにおける3種類のスピーチ（日本語話者の日本語=JJ、日本語話者の英語=JE、英語話者の英語=EE）を分析した結果を報告する。今回報告している分析の対象は限定されたものであり、他のデータの分析は稿を改めて公表したい。

本研究課題の当初の比較対象は日米比較であるが、ここでは異文化コミュニケーションにおける国籍・文化・民族などを同定する複雑な問題を避けるために参加者の第1言語（推定）を元に参加者を分類している。たとえば、ここで日本語話者と呼ぶ参加者が日本国籍を有しているかどうかはわからない。

本来日米比較を4通りの組み合わせで対称的に行うためには英語話者の日本語によるディベートのデータが必要であるが、今回の研究の時点では比較可能と考えられるディベートがなかった。ただし、日本でも英語話者が日本語でディベートをしている外国人対象のディベート大会が行われつつあるので、将来そういったデータを分析することが可能になるかもしれない。

5.1.分析対象のデータ

今回の報告する分析の対象としたスピーチは次のものである。英語ディベート参加者のうち英語話者が比較的少ないので、対応する試合から取り出した日本語話者のデータが多くなっている。また、JE1 は JE2 は英語政策ディベートの訓練をほとんど受けていないのに対して、JE3 と JE4 は英語政策ディベートの訓練を受けた参加者であるので、後述するように分析の時に考慮した。

(1) 日本語のディベート 1 試合。

日本語話者=JJ1~JJ4 による 8 個のスピーチ。

(2) 英語によるディベート 4 試合 (A~D)。

日本語話者=JE1~JE4 による 24 個のスピーチ。

英語話者= EE1、EE2 による 8 個のスピーチ。

5.2.分析と結果

前節の方法に基づいて 1 個の議論の中で主張 (Claim=C)、根拠 (Data=D)、論拠 (Warrant=W) が時間的にどの順序で提示されたかを分析した。1 個の議論は最低 3 要素のうちの 1 個が明示的存在することで数え上げている。1 個の議論には主張は最大 1 個とする。根拠と論拠は 1 個の議論に複数存在する可能性があるので、1 個の議論内の要素の組み合わせは理論的には無限にあるが、実際にはごく限られた組み合わせによってデータの大部分をカバーしている。各要素の出現回数の組み合わせは次の表 1 に示すとおりである。今回分析の対象とした 5 試合に 1 回も現れなかった組み合わせの欄は設けていない。もちろん他のデータにこれ以外の組み合わせが生じる可能性は十分ある。

各ディベートのスピーチ毎に議論の要素の組み合わせ順序の出現回数を示した。さらに各スピーチは言語、時間、話す速さが異なるので、おおよその情報量を表すために文字化資料の文字数を示しておく。文字数は英語の場合スペースを含まない文字数である。日本語の場合はほとんどすべてが全角文字であるので、英語の場合との対応を考慮してスペースを含まない文字数 (実際には日本語の場合文字化資料にほとんどスペースはない) を 1.5 倍した数字を載せた。次の表 2 において、この後の比較を容易にするためにを元にして各要素の組み合わせの数の標準化を行う。

表1 各ディベート毎の要素組み合わせ数

日本語ディベート												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数 x1.5
JJ2	1AC	4		7	1		3				15	4209
JJ3	1NC	5		3	8		2				18	4215
JJ1	2AC	9		4	4		2				19	4095
JJ4	2NC	12		4	4		1				21	4326
JJ3	1NR	5		1	10						16	2871
JJ2	1AR	6		3	3						12	2505
JJ4	2NR	1		4	4						9	2814
JJ1	2AR	8		2	3						13	2513
	計	50		28	37		8				123	27548
英語ディベートA												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE1	1AC	1		8	2		1				12	3506
JE3	1NC	7		2	2						11	2667
JE2	2AC	17		4	4						25	3272
EE1	2NC	14		1	1				1		17	3995
JE3	1NR			7	1						8	1588
JE1	1AR	2	1	3	3						9	1899
EE1	2NR	7		1	2						10	1829
JE2	2AR	5		1	3						9	2401
	計	53	1	27	18		1		1		101	21157
英語ディベートB												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE4	1AC	17	2	1	3						23	3000
JE2	1NC	8		4	4			4			20	3959
EE2	2AC	10		1	3			1			15	2669
JE1	2NC	3		4	6						13	2563
JE2	1NR	2		1	1			2		1	7	2385
JE4	1AR	7		1	2						10	1544
JE1	2NR	7		4	1						12	1722
EE2	2AR	8		2							10	1650
	計	62	2	18	20			7		1	110	19492
英語ディベートC												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE3	1AC	11		1					1		13	2487
JE5	1NC	4		6	3			4			17	3707
EE1	2AC	6	1	4							11	3427
JE6	2NC	2		6	3			3			14	3426
JE5	1NR	5	1	3							9	1548
JE3	1AR	5		3							8	1500
JE6	2NR	8		2	7						17	2180
EE1	2AR	10		1							11	2054
	計	51	2	26	13			7	1		100	20329

(表1 各ディベート毎の要素組み合わせ数 つづき)

英語ディベートD												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE7	1AC	24	1	1	1			2		1	30	3859
EE2	1NC	9		1				2			12	2603
JE8	2AC	12		6	5			1			24	3561
JE4	2NC	10		2	6						18	2357
EE2	1NR	8				2					10	1530
JE7	1AR	14		1	2						17	2512
JE4	2NR	8									8	1448
JE8	2AR	10		3	2						15	2213
	計	95	1	14	16	2		5		1	134	20083

表1からわかるように、分布はかなり偏っている。最も多く現れるのはほとんどのスピーチにおいてC（主張だけの議論）である。次いでC+D（主張を述べてその後に根拠を述べる）議論とD+C（根拠を述べてその後に主張を述べる）議論である。さらにC+D+WやC+W+Dという主張の後に根拠と論拠をいずれかを先にして両方述べるという構造である。

先述したように表の1では出現回数をそのまま記載したため、スピーチの時間や話す速さなどによる情報量の差を考慮していない。比較を可能にするために、まず、出現回数を文字化資料で3,000文字相当毎の出現数に換算した。これはほぼ5分間のスピーチに相当する。英語であれば1語5文字として1分間に120語である。当然これより遅い（情報量が少ない）スピーチも速い（情報量が多い）スピーチも存在するが、各スピーチが同じ長さであり（実際は試合形式および立論・反駁の別によって異なる）かつ同じ速度であると仮定して場合に、各スピーチに議論の要素の組み合わせがどのように出現したかを示している。もっとも、1試合においてもともと立論と反駁の長さが異なるので、それを同じと換算することがいいのか疑問も残る。また、同じスピードのスピーチでも繰り返しやいい直しが多かったり意味不明の部分が多いと、ある意味で同じ情報量とは言えない。これらの更なる検討は今後に譲る。

次に、分析するグループ（日本語話者の日本語のスピーチなど）毎に合計したものをその総数に対する割合（%）を算出した。これによって、どの組み合わせが比較的多く用いられるかを表す。表2では試合毎の集計（表1を単純に3,000語文字相当に標準化したもの）した。各試合の要素の組み合わせの合計をグラフ化したものが図1である。

表2 試合毎の議論の要素の組み合わせ (3,000文字換算)

日本語ディベート												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数 x1.5
JJ2	1AC	3	0	5	1	0	2	0	0	0	11	4209
JJ3	1NC	4	0	2	6	0	1	0	0	0	13	4215
JJ1	2AC	7	0	3	3	0	1	0	0	0	14	4095
JJ4	2NC	8	0	3	3	0	1	0	0	0	15	4326
JJ3	1NR	5	0	1	10	0	0	0	0	0	16	2871
JJ2	1AR	7	0	4	4	0	0	0	0	0	15	2505
JJ4	2NR	1	0	4	4	0	0	0	0	0	9	2814
JJ1	2AR	10	0	2	4	0	0	0	0	0	16	2513
	計	45	0	24	35	0	5	0	0	0	109	27548
	%	41.3	0	22	32.1	0	4.6	0	0	0	100	
英語ディベートA												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE1	1AC	1	0	7	2	0	1	0	0	0	11	3506
JE3	1NC	8	0	2	2	0	0	0	0	0	12	2667
JE2	2AC	16	0	4	4	0	0	0	0	0	24	3272
EE1	2NC	11	0	1	1	0	0	0	1	0	14	3995
JE3	1NR	0	0	13	2	0	0	0	0	0	15	1588
JE1	1AR	3	2	5	5	0	0	0	0	0	15	1899
EE1	2NR	11	0	2	3	0	0	0	0	0	16	1829
JE2	2AR	6	0	1	4	0	0	0	0	0	11	2401
	計	56	2	35	23	0	1	0	1	0	118	21157
	%	47.5	1.7	29.7	19.5	0	0.8	0	0.8	0	100	
英語ディベートB												
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE4	1AC	17	2	1	3	0	0	0	0	0	23	3000
JE2	1NC	6	0	3	3	0	0	3	0	0	15	3959
EE2	2AC	11	0	1	3	0	0	1	0	0	16	2669
JE1	2NC	4	0	5	7	0	0	0	0	0	16	2563
JE2	1NR	3	0	1	1	0	0	3	0	1	9	2385
JE4	1AR	14	0	2	4	0	0	0	0	0	20	1544
JE1	2NR	12	0	7	2	0	0	0	0	0	21	1722
EE2	2AR	15	0	4	0	0	0	0	0	0	19	1650
	計	82	2	24	23	0	0	7	0	1	139	19492
	%	59	1.4	17.3	16.5	0	0	5	0	0.7	100	

(表 2 試合毎の議論の要素の組み合わせ (3,000 文字換算) つづき)

英語ディベート C													
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数	
JE3	1AC	13	0	1	0	0	0	0	1	0	15	2487	
JE5	1NC	3	0	5	2	0	0	3	0	0	13	3707	
EE1	2AC	5	1	4	0	0	0	0	0	0	10	3427	
JE6	2NC	2	0	5	3	0	0	3	0	0	13	3426	
JE5	1NR	10	2	6	0	0	0	0	0	0	18	1548	
JE3	1AR	10	0	6	0	0	0	0	0	0	16	1500	
JE6	2NR	11	0	3	10	0	0	0	0	0	24	2180	
EE1	2AR	15	0	1	0	0	0	0	0	0	16	2054	
	計	69	3	31	15	0	0	6	1	0	125	20329	
	%	55.2	2.4	24.8	12	0	0	4.8	0.8	0	100		

英語ディベート D													
話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数	
JE7	1AC	19	1	1	1	0	0	2	0	1	25	3859	
EE2	1NC	10	0	1	0	0	0	2	0	0	13	2603	
JE8	2AC	10	0	5	4	0	0	1	0	0	20	3561	
JE4	2NC	13	0	3	8	0	0	0	0	0	24	2357	
EE2	1NR	16	0	0	0	4	0	0	0	0	20	1530	
JE7	1AR	17	0	1	2	0	0	0	0	0	20	2512	
JE4	2NR	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1448	
JE8	2AR	14	0	4	3	0	0	0	0	0	21	2213	
	計	116	1	15	18	4	0	5	0	1	160	20083	
	%	72.5	0.6	9.4	11.3	2.5	0	3.1	0	0.6	100		

図 1 試合毎の議論の要素の組み合わせ

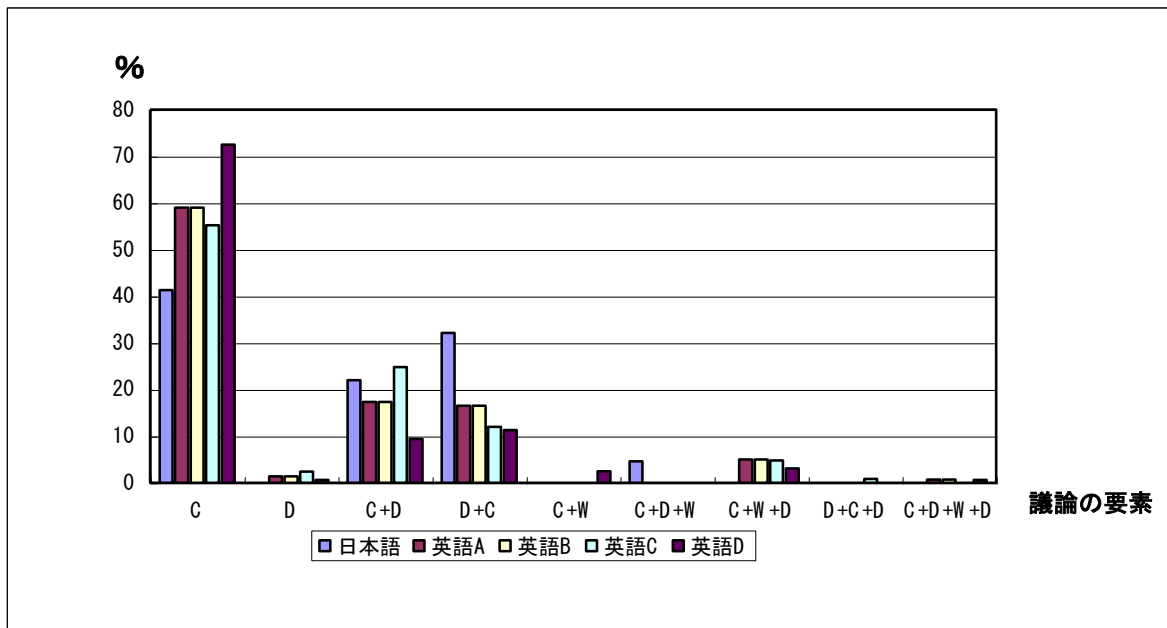


表3ではスピーチ毎に要素の組み合わせの出現頻度集計した。また、各スピーチの合計の内訳をパーセントで表示し、それを図2にグラフ化した。

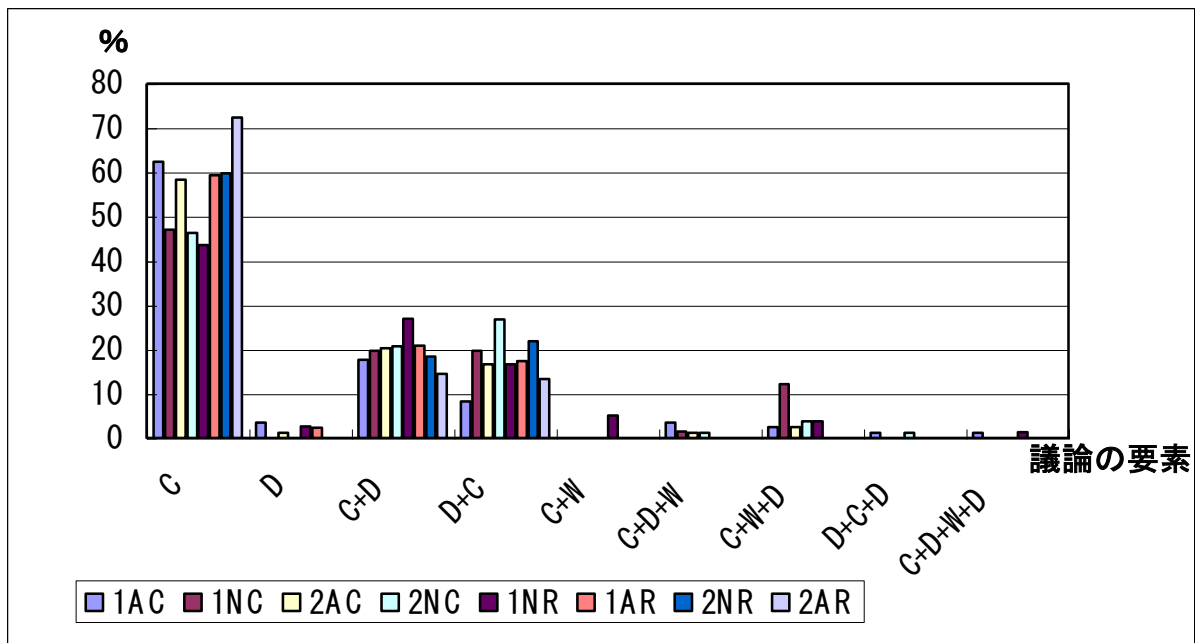
表3 スピーチ毎の要素の組み合わせ (3,000文字換算)

話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE1	1AC	1	0	7	2	0	1	0	0	0	11	3506
JE3	1AC	13	0	1	0	0	0	0	1	0	15	2487
JE4	1AC	17	2	1	3	0	0	0	0	0	23	3000
JE7	1AC	19	1	1	1	0	0	2	0	1	25	3859
JJ2	1AC	3	0	5	1	0	2	0	0	0	11	4209
	計	53	3	15	7	0	3	2	1	1	85	17061
	%	62.4	3.5	17.6	8.2	0	3.5	2.4	1.2	1.2	100	
EE2	1NC	10	0	1	0	0	0	2	0	0	13	2603
JE2	1NC	6	0	3	3	0	0	3	0	0	15	3959
JE3	1NC	8	0	2	2	0	0	0	0	0	12	2667
JE5	1NC	3	0	5	2	0	0	3	0	0	13	3707
JJ3	1NC	4	0	2	6	0	1	0	0	0	13	4215
	計	31	0	13	13	0	1	8	0	0	66	
	%	47	0	19.7	19.7	0	1.5	12.1	0	0	100	
EE1	2AC	5	1	4	0	0	0	0	0	0	10	3427
EE2	2AC	11	0	1	3	0	0	1	0	0	16	2669
JE2	2AC	16	0	4	4	0	0	0	0	0	24	3272
JE8	2AC	10	0	5	4	0	0	1	0	0	20	3561
JJ1	2AC	7	0	3	3	0	1	0	0	0	14	4095
	計	49	1	17	14	0	1	2	0	0	84	
	%	58.3	1.2	20.2	16.7	0	1.2	2.4	0	0	100	
EE1	2NC	11	0	1	1	0	0	0	1	0	14	3995
JE1	2NC	4	0	5	7	0	0	0	0	0	16	2563
JE4	2NC	13	0	3	8	0	0	0	0	0	24	2357
JE6	2NC	2	0	5	3	0	0	3	0	0	13	3426
JJ4	2NC	8	0	3	3	0	1	0	0	0	15	4326
	計	38	0	17	22	0	1	3	1	0	82	
	%	46.3	0	20.7	26.8	0	1.2	3.7	1.2	0	100	
EE2	1NR	16	0	0	0	4	0	0	0	0	20	1530
JE2	1NR	3	0	1	1	0	0	3	0	1	9	2385
JE3	1NR	0	0	13	2	0	0	0	0	0	15	1588
JE5	1NR	10	2	6	0	0	0	0	0	0	18	1548
JJ3	1NR	5	0	1	10	0	0	0	0	0	16	2871
	計	34	2	21	13	4	0	3	0	1	78	
	%	43.6	2.6	26.9	16.7	5.1	0	3.8	0	1.3	100	

(表3 スピーチ毎の要素の組み合わせ (3,000文字換算) つづき)

話者	スピーチ	C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計	文字数
JE1	1AR	3	2	5	5	0	0	0	0	0	15	1899
JE3	1AR	10	0	6	0	0	0	0	0	0	16	1500
JE4	1AR	14	0	2	4	0	0	0	0	0	20	1544
JE7	1AR	17	0	1	2	0	0	0	0	0	20	2512
JJ2	1AR	7	0	4	4	0	0	0	0	0	15	2505
	計	51	2	18	15	0	0	0	0	0	86	
	%	59.3	2.3	20.9	17.4	0	0	0	0	0	100	
EE1	2NR	11	0	2	3	0	0	0	0	0	16	1829
JE1	2NR	12	0	7	2	0	0	0	0	0	21	1722
JE4	2NR	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1448
JE6	2NR	11	0	3	10	0	0	0	0	0	24	2180
JJ4	2NR	1	0	4	4	0	0	0	0	0	9	2814
	計	52	0	16	19	0	0	0	0	0	87	
	%	59.8	0	18.4	21.8	0	0	0	0	0	100	
EE1	2AR	15	0	1	0	0	0	0	0	0	16	2054
EE2	2AR	15	0	4	0	0	0	0	0	0	19	1650
JE2	2AR	6	0	1	4	0	0	0	0	0	11	2401
JE8	2AR	14	0	4	3	0	0	0	0	0	21	2213
JJ1	2AR	10	0	2	4	0	0	0	0	0	16	2513
	計	60	0	12	11	0	0	0	0	0	83	
	%	72.3	0	14.5	13.3	0	0	0	0	0	100	

図2 スピーチ毎に要素の組み合わせ



主張(C)だけの議論を見ると、1NC・2NC・1NR で他のスピーチより少なくなっている。D+C と C+D の組み合わせでは 2NC と 1NR が対比される。これらの点を含め、スピーチによる違いは容易に推測できる原因が結果に反映されていないので、今後さらにスピーチの具体的な内容を検討したり、データを増やしての分析が必要である。たとえば、通常完全に事前準備を行なった原稿を読み上げる 1AC がもっとも規範に忠実な議論構成になるという予測が可能だが、データは必ずしもそうになっていない。

表4では言語の組合せによる集計を行った。日本語話者による日本語のディベート、英語話者による英語のディベート、日本語話者による英語のディベート、という3通りの組み合わせがある。さらに、日本語話者による英語のディベートについては、アカデミックディベートの中でも政策ディベートの訓練を受けていない(ほとんど経験がない)グループ(JE3、JE4)と訓練を受けているグループ(JE1、JE2とJE5～JE8)に分けられる。一方、英語話者は2名とも政策ディベートの訓練はを受けていないと考えられる。日本語ディベートの参加者はすべて政策ディベートの訓練を受けている。

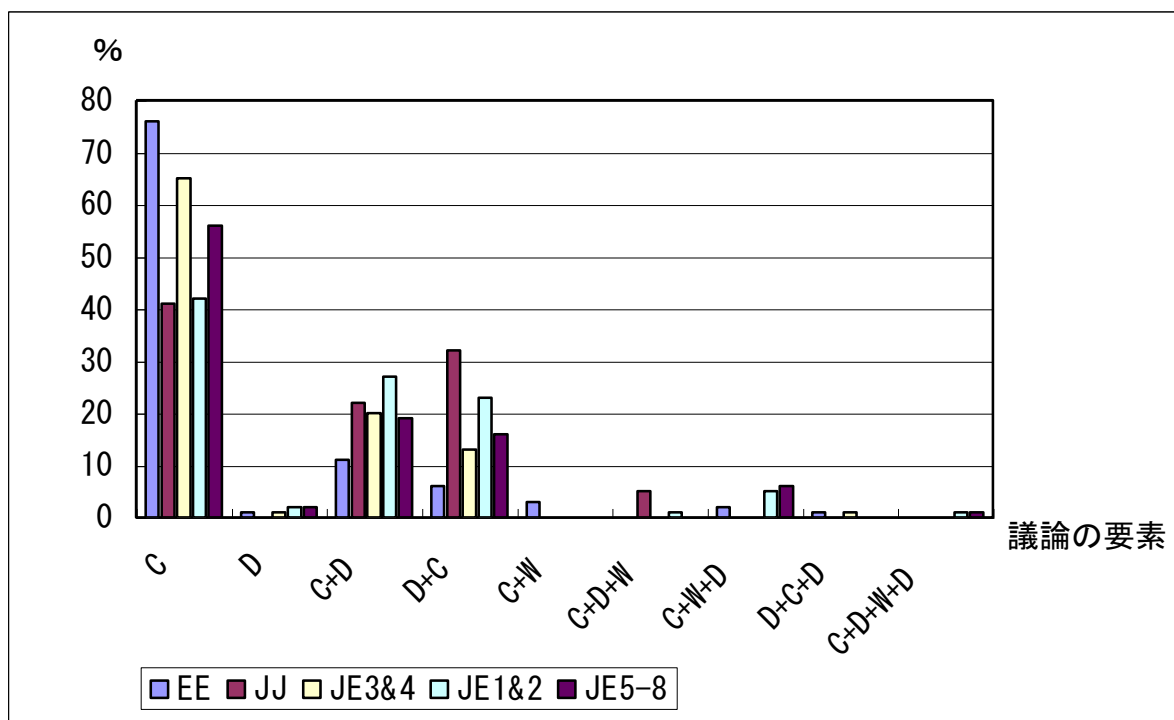
表4 言語の組合せ毎の議論の要素 (3,000文字換算)

日本語話者の日本語											
		C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	TOTAL
JJ1	2AC	7	0	3	3	0	1	0	0	0	14
JJ1	2AR	10	0	2	4	0	0	0	0	0	16
JJ2	1AC	3	0	5	1	0	2	0	0	0	11
JJ2	1AR	7	0	4	4	0	0	0	0	0	15
JJ3	1NC	4	0	2	6	0	1	0	0	0	13
JJ3	1NR	5	0	1	10	0	0	0	0	0	16
JJ4	2NC	8	0	3	3	0	1	0	0	0	15
JJ4	2NR	1	0	4	4	0	0	0	0	0	9
		45	0	24	35	0	5	0	0	0	109
	%	41	0	22	32	0	5	0	0	0	100
英語話者の英語											
		C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	TOTAL
EE1	2AC	5	1	4	0	0	0	0	0	0	10
EE1	2NC	11	0	1	1	0	0	0	1	0	14
EE1	2AR	15	0	1	0	0	0	0	0	0	16
EE1	2NR	11	0	2	3	0	0	0	0	0	16
EE2	1NC	10	0	1	0	0	0	2	0	0	13
EE2	2AC	11	0	1	3	0	0	1	0	0	16
EE2	1NR	16	0	0	0	4	0	0	0	0	20
EE2	2AR	15	0	4	0	0	0	0	0	0	19
	TOTAL	94	1	14	7	4	0	3	1	0	124
	%	76	1	11	6	3	0	2	1	0	100

(表 4 言語の組合せ毎の議論の要素 (3,000 文字換算) つづき)

日本語話者の英語(1) (政策ディベート訓練あり)											
		C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計
JE1	1AC	1	0	7	2	0	1	0	0	0	11
JE1	2NC	4	0	5	7	0	0	0	0	0	16
JE1	1AR	3	2	5	5	0	0	0	0	0	15
JE1	2NR	12	0	7	2	0	0	0	0	0	21
JE2	1NC	6	0	3	3	0	0	3	0	0	15
JE2	2AC	16	0	4	4	0	0	0	0	0	24
JE2	1NR	3	0	1	1	0	0	3	0	1	9
JE2	2AR	6	0	1	4	0	0	0	0	0	11
	計	51	2	33	28	0	1	6	0	1	122
	%	42	2	27	23	0	1	5	0	1	100
日本語話者の英語(2) (政策ディベート訓練なし)											
		C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計
JE3	1AC	13	0	1	0	0	0	0	1	0	15
JE3	1NC	8	0	2	2	0	0	0	0	0	12
JE3	1AR	10	0	6	0	0	0	0	0	0	16
JE3	1NR	0	0	13	2	0	0	0	0	0	15
JE4	1AC	17	2	1	3	0	0	0	0	0	23
JE4	2NC	13	0	3	8	0	0	0	0	0	24
JE4	1AR	14	0	2	4	0	0	0	0	0	20
JE4	2NR	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17
		92	2	28	19	0	0	0	1	0	142
	%	65	1	20	13	0	0	0	1	0	100
日本語話者の英語(3) (政策ディベート訓練あり)											
		C	D	C+D	D+C	C+W	C+D+W	C+W+D	D+C+D	C+D+W+D	計
JE5	1NC	3	0	5	2	0	0	3	0	0	13
JE5	1NR	10	2	6	0	0	0	0	0	0	18
JE6	2NC	2	0	5	3	0	0	3	0	0	13
JE6	2NR	11	0	3	10	0	0	0	0	0	24
JE7	1AC	19	1	1	1	0	0	2	0	1	25
JE7	1AR	17	0	1	2	0	0	0	0	0	20
JE8	2AC	10	0	5	4	0	0	1	0	0	20
JE8	2AR	14	0	4	3	0	0	0	0	0	21
		86	3	30	25	0	0	9	0	1	154
	%	56	2	19	16	0	0	6	0	1	100

図3 言語の組合せ毎の議論の要素



今回の結果からわかることのひとつは、英語話者のデータと日本語ディベートのデータが比較的大きな対照をなしていることである。

次に、C（主張）のみで根拠や論拠を挙げない議論に注目すると、言語の問題よりディベート訓練（経験）の違いによるスピーチの談話構造の違いが大きいことである。つまり、アカデミックディベートの政策ディベートのスタイル（特徴の一つとして引用資料の多様がある）が影響している可能性がある。

C（主張）とD（根拠）の順序については、他の項目についてもある程度同様だが、日本語と英語という使用言語の違いにより、日本語、英語話者の英語、日本語話者の英語の間に違いを想定することができる。つまり、日本語の議論においてC（根拠）を述べてから主張を述べる傾向が強いのに対し、英語での議論は主張を述べてから根拠を述べている。さらに、日本語話者の英語データは日本語と英語話者の英語のデータの間位置付けられると推測できる。このことから日本語話者が英語での議論の談話構造の習得過程にあるという仮説を立てることができる。

6.おわりに

今回の分析は質量ともに暫定的であるが、ツールミンモデルを用いた分析の可能性を十分示唆するものであると言える。

参照文献

- Fryer, M., Thomas, D., & Goodnight, L. 1989. *Basic Debate*. 3rd ed. Lincolnwood, Illinois: National Textbook Company.
- Hazen, M. D. 1984. An analysis of the use and structure of logic in Japanese argument. Paper presented at the Annual Convention of the Speech Communication Association, November, Chicago, Illinois.
- Inoue, N. 1994. *Ways of Debating in Japan: Academic Debate in English Speaking Societies*. Ph.D. Dissertation, University of Hawai'i at Manoa. UMI Order Number 9519451.
- Toulmin, S. E. 1958. *The uses of argument*, Cambridge: Cambridge University Press.
- Toulmin, S., Rieke, R., & Janik, A. 1984. *An introduction to reasoning*. 2nd ed. New York: Macmillan.
- 井上尚美. 1977. 言語論理教育への道. 文化開発社.
- 井上奈良彦. 2000. 「日本人の議論とコミュニケーション」日本コミュニケーション学会編『日本のレトリックとコミュニケーション』（日本コミュニケーション学会創立30周年記念論文集 第1巻）. pp. 73-83.
- 島崎隆. 1993. 対話の哲学—議論・レトリック・弁証法. 増補新版. こうち書房.
- 戸倉信之. 2002. 日米における議論の論理構造--大学対抗ディベート大会での英語スピーチの比較. 九州大学大学院比較社会文化学府修士論文

Notes on the Method of Analyzing Discourse Structures: Discourse Analysis and Conversation Analysis

Narahiko INOUE

1. INTRODUCTION

Discourse can be approached in a variety of ways. Even in Linguistics, albeit broadly defined, as many as six approaches can be identified (Schifflin 1994). Among such approaches, the two probably most influential approaches are called "Discourse Analysis" (hereafter DA) and "Conversational Analysis" (hereafter CA) with capitalized initials (as opposed to more generic terms of "discourse analysis" as any analysis of discourse and "conversation analysis" as any analysis of conversation).

These approaches share two underlying basic assumptions. First, spoken discourse or conversation has some kind of regularities or patterns which can be analyzed. Second, language cannot be analyzed without context and situation taken into account. These are direct anti-theses to the basic assumptions of structural and generative linguistics or 'Saussurean-Bloomfieldian-Chomskyan linguistics' (Stubbs 1983:12). Thus the common objective of DA and CA is to find certain regularities in situated discourse. However, they differ in a number of other ways.

This essay first delimits the two approaches and then discuss these approaches in turn. These two approaches and the proposed eclectic approach to analysis of discourse constitute one methodology when debates are analyzed in the current study.

Let us follow Levinson's dichotomy of DA and CA as two different approaches to the analysis of conversation (Levinson 1983:286), although there's a small problem in his use of the term 'conversation' because it too narrowly limits the two approaches. In the beginning of his chapter on 'Conversational structure', 'conversation' is tentatively defined by Levinson as 'that familiar predominant kind of talk in which two or more participants freely alternate in speaking, which generally occurs outside specific institutional settings like religious services, law courts, classrooms and the like' (Levinson 1983:284). Both DA and CA approaches, however, are not limited to such 'conversation'. DA as its birth was designed to model teacher-pupil interactions in a classroom (Sinclair and Coulthard 1975). CA was originally concerned with such ordinary conversation but has now been used for the analysis of other forms of talk as in legal courts and interview situations (reviewed in Goodwin and Heritage 1990:284). Furthermore, DA may include the analysis of written text, which may also be

called Text Grammar (Levinson 1983:286). I will limit my discussion to the analysis of spoken discourse because DA in this area will be more comparable to CA in terms of kinds of talk under investigation. (Problems of terminology about discourse/conversation analysis are discussed by Stubbs (1983) and Schiffrin (1988).)

2. DISCOURSE ANALYSIS

DA has originally been developed by a group of scholars in Birmingham University, U.K. in order to analyze verbal interaction in classrooms (Coulthard 1977, 1985; Sinclair and Coulthard 1975). DA is modeled after Halliday's functional grammar, hence called 'linguistic approach'. The idea is that the structure of discourse is analogous to that of sentence in the sense that 'the analytic units can be arranged on a rank-scale which implies that units are related in a "consist-of" relationship with smaller units combining with other units of the same size to form larger ones. ... The structure of each unit is expressed in terms of permissible combinations of units from the rank below, ...' (Coulthard 1985:121)

For example, the structure of classroom interaction is proposed to have five ranks: 'lesson', 'transaction', 'exchange', 'move', and 'act'. In a classroom interaction, a three-move structure ('Initiation', 'Response', 'Follow-up') was found to be a typical structure for exchange. This is different from a two-move structure predicted from a simple question-answer pair. In a teacher-pupil exchange, since the teacher often knows the answer that she wants and she gives a comment to the pupil in relation to it, the Follow-up is normally present. Moves consist of acts. This relationship is analogous to that of words and morphemes in sentence grammar. 'Acts are defined principally by their interactive function' (Coulthard 1985:126). A simple exchange structure may be analyzed as follows:

T:	(elicit)	What does the food give you?
P:	(reply)	Strength.
T:	(feedback)	Not only strength we have another word for it.
P:	(reply)	Energy.
T:	(feedback)	Good girl, energy, yes.

(Coulthard 1985:125)

Mapping between form and function is an interpretive process incorporating all the available linguistic and contextual information (Coulthard 1985:129). Taking such information into account, a number of rules are formulated to assign a function to a form.

For example, one of the three rules to interpret a teacher's interrogative as a command is as follows:

Rule 1 Any interrogative is to be interpreted as a command to do if it refers to an action or activity which teacher and pupil(s) know ought to have been performed or completed and hasn't been.

(Coulthard 1985:130)

Thus *Did you shut the door* is interpreted as command when the teacher and the pupils know that the door should have been shut.

In terms of the nature of data used for analysis, DA uses both transcribed naturally-occurring conversation and researcher-constructed data for the sake of making the point. Transcription of DA is usually not as detailed as that of CA.

3. CONVERSATION ANALYSIS

CA has originally been developed by Harvey Sacks, Emanuel Schegloff, and Gail Jefferson in order to describe the underlying social organization in conversation within the field of sociology. The analysis of CA starts with a very detailed transcript of naturally-occurring conversation with such information as micro pauses of less than a second and the exact location of overlaps. Notable features of conversation are demonstrated by multiple examples and especially by participants' orientation, which is one of the key concepts of CA and shall be illustrated now. For example, the ambiguity of a form *Do you know* + embedded WH-question is demonstrated by a phenomenon called 'fourth position repair' (Schegloff 1988:56). The following is an extract from one of the examples given by Schegloff (1988:57-8)

T1	A:	Do you know who's going to that meeting?
T2	B:	Who.
T3	A:	I don't know.
T4	B:	Oh:: Prob'ly Missiz McOwen ...

Two different meanings of T1 are attended to by T2 and T4 respectively. T2 shows that T1 is interpreted as a kind of pre-sequence which is a 'preliminary' to the 'announcement of information'. T2 accordingly responds to the 'pre-announcement' by asking for the

information to be announced. T3 shows that interpretation is wrong. Then T4 responds to the other meaning of T1, i.e. 'request for information'. This analysis is contrasted with indirect speech act analysis, typical of DA, which would predict a different ambiguity set. A direct speech act is a request for information about the speaker A's knowledge. An indirect speech act is a request for information asked for by the embedded question.

The importance of this analytic method of CA is noted as follows:

The great virtue of sequences of talk with fourth position repairs is that they provide an opportunity to see two different analyses by a same recipient of a same utterance in the same context. That is, virtually everything is 'held constant' between T2 and T4, which display two different analyses by B of the same utterance by A, the one at T1. This is as close as one can get to something like experimental 'control' under otherwise purely naturalistic conditions. (Schegloff 1988:57)

This attitude of analysis is typical of CA in using participants' orientation realized in text.

Another important theoretical and methodological assumption of CA is its treatment of context. Context is viewed dynamically, i.e., 'every action is simultaneously context shaped ... and context renewing ... [this view] suggests the inadequacy of any view that treats context as a static field surrounding the sentence, speech event, or other action' (Goodwin and Heritage 1990:289). Ideally CA utilizes context which is attended to participants (Goodwin and Heritage 1990:289; Grimshaw 1990c:313), i.e., context is considered from a viewpoint of participants' orientation.

4. CRITICAL EVALUATION

4.1. DISCOURSE ANALYSIS

DA reveals what's going on not only in terms of the sequential organization of discourse (the level of moves) but also in terms of content (the level of acts). This is substantial difference from a strict CA approach which avoids generalized claims beyond the level of sequential organization. This is why Labov and Fanshel, although strongly inspired by CA, were attracted to DA approach (Labov and Fanshel 1977:22). This strength of DA at the same time creates a theoretical problem of mapping between utterances (form) and acts (functions). Levinson (1983:289-294) makes a strong case against an assumption underlying DA. He argues that '[t]here is a *specifiable function*, and hopefully a *procedure*, that will map utterance units into speech acts and vice versa' (Levinson 1983:289, italics original).

The lack of strict one-to-one relation between utterances and acts (more than one act being assigned to one unit of utterance and one act being assigned to more than one utterance) are recognized by DA scholars as well (Coulthard 1985:143).

Another criticism raised by Levinson is that 'ill-formed' sequences in conversation is almost impossible because any utterance which produces a seemingly ill-formed sequence is likely to be interpreted as meaningful in some context (Levinson 1983:292). But the concept of ill-formedness in sentence grammar should not literally be applied to discourse (Coulthard 1985:144). The discussion of contextual interpretation of utterances by Coulthard (1985:144-5) shows not only the importance of CA-type analysis but also the need for more liberal use of contextual information including the speaker/hearer's knowledge and the background knowledge of the situation as can be incorporated in DA-type analysis.

4.2. CONVERSATION ANALYSIS.

CA is strong in analyzing sequential mechanism of local management of conversation. It has been providing revealing insights about such phenomena as turn-taking, adjacency pairs, and mechanisms of opening and closing a conversation.

Methodologically it is claimed rigorous because it avoids premature theory construction or generalization and because it looks for evidence in participants' orientation unfolded in text rather than uses analysts' intuition. Because of very particular nature of CA, however, its analysis cannot go beyond locally managed sequential organization. CA is also criticized as lacking specific and empirically testable propositions because its findings so far are too generally formulated to be falsified (Schiffrin 1988:271).

Another problem is that the question about intuition seems inescapable. Even if participants' orientation is used for evidence, its interpretation by the analyst more or less relies on the assumption that the participants in the conversation and the analysts share the same intuition or discourse competence. This problem becomes clearer when the researcher analyzes a conversation of language and culture different from his own. He should ultimately consult native speakers when he deals with foreign language data. This, of course, does not mean non-native speakers cannot conduct a CA analysis as is demonstrated in such works as Bilmes (1986) and Moerman (1988).

The use of contextual information beyond what is required by a strict CA approach should also be reconsidered. Especially in sociolinguistic studies, researchers feel it necessary to incorporate into analysis social contexts about participants, situations, and settings (Grimshaw 1990b:8; 1990c:313). This kind of eclectic approach will probably best

suit the analysis of situated discourse.

5. CONCLUSION

This essay has briefly reviewed the two major approaches to the analysis of discourse/conversation and proposed more or less eclectic approach to practical analysis of discourse. Especially when we try to analyze academic debate in the current study, both DA and CA approaches contribute to the analysis of discourse structure of arguments. Contextual information both inside and outside the given debate is fully utilized. This is possible because of the availability of multiple data (audiotape, videotape, transcripts, and often speakers' manuscripts and notes called "flowsheets") as well as our "native" insights about argumentation in debate.

REFERENCES

- Bilmes, Jack. 1986. *Discourse and behavior*. New York: Plenum.
- Coulthard, Malcolm. 1977. *An introduction to discourse analysis*. London: Longman.
- _____. 1985. *An introduction to discourse analysis*. New edition. London: Longman.
- Goodwin, Charles, and John Heritage. 1990. Conversation analysis. *Annual review of anthropology* 19:283-307.
- Grimshaw, Allen D. (ed.). 1990a. *Conflict talk: Sociolinguistic investigations of arguments in conversations*. Cambridge: Cambridge University Press.
- _____. 1990b. Introduction. In Grimshaw 1990a:1-20.
- _____. 1990c. Research on conflict talk: Antecedents, resources, findings, directions. In Grimshaw 1990a:280-324.
- Labov, William, and Fanshel, David. 1977. *Therapeutic discourse: Psychotherapy as conversation*. New York: Academic Press.
- Levinson, C. Stephen. 1983. *Pragmatics*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Moerman, Michael. 1988. *Talking culture: Ethnography and conversation analysis*.
- Schegloff, Emanuel A. 1988. Presequences and indirection: Applying speech act theory to ordinary conversation. *Journal of pragmatics* 12:55-62.
- Schiffrin, Deborah. 1988. Conversation analysis. *Language: Psychological and biological aspects (Linguistics: The Cambridge survey, vol. 4)*, ed. by Frederick J. Newmeyer, 251-276. Cambridge: Cambridge University Press.

Schiffrin, Deborah. 1994. *Approaches to discourse*. Oxford: Blackwell.

Sinclair, J. McH., and R. M. Coulthard. 1975. *Towards an analysis of discourse: The English used by teachers and pupils*. London: Oxford University Press.

Stubbs, Michael. 1983. *Discourse analysis: The sociolinguistic analysis of natural language*. Chicago: The University of Chicago Press.

言語学的アプローチによる談話分析の応用

井上奈良彦

1. はじめに

本章では、前章で検討を加えた一般の談話や会話の分析の方法のなかから特に「言語学的アプローチ」(クールタード 1999) と呼ばれるいわゆる「談話分析」(Discourse Analysis (DA)) の方法を援用して、ディベート一試合の議論の談話構造を記述・分析するための基礎的作業を報告する。

2. 分析の枠組

談話分析における言語学的アプローチ(イギリスのバーミンガムグループによって提唱発展されてきた。たとえば、クールタード 1999; Coulthard 1977/1985)を援用してディベート 1 試合の議論の談話構造を分析する。

もともとの分析の枠組みは教室における教師と生徒のやりとりを分析するために開発されたものである。アカデミックディベートはかなり状況が異なるので必ずしもそのまま当てはめるわけにはいかない。反対尋問の部分については、もともとの分析の枠組みおよびそれを一般の問答に応用した Stenstrom の方法を大枠で用いることができる (Inoue 1989)

スピーチの部分についてはかなり修正が必要である。1 回のスピーチの内部の構造をそれぞれ記述するとともに、肯定側・否定側とほぼ交互に繰り返されるやりとりの関係を記述しなければならない。この場合、ある論点について交換される、議論の提出—反論—再反論というようなやりとりが日常の会話のやりとりに相当する。このことはすでに指摘しているとおりだが (Inoue 1994; 1997; 井上 2000)、ディベート 1 試合全体の記述・分析は試みていない。今回、1 試合の構造を記述するに際しては、その情報量の多さを考慮して、相当の単純化を行い、まず全体像を把握する。

スピーチ内部の構造は、1.1.1.1 式のアウトライン番号を用いる。これによってスピーチ内部の下位要素の時間的順序に従った生起と階層上の構造が表される。アカデミックディベートでは規範的には(実際にも形式が整ったスピーチでは) I.A.1.a 形式のナンバリングが用いられるが、スピーチ全体とカバーしているとは限らないし、必ずしも体系的に用いられているわけではない。そこで、今回はすべてのスピーチの内部

構造をいったん 1.1.1.1 式のアウトライン番号を用いて表記する。そしてこの発話単位はスピーチの番号（1AC や 2NCCX など）とアウトライン番号で、試合の中で一義的に特定する。

次に、ディベート全体のやりとりは、スピーチ部分と反対尋問を統合して記述する。大枠としては、肯定・否定の両チームが「手」(move) を打ち合うことでディベートができあがっている。これは将棋や碁のようなゲームの対局や野球やサッカーのようなスポーツの試合に擬して考えることもできる。つまり、一方のチームが勝つためにある手を打ち、相手チームがそれに対抗した手を打つということが繰り返される。

手 move は下記のような記述となる。ここで、手はやりとりに基づいていることを確認しておく必要がある。つまり、相手に対してもしくは聴衆に対してどういう手を打つかと観点である。手の種類としては、次のようなものを暫定的に設定する。

スピーチを構成する手：

枠組 (frame)	サインポストなどのトランジッション発話
提示 (present)	要素 (議論、主要争点、プランなど) の提示
容認 (grant)	
攻撃 (attack)	相手チームの議論に対する攻撃
強化 (defend)	自チームのすでに提示した議論の擁護・補強 (ただし、相手チームに攻撃された場合、それに対する再反論は攻撃の手を打ったとして取り扱う。)

反対尋問を構成する手：

枠組 (frame)	サインポストなどのトランジッション発話
質問 (question)	質問自体
応答 (answer)	質問に対する答え
補足 (followup)	応答に対する質問者からのコメント

スピーチの談話構造が階層構造をもっていることが多いので、手の記述も階層構造を認める。たとえば、1つの攻撃が3つの議論の提示から成っているというような場合である。

手はさらに一つ以上の行為 (act) から成っている。たとえば、肯定側は論題から生じる利益を証明するという立件方法 (case) を立てる場合、第 1 立論でいくつかの手を打つ。典型的には、現状の弊害を提示し (harm)、プランを提示し (plan)、プランがそれを解決することを提示する (solvency) という 3 つの手を打つ。現状の弊害を提示するという手はいくつかの行為から成っている。たとえば、多くの人が病気で苦しんでいるという「主張」(claim) をし、それを「証明」(prove) する。証明はさらに細分化すれば、「説明」、「実例の紹介」、「専門家の引用」、「統計資料の引用」などがある。

なお、手よりも大きな単位として、ディベート全体、各スピーチ・反対尋問という制度的な構造物があり、さらにスピーチや反対尋問の中で論点というような構造上のまとまりがある。今回の研究ではこれらの大きな単位については体系的には扱わない。

以上の手続きによって、各スピーチについて (1) テキストのアウトライン番号、(2) 手、(3) 行為、という 3 種類のコード化を行なう。さらに、前の発話との関係を表すために言及されている発話部分をスピーチ記号とテキスト番号を用いて、手の引数中に明示する。また、必要に応じてデータを理解しやすくするために手や行為の名前も含める。

これらを表計算ソフトを用いて表示すると、全体は横に 1 スピーチが 4 列、1 試合計 48 列、縦に数十行のファイルとなる。以下にその一部分を掲載する。手や行為の種類は現段階では確定しているわけではないので、データの実情に応じて対応する。ただし、基本的な手の種類はできるだけ増やさないようにする。

1ACGX text	text number	move	act
否定側: はい、それでは否定側質疑を始めたいと思います。	1	frame	open
否定側: えっと、まず最初にプランをおうかがいしたいんですけど。	2	frame	signpost
否定側: 4点目のリコールというのはどのような場合に起こりますか？	2.1	question 1AC4 plan	clarify
肯定側: はい。	2.1.1	response	backchannel
否定側: たとえばどういう、失政の場合ですか、これは。	2.2	question	request confirmation
肯定側: 失政の場合もあります。	2.2.1	response	grant confirmation
否定側: それか、あるいは、	2.3	question	request alternative
肯定側: はい。	2.3.1	response	backchannel
否定側: 法案が、え、え、違法行為をした場合、場合ですか。	2.4	question	request confirmation
肯定側: 違法行為をした場合…	2.4.1	response	grant confirmation
否定側: 失政の場合というのはダイエットがそれは三分の二以上が失政	2.5	question	request confirmation
肯定側: はい。	2.5.1	response	grant confirmation
否定側: それだけですな？	2.5.2	question	request confirmation
肯定側: はい。	2.5.3	response	grant confirmation
否定側: はい、分かりました。	2.5.4	followup	acknowledge
否定側: えーっと、次にですね、えーっと、それでは、えーっと、特定の地域	3	frame/question	request information
肯定側: はい。		response	backchannel
否定側: 特定の地域に利益が誘導されることと、え、ことはなぜ悪いことなのですか、ですかね		question 1AC5.1.3 harm	request reason
肯定側: もともと首相は国全体の利益をかんがえなければならぬ、		answer	give reason
否定側: はい、分かりました。それは議員のことじゃないですか？ 現在首相というのはその		followup/question	request yes-no
肯定側: うーん。			hesitate
否定側: はい、結構です。		followup	
肯定側: はい。			backchannel
否定側: えっと、それではですね、え、投票率が向上するってことですが、えっと、これは現在で		frame/question 1AC5.2.4.1=attack evidence /att	
肯定側: 現在でも…			
否定側: はい、現在でも投票率は上昇傾向があるということをご存知ですか？		question	ask knowledge
肯定側: 現在でも…			
否定側: はい、結構です。えっと、それでは五点目のマスコミに関してですけども、マスメディア		frame/question 1AC5.2.5.1=attack solvency evid	
肯定側: はい。		response	
否定側: その場合民意が反映されると失政が起こりますよね？		question	
肯定側: はい。		response	
否定側: はい、結構です。えーっと、うーん、えー、政権が固定されるということに関してです		question 1AC5.1.2 harm	
肯定側: いいえ。と、一定の党が		response	negate
否定側: はい。		followup	
肯定側: ずっと与党として		question	
否定側: はい。			backchannel
肯定側: 政権を握っているっていう			
否定側: はい。現状はそうですね。		response	
肯定側: はい。		followup	
否定側: プランを導入するとどうなりますか？		question 1AC5.2.2 solvency	
肯定側: プランを導入すると、先ほども述べた通りに、っと、まあ、うーん、		response	
否定側: ど、どういう風に発生しますか、政権交代というのは。		question	
肯定側: うーん。			hesitate
否定側: はい、結構です。えっと、(pipipipi…)あ、それでは質疑を終わりたいと思います。		frame	close

4. 分析例 2

分析例 2 は日本語話者と英語話者が参加する英語のディベートである。

1AC text	text number	1AC move	1AC act
Now we live in the 21st century world. To live in this world, the most important thing must be communication. There are so many countries, and cultures in this world. Some people live in the same culture, and some don't. To get to know each other, communication is the most valuable thing.	1	frame/present goal	prove/claim
When we want to know each other, discussion is necessary. As we discuss the same issue, we understand each other and admit the different cultures.	1.1	present harm	prove
Sometimes, nowadays, when I watched TV, I sometimes watch the scene the Japanese politician attend international meeting. But usually the politicians are, they are with an interpreter.	1.2		prove
To have an interpreter as a person in the middle, it takes a longer time to speak to the counterpart, and it's not easy to negotiate.	1.2.1		prove
I read the newspaper, Daily Yomiuri, that says most Japanese politicians cannot speak English.	1.2.2		prove
So they always need a interpreter when they go to the international meeting.	1.2.3		claim
When we insist on something, that opinion does not come through from the interpreter. When we discuss the same issue, it is necessary to use the same language.	1.2.4	present harm	prove/claim
Of course when we think of the common language in this world, English is probably the most useful language.	1.2.5	present link	claim
Most of the international conference cover essay world media in ...such information. They are spoken and written in English.	1.2.5.1		prove
And also additionally, the role of the World Wide Web and computers has greatly increased in our lives.	1.2.5.2		prove
On the web site, according to the survey, 90% of the language is the English. Therefore, English is very important if we want to use the Internet to its full advantage.	1.2.5.2.1		prove
Now Japan's economic is down. But only the industry related to the computers is developing. To boost economic to success in the business now, we should be in the web world.	1.2.5.2.2		prove
To learn new things and to get to know each other better, to insist and explain our opinion, the study of English is very important.	1.2.6	present link	claim
But now, we, Japanese start study English when we are junior high school student.	1.2.7	present harm	prove
But they don't study conversation a lot. Most Japanese student understand the meaning of English word, but they cannot speak English.	1.2.7.1		prove
That means they cannot communicate.	1.2.7.2		claim

Therefore we respectfully submit that English should be introduced in elementary school as an elective subject. That is not a test subject but emphasis is put on listening and speaking skills.	2	present plan	claim
I also think, the study of English means more study of Japanese, not only the Japanese language, but also Japan's history and our culture.	3	present advantage	claim
English is the logical language. How to discuss. Yes. Even the argument is an important point in English study.	3.1	present link	claim
But when we learn to discuss and explain ourselves in English, we also at the same time become more able to discuss and explain ourselves in our native language, Japanese.	3.1.1		claim
So soon we will see we need to study, when we started to study English, we will see we need to study Japanese, which means our language and our culture and our attitude, with the same intensity as our English study.	3.2	present link	prove
I think this is the most important things for present Japanese people.	3.2.1		claim
For only with the people's expressions and discussion, and of course, argument can, we as Japanese move forward in our national democratic vision.	3.2.2		claim
With English as a Japan sh, Japan designate English as a second language, that many benefits beyond those already stated will occur.	3.3	present advantage	prove
That's why I, we think that Japan should designate English as our second language.	4	present resolution	claim
(18 seconds) Oops, sorry. I, I want to, I want to insist that in my speech, I want to, when we study, we study to study English, that means we can study our culture and Japanese language a lot. This is the most important thing, I think.	5	present advantage	claim
(途中省略)			

2AG text	text number	2NC move	2NC act
Thank you very much.	1	frame	greet
Our proposition is English should be designated as its second official language of Japan.	2	present resolution	claim
Now, that entails all the, all the problems and the merits of the second language.	3	present link	claim
Not only does it mean that official designation should have the option of being conducted in English, that also means all rules, regulations, government documents, and civil service exams, and tests should have be able to read and see them in English and Japanese.	3.1		give examples
Now the benefit to this plan is that many Japanese can understand Japanese official language, I mean official documents, and many of the forms in our dairy life.	3.2	present advantage	claim
We want to stress that by year 2010 this will give us enough time to, to harness the political capital and will to formulate effective plan.	3.2.1	present solvency	claim
I cannot, I cannot state in the great surity of the future, but I know that the harm in that is just going on in the status quo is now will be much greater than we can imagine.	4	present harm	claim
In the anniversary special the Dairy Yomiuri April 1st on Saturday 2000. Kouichi Kato, the former Liberal, the Secretary General of the Liberal Democratic Party said, unless you can clearly answer every question, you will be criticized for concealing your ideas. It is very tough to conduct sessions in foreign language. But () efforts to clearly convey your visions and messages in English will be detrimental to our political health.	4.1		prove
There will, there will definitely be difficulty in changing mentality of Japanese people who tend to refrain from speaking (of wht's in) minds and opinions of others.	5	present solvency	give possible attack
But we have to make efforts to change this trends	5.1	attack	claim
and also in the same edition of Yomiuri Shinbun, English transformed Nissan and Mazda's culturee, you know, both Nissan and Mazda have, have had a hard time in the last 10 years, mostly because of the maintaining the status quo.	5.2		prove
Now, we obviously stated there will be a definite social impact to make English the official second language.	5.3	present link	repeat
But the competitive this, disadvantage of not developing both the English as the second language skills and reinvent in education system.	5.4	present harm	claim
So there's more focus on communication both Japanese and English.	5.4.1	present solvency	claim
I don't see how we can maintain our position of the second strongest economy in the world. We have the money. We just don't, now we have no focus.	6	present inherency	claim/prove
You know, our position is with changing, changing the focus by making English second language.	6.1	present link	claim

5. おわりに

本章では、談話分析における言語学的アプローチの援用によって、ディベートにおける談話構造を詳細に分析することを試みた。

参照文献

Coulthard, Malcolm. 1985. *An Introduction to Discourse Analysis*. Longman.

Inoue, Narahiko. 1989. An Analysis of Cross-examination Exchange 『ヒューマンコミュニケーション研究』(日本コミュニケーション学会) 第17号45ページ～55ページ.

Inoue, Narahiko. 1994. *Ways of Debating in Japan: Academic Debate in English Speaking Societies*. Ph.D. Dissertation, University of Hawai'i at Manoa. UMI Number 9519451.

Inoue, Narahiko. 1997. Proving, Attacking, and Defending: An Analysis of Debating in English Speaking Societies (ESS) 『言語科学』(九州大学言語文化部言語研究会) 第32巻1ページ～17ページ.

Stenstrom, A-B. 1984. *Questions and responses*. Liber Forlag Malmo.

クールタード, マルコム. 1999. (吉村昭市、貫井孝典、鎌田 修 訳). 『談話分析を学ぶ人のために』. 世界思想社.

井上奈良彦. 2000. 「日本人の議論とコミュニケーション」日本コミュニケーション学会編『日本のレトリックとコミュニケーション』(日本コミュニケーション学会創立30周年記念論文集 第1巻) 73ページ～83ページ.

第Ⅱ部

文 字 化 資 料

文字化資料一覧

本研究の過程で文字化したディベートのうち、英語ディベート4試合、日本語ディベート2試合を参考のため掲載する。参加者の名前などは削除した。ディベートの中で表明されている議論は必ずしも参加者の個人的意見ではない。競技ディベートはあくまでも、与えられた立場にとって試合の戦略上最善と考えられる議論が展開されるのであり、現実社会での議論の動向などには必ずしもとらわれないことを確認しておきたい。

録音の質や参加者の話し方の特徴のために文字化の正確さは試合によってことなるのはやむをえなかった。

yom20020624a

Daily Yomiuri Debate Tournament, 2000/6/24, Preliminary

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

yom20020624b

Daily Yomiuri Debate Tournament, 2000/6/24, Preliminary

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

yom20020624c

Daily Yomiuri Debate Tournament, 2000/6/24, Preliminary

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

yom20020624d

Daily Yomiuri Debate Tournament, 2000/6/24, Preliminary

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

jdafall19990913a

JDA 秋期ディベート大会 1999/09/13, 決勝

論題「日本は首相公選制度または国民投票制度の導入による国民の国政への直接的な参加のを可能にすべきである」

jdafall19990913b

JDA 秋期ディベート大会, 1999/09/13, 予選

論題「日本は首相公選制度または国民投票制度の導入による国民の国政への直接的な参加のを可能にすべきである」

yom20020624a

Daily Yomiuri Debate Tournament

2000/6/24

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

Preliminary

1AC

In this ... in this borderless society, Japan should eliminate communication problems stemming from language barriers. We believe introduction of English as a supplementary language serves for both Japanese and foreigners.

Plank 1. The Japanese government designate English as its second official language, and accept English for administrative procedures.

Plank 2. The central and local government will use both Japanese and English when making public announcements.

Plank 3. Any forms of (safety) (unification) will be written or announce in the both languages.

Plank 4. Police and fire department will set special telephone line for emergency calls in English.

Plank 5. The necessary funding will be allocated from the general account.

Advantage 1: Improvement of Japanese peoples English proficiency.

A. English proficiency agrees with Japan's goal.

Professor David Crystal, 97. Quote. Because of this ... prolong development of first language, official language and foreign language speaker, it is inevitable that the local language will eventually ... use by more people than any other language. English has already reached this stage. (Unquote.

As an advisory panel to the dead prime minister Obuchi suggests working knowledge of English is an essential element of ideal Japanese citizens in 21st century. However,

B. The Japanese are not competent in English.

The dairy Yomiuri June 2nd report that the Japanese TOEFL average was 18th place among 21 Asian nations. As shown in this worldwide English proficiency test result, the Japanese are not competent in English.

The Japan Times March 19th 1999. Quote. Besides, no ..., how much bureaucrats have ... with less in a curricula, such effort can not improve one varying fact students are once in a Japanese speaking environments, the moment they leave classes. Unquote.

C. Our plan provides incentive and practical approach motivating the Japanese student improve English.

C 1: Incentive. As more people realize that English is marketable, they will be motivated to learn English.

C 2: Practical and integrated approach. Learners will be exposed to real life English instead of current textbook English. Thus, learners will be able to try both expressions in their daily life.

Advantage 2: Protection of human rights and lives of foreigners.

A. More foreign people come to Japan.

The Tokyo Shinbun May 31st reports that the registered foreigners in Japan has become ... 1,55 million. However, few foreigners understand Japanese language. They will not be able to get information from instructions until they become able to read Kanji, which requires years of time on great amount of effort.

B. Mono-lingual ... sign fails to secure lives of foreigners in Japan.

The few areas provide enough information in any other languages than Japanese. Due to this language barrier, foreigners are facing life-threatening danger.

Great Hanshin Quake and foreigners, 96. Quote. The foreigners killed in the Hanshin Earthquake reach 174 accounting for 3,2% of total victims. This percentage was greater than 1,8% the percentage of foreigners in the population of Hyogo. With ... knowledge of Japanese, both foreigners were not aware of evacuation of (dust) and warning of the collapse buildings. Few foreigners view a way to evacuate. (Unquote.

C. English can preach the existing communication barriers. English is a common language even for non-native speakers. Therefore, bilingual info ... serves significantly ... communication barriers threatening foreigners safety and human rights.

Now, let me briefly summarize our plans. Plank 1, the Japanese government will designate English as its official language and accept English for administrative procedures. Plank 2, the central and local government will use both Japanese and English when making public announcements. Plank 3, any form of safety indication will be written or announced in both languages. Plank 4, police and fire department will set special telephone lines for emergency calls in English. Plank 5, the necessary funding will be allocated from the general account. Advantage 1, improvement of Japanese people's English proficiency.

Chairperson/ Time's up.

Thank you very much.

1AC CX

N/ Excuse me. Can the affirmative of their evidence show its resolution not positive ... Japanese education.

A/ Ah, when ... are talking about education system, each of done...

N/ I believe your first of your plan was to improve English ... proficiency in Japan.

A/ As a result of plan adoption, but we are not talking about educational reform or anything like that. You know, plan itself.

N/ What ... English improve?

A/ Ah, by making English as a second official language, ah, people are forced to English open written around us.

N/ You are not going to anything.

A/ As a reform in educational ... at school levels, no.

N/ You are going to, ah, ... plan, you want to get ... much funding. You want to expose it to our English. But you do not want to teach it.

A/ Ah, in our plan, no.

N/ Don't you believe that education is good goal to any new, to any new innovation?

A/ Ah, education is out of topic...

A/ We are supposed to talk about designation of English as a second official language, and official language doesn't mean educational reform.

N/ So would you like to have second official language without actually teaching the ... or poetry have access to education to support the language.

A/ Ah, right. By changing the circumstances into our more motivating, it was we know English is the language we should learn, and a ... proper ... English, they have more chances for promotion.

N/ How ... government justify the loss of thousands of jobs due to the passage of the resolution.

A/ Excuse me.

N/ How can the government justify loss of thousands of jobs due to this resolution.

A/ We didn't say ... jobs.

N/ No, but you are talking about making English second language,

A/ Ah.

N/ (which we will) point out later. Is the English we are ... different We will make new standard more workers ... in the police, fire agencies.

A/ Ah.

N/ Oh, sorry. How much ... time?

Chairperson/ 15.

N/ 15 seconds. You do next my

Chairperson/ OK. Sorry.

2NC

This resolution should not be designated as it Japanese, must it second official language. Because, first, ... of this resolution, it means the creation of ..., ..., in minors and will jeopardize hundreds of thousands of jobs. Only the advantage, few have in English language training would be ... for many position of government, finance and business. When many uni-lingual Japanese speakers would be ... back, or made redundant. We would repel or society of have and have-not. Those who have English as a first or second language reveal the privilege with the better jobs, salaries, and promise of advancement. And those who have not sufficient English ability would be ... second class citizen in their own country. It will be a flow back to with this colonial rule in India where the rains of power for neither interests of no accessible gift, adverse majority of the population. Second. If English were to become Japan's second official language, that cause to be Translators will be needed for government services. Regardless of the ..., educators would have prevail divide. Divide was narrow and this would happen every time, every prefecture. Government will find any such move very unpopular as the cost we are ... for the back of the taxpayer. It's ... difficult again the government believes it has to spend its ... out of an economic recession. So, will the government raise taxes? No. It's already too high by GH standards. Will business pay for it? If they do, the consumer and taxpayer again will ... pay for it. And when parents view, they have to give each child the English lessons required to get into the workforce. It will only escalate and already difficult situation. Last year, private school tuition from kindergarten through high school rose to all time high of 17 million yen 1 child. Any father ... on and individuals are unreasonable. And that a uni-lingual country has one more reason to be unified. Bi-lingual country has one more obstacle to overcome or accept this integration. Japan has no reason to voluntarily ... other policy of division and segregation. Especially when our countries have for to wars over language issue. As Canada has recently admitted supporting language difference does not ... people to celebrate ethnic diversity. It emphasizes these differences and promotes this integration. If the government continues to support this resolution, there will be a public back-rush in 20 years when the public realizes was the government has done the stabilizes Japan. There will be a great remedy for the passing of the Japanese culture. It will part this resolution, you will be shamed.

1NC CX

A/ Thank you very much. Let me confirm the disadvantage 1 is a burden, I don't know, language divide, unfairness between have and have-not in terms of English proficiency. That's number 1?

N/ Yes. That's correct.

A/ And number 2 is a economic burden, tax burden.

N/ Ah, we talked about the financial burden.

A/ Financial burden. OK. Ah, Let me examine from the first 1. You mentioned in your constructive that with English proficiency, people have more promotion opportunities, right?

N/ Yes.

A/ Huh, so simply, I thought, then, we have to learn English to get better promotion, to get more money.

N/ Mm.

A/ What's your stance?

N/ OK. For Japanese English is important.

A/ Huh.

N/ That's why every junior high school student or high school student study in school.

A/ Huh.

N/ But we think, we don't need to make English a second language to make our, to produce English speeches. We already have a broad range of option to them, if we want to study English language training.

A/ Huh.

N/ For example, this year, education ...

A/ OK. So you are not satisfied with present English education system in Japan. You don't think it's successful, it's not working well. Right?

N/ We have a large success in studying English, already.

A/ But you think,

N/ Education system. Government educational system.

A/ is successful.

N/ Yeah.

A/ Is OK? And regarding number2, do you have any evidence that unemployment is a serious problem? Economic, Pun...ah,

2AC

Thank you very much. I'd like to start my speech with ... response to disadvantage argument. First disadvantage argument is loss of hundred and thousands jobs. First of all, I think negative side failed to connect the link between our plan and creation of unemployment at all. Secondly, it was not proven ... evidence to convince it actually would happen, since it goes

with language division they are talking about India, for example, ... India, and a there would be a second ... in Japan. Their question is process why... OK.

Now, if we look at advantage 1, we are going to improve the English skills of Japanese people and when it's successfully, there will be no division. OK. And also, English, they said that a, income Income gap will be created, according to Professor Ishizumi, English It's same as present situation, isn't it? It's a skill, English proficiency is a skill, if company think that the skill is beneficial for us, of course they will privilege to English speaker is ... everything it's justified, because it's ... benefit for the company. So I don't see any problems with this. Secondly, financial burden. Again, a link is not explained well, and a why they are talking about tax payers burden. I don't understand process. We think, first, it's justified cost, whatever how much it costs. OK. It is justified cost to cost improve Japanese peoples English skills and also secure human life of foreign people in Japan. OK. So I will think this is a serious problem. OK. They are talking about Canada and I think it's multi-culturalism, ethnic identity, diversity, we are not talking about how to operate... We are talking about securing foreign resident or visitors in Japan in case of emergency. When it's successfully, it's OK. All right.

Let's go on to advantage. Advantage number 1: improving English skill in Japan. The affirmative side agree with us that English is important for Japanese ..., that I take this is true. And, OK. The thing is the how can we prove Japanese English skill, and we think just changing English education have not solve, and we not solve the problem, unless English using settings are not repaired outside, English using settings are prepared outside classroom. Most English learner have few chances raise their English their communication relations in their dairy life. And that will be realized only by the affirmative plan. Whether they go to, they study English in public school or they study, go to English conversation school, they study just 3 hours, 2 hours, and 3 hours a day. They needs, they can not relate classroom situation and outside classroom. That's why they cannot improve their ... skill. Secondly, we find that English is marketable, motivate it, work harder, and they will improve their English. OK. Let me go on to second advantage.

Advantage 2: protection of human right of foreign people in Japan. This advantage is very important, ... numbers of foreigners are increasing, and it will increase in the future and According to Japan Times August 5th '99, economic plan agency chief Taichi Sakaiya said Wednesday that the sharp decline of Japanese population after 2007 will inevitable, Japan will employ foreign worker to make up 10% to 30% of Unquote. So we need ... in business organization like that. And it's justified and it's ethically appropriate for Japanese government

to spend money to secure the life of living of the foreigners in Japan. And since English is not only spoken by the native speakers, but also speakers of second language of foreign language. And it can cover wide population in Japan. We think the advantage very significant and we should designate English as a second language in Japan. Thank you very much.

2AC CX

N/ Can the affirmative offer the evidence to show this resolution will not cause decline standards of Japanese?

A/ First of all, I think that's the burden for the negative side prove the ... will drop or something. We can only have to prove that by adoption of our plan English skill, proficiency will Japanese progress. I think that's your burden to prove it. Because that's your argument, disadvantage, or ... advantage.

N/ But I want to...

A/ Huh.

N/ I want to, I want to see any, some examples your,

A. Huh.

N/ to support your premise.

A/ OK.

N/ So, ...

A/ You mean there is not reading offering example that outside classroom there is English, and people can improve English skill.

N/ There are any evidence?

A/ OK. We are changing English learn environment from EFL, English as a foreign language, into English as a second language will more, they outside,... You know, if student goes to United States or foreign English speaking country, they can improve their English. Because outside classroom they are exposed to English, and they can ... their experience and they can ... what they learn in classroom.

N/ OK. Would you like to be examined your health by doctor who can speak English very well, but

A/ Huh.

N/ don't, don't have a lot of speciality, special study.

A/ ...

N/ Would you like to be examined your, your,

A/ Huh.

N/ your health

A/ Health?

N/ your health by your doctor who have a lot of English knowledge but don't have special, special studies.

A/ Special study. ...Huh?

N/ about medicines, or something.

A/ You mean...

N/ Don't you think we would do be better for professionals to commit themselves more to professional studies rather than language training?

A/ I'm not saying that doctors should forget about medical practices or studying They should do that. But the same time, if they, why ..., helps foreign residents in Japan, without that, when foreigners in Japan become sick,

N/ I want, I want ask you

A/ Huh.

N/ which do you more important

A/ Huh.

N/ between language, language training or their special study.

A/ It's not either, it shouldn't be either or question

Chairperson/ Time's up.

A/ because even though when they practice medicine, ...

2NC

Japan should not designate English as a second official language. First, let's not forget the burdens second language will put on the education system and on students. Recent reduction to the curriculum size and hours of instruction will be compromised. The government would therefore be going against its own commitment to operate in education system. It's the by your government so out of control. The one hand is on the ..., it's fighting to under, but the other hand is struggling to get down. If so, paints are pretty picture, of ...ly ... political policy and crime. Second, causes connected to this. This resolution would further strange Japan from this tradition and its fortune. There is no question that the time requires for the students and workers to learn English language would have to take away for studies in other periods. The honorable speaker just asked for us to, to prove ..., they are going to be some sort of texturement to the level of education in Japan. The education ministry has recently been b...ing over the reduction of teaching curriculum time and ... self to be token tested in schools. The hours of instruction will soon be reduced to 24 hours for a week. We lose next Saturday

morning, simple ... shows what will happen if the government pushes students to study English more. Even if the government does promise to maintain current education standard in public schools, and even if successfully government could be trusted to follow the same policy, which is very unlikely, cram schools and other institutions will still ... here arise, numbers of English language students at the ...ment of other subjects. There's only so many hours in a day. This resolution presents further risks to dropping standards for school curriculum as well as the Japanese language, and the government speaker do not offer any new options for the school systems.

If you still haven't decided well if this resolution is bad or not, ask yourself this question: is it better to have future professionals levels of second language training attained through existing educational institutions or would you rather substandard employees, substandard colleagues, and substandard managers just more fluent communicator in advocacies in English.

All this becomes preteritic if you realize just this. The declaring English as a second official language is unnecessary. And the proof of that is here right now in this building in this room. A lot of people here are, in here are some capacity as an English speaker without ever having been dictated to by government as having to learn the language. You learn English for need or desire and the method already available to you. Some for country, some at school, some from cram schools, but wherever the fact you are here now and assistant works, you are proof of that.

The government should stay in politics ... out, for the in case they should stay out dictating language requirements to 98% of population, theirs mother tongue is other than language question. When you vote for this, remember first what exist now works. Works does not need fixing.

We therefore ... a counter-plan the government resolution, that calls for 2 or 5% increase in placements of English or Japanese, English and Japanese for lingual staff in public governmental agencies where such need is determined by the body. These placements should be made for normal staff openings at staff ... or transfer. Unlike the government plan, the solution will not be resolved in any increase of taxes, and we'd not, and we also meet the need of government agencies for English training personnel. The government speaker was worried about the, the human right of foreigners in Japan. They need English language exchange, communication. It's ... their plan. ... also safe guard Japan's identity, their unity and language. It meets government's original purpose and facilitates sharing information and cooperation as requested by the government and Japan, and by the ... switching its

2NC CX

A/ Ah, first of all, you talking about students' burden will be increase, burden to study English will increase. But we will have educational program to, for example, increase a number of English classes a Why does it happen?

N/ You're representing government now, and you are saying now you have no educational responsibility for student.

A/ No, we haven't saying that. We are not saying we are responsible, but by our way, I mean, they can improve their English, but we are not, didn't increasing

N/ Problem is ... speakers plan.

A/ Huh.

N/ You do not ... plan that would enable students and professionals for that right to be able to attain

A/ Huh.

N/ or maintain the level of English proficiency.

A/ So that means do you agree that we are not increasing the class ah, ah, studying hours.

N/ It is not the purpose of this resolution to do that.

A/ Huh.

N/ The educational system is there to do that. That's the ... educational system. There is no

A/ I understand.

N/ having, having English as a second language will be the icing on the top. But it was ... many years to get there.

A/ OK.

N/ The opposition is not opposed to speak in English.

A/ Huh. OK.

N/ The opposition is in favor of giving the support, to support

A/ Let me go back to our plan. So our plan will not increase study burden for students.

N/ I'm afraid it is. First of all, you just talked about funding. Funding is not

A/ ...talking about English study itself.

N/ Well, how about where is the money going to come from, there will be ...

A/ Oh,oh, we don't ...money

N/ The only 17 million yen ...

A/ Excuse me, excuse me.

N/ This goes exactly to your point, sir. If we are talking about ...

A/ Excuse me.

N/ available for studying, how can we get there if they don't, if they don't have money.

A/ I understand. OK. So money is one of the ...talking about, ... study, studying, enough financial.

N/ Huh.

A/ Time, energy for studying English, we are not increasing the burden in school.

N/ No, what you are doing is increasing the, ...probably go to English at ...of other languages and other studies.

A/ OK. Let me go to your counter-plan. What's the purpose of this counter-plan?

N/ The counter-plan is in the we have, we have admitted that Japan is, has need for English.

A/ OK.

N/ and education ministry recognizes that.

A/ OK. That's ...

N/ ...we do not need to have ...second language.

A/ OK.

N/ just we need

A/ Let me ask, let me ask. Are you going to increase the study number of students by this plan?

N/ No, we are not.

A/ No.

N/ No.

A/ And how, what are you succeed this plan? Improving English skill of students?

N/ This plan is, this plan is not aimed at change of education ministry's plan.

A/ I mean purpose.

1NR

We don't need this resolution because we already have wide range of services offering English language education. Students learn English in schools, some of them recently as a only as nationally , cram school, schools, private schools, and Japanese universities. All over very decrease of learning training. Even foreign universities have campuses in Japan. All of these is evil people or pretentials are needed that is in the workplace. One smokers are in the workplace, there is a mirror of training program for Japan's workforce. Second we don't have to declare English second language because majority of Japanese workforce will not need it, and the cost of the society in term of lost education, studying, culture, as well as the financial cost in ...second language 99% of the population who do not speak it is ...This resolution should never have been entertain in the first place, especially considering that there was so many services already in place. And this is not clear, this is not true because, this

resolution is not true, because we don't have to need this resolution to produce good English speakers. And I'll show you an example. At Dejima middle story ...prefecture students have found chatting in English on their computer screens during last 20 minutes of morning class. They are more motivated when typing their own messages in English than simply typing in ...words and sentences. It's to kill two birds with one stone. In information age, children can learn this international language using very popular media impact. We don't need this resolution to make Japanese ...

1AR

Thank you very much. Let me start with their counter-plan...They haven't specified yet what kind of advantage their counter-plan is going to attain. So we don't have to adhere to this argument anymore. And talking about the advantages number 1, the students' burden. Since our plan does not reform educational system, we are just giving the motivation by a, providing more practical, mental approach to study English. So students' burden will not increase. And what increase burden more is their counter-plan. Their counter-plan has to do with educational system, making the heavy burden on students ...

Let me now talk about tax burden. As my partner explained before, this cost is socially justifiable cost because this protects the rights of foreign people living in Japan. And also, this cost contribute to the increase of the Japanese proficiency as for the importance even negative side agree in the constructive. Regarding the deterioration of tradition and culture, we are not really sure why our plan of designation of English as a second official language deteriorates our culture and tradition. Moreover, even if that's true, we the Japanese culture has always been enriched by foreign cultures. Our country is brought from China, and our more than directly life coming form western countries, so hybrid culture is not necessarily evil.

Talking about our advantages, we mentioned 2 advantages. Improvement of English of the Japanese and protection of human right and lifes of foreigners. No attacks have been made by the, by the negative. So we assume they as far as advantages as concerned they admitted its effectiveness and significance. And let me strengthen our advantage by courting a piece of evidence. According to Japan profile of nation '95. Quote. By the times students completes their elementary and middle school education, they are expected to have learned the one hundred, 1945 ...

2NR

Japan should not designate English as a second official language. If this resolution will passed and even if the government did not make any legal requirement to enforce the resolution, below the surface would always lie a certain authority of governmental bodies to pressure

citizen, to burden employers and workers, discriminate against vast majority of Japanese. The government will deny it. They have denied it. But this resolution would make people lose jobs, because this resolution would mean workers will be assessed on the performance in English, they will be hired because of performance in English, they will be fired because of performance, low performance in English. It will create a disadvantage to society. At some 95% of Japanese will not be bilingual. Only those who advantage with bilingual, bilingual culture or bilingual training will be those who get great into the upper ...management in, in all works of life. Also, it will mean that more families would have added pressure to get children specialized residence. And it will mean that the government will have succeeded the unified in segregating whole section of society. The affirmative speech said that we didn't prove the students' burden. The fact, the fact is there already. Private schools are tried to 17 million yen per year. So you would like to my child. 5.5 million yen has been spending for child for public schools. The burden is already there financial. When the family find financial burden to great obviously something ...have to do. Students will not ...trained. The government plan also fail down they didn't do anything. What did they do? I believe they are, the affirmative speakers quote was, let's see, lost...sorry. The government ...say did not prove that there is going to be any ...

As an advantage 2 the counter-plan, our plan provides 3, 3...

2AR

Let me talk about disadvantage, burden for the students for study will increase or financial burden increase. They assume that a by our plan we create elitism or unless we will make, create a situation where people will be fired unless they are proficient in English. OK. First of all, elitism, they are talking about other countries like India, or Singapore maybe. How can they apply to in case of Japan the situation is very different? And they are also about people being fired from company. How does it happen? If they have a skill, ...skills, and which are benefit the company, why does the company will fire? They fail to prove how is it probable that, when English become second offi..., second official language they will be fired. I don't think they will lose jobs. OK. So, I don't think ...for the family, financial burden. And a burden to suspend much time and more energy, we not increase after the adoption of our plan. OK.

Now, economic recession. All right. We, my partner already say it justify plan, and it will still economy the government spend money, and to create new, business will net-benefit. So it's not just loss of money, we are, using money for good purpose. Not only the advantage, we ...advantage 1 and advantage 2 by this cost. It is the justified cost. OK.

And let's go back to counter-plan. Simple question ...all. Are they going to improve a English skill of Japanese citizen? I don't think they said, I don't think they said say that. Advantage 2. Are they going to maintain the human right and safety security of foreign citizen in Japan? No, I don't think they explained that, either. So, this counter-plan is totally irrelevant. So here comes the question whether advantage 1 and 2 is worse, leads to justify the introduction of designation of English official language, and we argue kicked us. First of all, they admit re... with us English is important. But this agreement between their ...well, 95% of Japanese profession don't need that, disagree that. We are not native speaker, but we use English as a foreign language and also second, foreign language and it is important. Advantage 2. In Kansai Earthquake, they, their life is ...they have very suffered from inconvenience because they can't read Japanese, they couldn't get information, warning, where to go, that's where by, by introducing our plan, we, they get announcement in English language. Thank you very much.

yom20020624b

Daily Yomiuri Debate Tournament

2000/6/24

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

Preliminary

1AC

Now we live in 21st century world. To live in this world, the most important thing must be communication. There are so many countries, and cultures in this world. Some people live in the same culture, and some don't. To get to know each other, communication is the most valuable thing. When we want to know each other, discussion is necessary. As we discuss the same issue, we understand each other and admit the different cultures. Sometimes, nowadays, when I watched the TV, I sometimes watch the scene the Japanese politician attend international meeting. But usually the politicians, they are with an interpreter. To have an interpreter as a person in a middle, it takes a longer time to speak to the counterpart, and not easy to negotiate. I read the newspaper, Diary Yomiuri, that says most Japanese politicians cannot speak English. So they always need a interpreter when they go to the international meeting. When we insist on something, that opinion does not come through from the interpreter. When we discuss the same issue, it is necessary to use the same language. Of course when we think of the common language in this world, English is probably the most useful language. Most of the international conference, go as essay were made in ...such information, they are so commonly written in English. And also additionally, the role of the World Wide Web and computers has greatly increased in our life. On the web site, according to the survey, 90% of the language is the English. Therefore, English is very important if we want to use the internet to its full advantage. Now Japan's economic is down. But only the industry relative to the computers is developing. To boost economic to success in the business now, we should be in the ... To learn new things and to get to know each other better, to insist and explain our opinion, the study of English is very important. But now, we, Japanese start study English when we are junior high school student. But they don't study conversation a lot. Most Japanese student understand the meaning of English word, but they cannot speak English. That's means they cannot communicate. Therefore we respectively submit the English should be introduced in elementary school as an elective subject, that is not a ...subject. But emphasis is put on listening and speaking skills. I also think, the study of English means more study of Japanese, not only the Japanese language, but also Japan's history and our culture. English is the logical language. How to discuss. Yes. Even the

argument is an important point in English study. But when we learn to discuss and explain ourselves in English, we also at the same time become more able to discuss and explain ourselves in our native language, Japanese. So soon we will see we need to study, when we started to study English, we will see we need to study Japanese, which means our language and our culture and our attitude, with the same intensity as our English study. I think this is the most important things for present Japanese people. For only with the people's expressions and discussion, and of course, argument can, we as Japanese move forward in our national democratic vision. With English as a Japan sh, Japan designate English as a second language, that's many benefits beyond those already stated occur. That's why I, we live in Japan should designate English as our second language. silence 18 sec. Oops, sorry. I, I want to, I want to insist that in my speech, I want to, when we study, we study to study English, that means we can study our culture and Japanese language a lot. This is the most important thing, I think.

1AC CX

N/ OK. Thank you very much. First of all, I'd like to hear your definition of the word, official language.

N/ Your definition of the official language. What's, what is it in your understanding?

A/ Sorry, I didn't ...

N/ Will you define the term, official language? What is it?

N/ OK. And in your plan, you include some kind of reform of education

A/ Huh.

N/ as a part of your plan, right?

A/ Yes.

N/ Is education, does education has something to do with official language?

A/ Yes, because if Japan, now, in Japan, the education, English is, even we study a lot, now English skills is not so good if you compare to another countries, English ability. So when we designate the English as a second language, we, of course, we have to, we need English skills.

N/ Huh.

A/ So, that means, a government will take the, change that the in, education system.

N/ OK. And besides the changing the elementary education system, what are your complete plans? Just take the English is the second official language, or do you want to do something more? What are your plans? Actual action plans.

silence 15 sec.

N/ OK. If not is OK? And, say, your father, or mother, do they receive compose from their foreign friends?

A/ Sometimes.

N/ Sometimes. How often?

A/ My parents?

N/ Huh.

A/ It's, how often, it's, it's not so many times.

N/ Huh. OK. And do you work with internet?

A/ Yes.

N/ Yahoo Japan?

A/ Ah, it depends.

N/ Aha, OK. It depends.

N/ OK. Do you know that the automatic translator will be provided.

A/ Yes.

N/ ...

A/ But do you use that the translation system?

N/ I think it is very useful.

A/ Do you think so?

N/ OK. Yes. ...

INC

Thank you. I'll be happy talk about English education itself, but initially I'd like to examine the their definition of English, designating English as a second official language. OK. So, because they didn't indicate to us in their constructive speech what is designating English as a second official language. So we offer our counter-definition of the desig, of the designating Eng, our, of a, of English as foreign lang, no, no, English as a official language, no, no, official language. Excuse me. Foreign language. OK. According to professor Katsura, OK, he is Tokyo Information University on Asahi Shinbun March 22nd 2000, year 2000. Quote. In short, official language does not ... destination master that language. On the contrary, it means nothing but the language which the government promises its, promises its use to provide equal administrative services to people as broad as possible. Unquote. You see that they're offering, they never offering English education problem but fundamental according to our definition, English, officializing English as English, is, means that a, providing English administrative services in any ... OK. And a, nextly, I'd like to talk about plan. This ...many suggestions about improving English education in Japan. But we want complete plan. OK. By which plan are they going to change the current education system. Otherwise, they are talking about current education system itself. OK. Let me talk about disadvantage, however, when we

observe the country where they designate English as a official language or a sub-official language, there are disadvantage. That's why we should reject. Disadvantage1, English creates social economic inequality.

A. Right now English is just one of many foreign language which is used in Japan, and it is not privileged over other foreign languages. Eliot ..., professor of linguistic ...University of Illinois 1987. Quote. Thus, in a EFL, English as a foreign language situation, very few people other than those in teaching professions use English on a regular long term basis. In short, English has no special status or use over any other language in foreign language. Unquote. Thus, we, ah, OK.

B. the affirmative gives English the official language status. The language use will be privileged among foreign languages, use will be strongly encouraged. OK.

C. English as a official language creates inequality. 1. Social and economic inequality among foreigners. English speakers can get higher paid jobs with higher status than those of non-English speakers. It is the 2 with the case of the Singapore where English is one of the official languages. According to Bamusa-Amani Sarah Banet, professor at department of Asian language applied linguistics ...technology university 1994. Quote. The social identity of English educated is one who belong to the middle class. One with identity with a Tamil educated engaged in lower income jobs is one of lower prestige. Little economic wealth, and little social mobility. Unquote. You see, there is unfairness and inequality between English speakers and Tamil speakers in Singapore. It is unfair because while native spe, native English speakers will obtain the higher economic and social status in Japan easily, non-English speakers will have to spend huge amount of time, money, and energy ...English proficiency to be able to get the job. That's why it's not fair. 2. Far difference between English speaking Japanese and non-English speaking Japanese. According to Shouichi Kato, a medical doctor and also a writer, Asahi Shinbun February twenti, 17th, 2000. Quote. Japan is at least legally an independent country and same Japanese language understood throughout a country. It is simply a bad joke to designate English as a second language and broaden the gap between English speaking elite will monopolize the power and ...non-English speaking public. Unquote. So, thus, it creates inequality among foreigners in Japan, and also English speaking Japanese and non-English speaking Japanese.

Let me go on to disadvantage2. Since they are talking about school education, if their plan, plan will create collapsion, deterioration, collapsion. They are going to decrease study hours in school, but affirmative burden will increase the burden for students. Designating is English as a official language means educating students. According to a interpretation to acquire both

English and Japanese proficiency at school will impose heavy burden and pressure on students. Result is the school collapshion will deteriorate. That's why, English may be important, but a for limited people.

Chariperson/ Time.

So, we don't, shouldn't, of, designate English as a second language. Thank you.

1NC CX

A/ So, you said, first, I want to ask you,

N/ Huh,

A/ you says, if Japan designate English as a second official language,

N/ Huh,

A/ you said it's, it's not clear for the people, so, because of the, you know, people who has a ability to speak English can get a higher education, ah, I'm sorry, higher, nice job, and so that's means it's not fair.

N/ It's not fair, because they are native speaker of English, whereas we, non-native speaker must, have to spend much more effort to acquire the skill.

A/ Huh.

N/ And that's actually create income gap in, in Singapore.

A/ But, we, now, and also you think, but, you said, does the, now, you are talking about in the Singapore.

N/ Huh,

A/ You said, Singapore, as you know, they, they have a second official language, English.

N/ Huh.

A/ So, that's, you said, that's, you, they did, designate that the English as a second language. That's why they have a differences between that the people?

N/ Yes, English speakers and Tamil speakers. That's what it is we said.

A/ Is this, it's because of the second language?

N/ It's because it's official language and English is powerful than other languages, and English is related to, when going back to the history, it's related to the colonialization. And a English is so powerful, that's why.

A/ OK. Then, so you said about education system.

N/ Huh.

A/ Do you think Japan's education,

N/ Huh.

A/ Would you say in that the school,

N/ Huh,

A/ English, if we designate the English as a second language, it's, it's not a burden for the students? I mean, you said a,

N/ It will increase their pressure of studying English harder. And it's like a, currently not everybody need like oral communication skill, but if you designate English as a second official language, then shouldn't, we have to speak English, because interview see there is a income gap, they will not be able to get a job unless they get a English skills. That's why they have to work harder, need currently who say you have to work harder,

Chariperson/ Time.

N/ otherwise, you can't survive...

2AC

Thank you very much. Our proposition is English should be designated as a second official language of Japan. Now, that in ..., all the, all the problems and the merits of the second language. Not only the ... means that official designation should have the option of being conducted in English, there are also means all rules, regulations, government documents, and ...service, exams, and test should have be able to be written and see them in English and Japanese. And that the benefit explain is that many Japanese can't understand Japanese official language, I mean official document, and many of the ...for our dairy life. We want to stress that by year 2000 and this will give us enough time to, to ...political couple and will to formulate effective plan. I cannot, I cannot state in this great ...of the future, but I know that the harm in that is just going to the ...is now will be much greater than we can imagine. In the anniversary special the Dairy Yomiuri April 1st on Saturday 2000. Kouichi Kato, the former liber, secretary general liberal democratic party said, unless you can clearly answer every question, you will be criticized from considering your ideas. It is very tough to conduct sessions in foreign language. But size that means...clearly conveyer their visions and messages in English will be re-documentary political health. Their will, they will definitely be difficult in changing mentality of Japanese people who tend to refrain from speaking mind ...and others. But we have to make average ...tends and also in the same edition of Yomiuri Shinbun, English transform ...and monsters this culture, you know, both ...and monsters have, have had a hard time in the last 10 years. Mostly because the maintaining the status quo. Now, we obviously stated they will be a definite social impact to make English the official second language. But the competitive this, disadvantage of not developing both the English as the second language skills and reinvent in education system. So there's more focus on communication both Japanese and English. I don't see how we can maintain our position

...second strongest economy in the world. We have the money. We just don't, now we have no focus. You know, our position is with changing, changing the focus by making English second language. That will give people a new, a new feeling of energy. Either for or against, they will open up a, a great ...and maybe we can, we can see that will be proven in the future. Now the, ...it is now, it was the English education, there is no, there is no real war, it's just a, it's just a something ...not, not ...study to passes more call the entrance examination. There is no reason, no real reason to study English in Japan. As the second language, that means government officials in not all, but some in every prefecture and every city hall and every police station will have to have command map in English. And that will give the ..., push to change the mindset of the education system. And we respectively submitted with classroom destruction or classroom collapse is recalled in Japan. In our its...safely there, we focus on education system. We want to ...and revitalize are use, and give them the goal. So they can have a dream and a life. Thank you very much.

2AC CX

N/ When talking about exporting goods to form country, since you talking about inside,...

A/ Yes.

N/ Ah, now even though English is not a second official language, how can Toyota or Honda be able to export cars in United, US market?

A/ I think there is ...but I'm talking about, I'm talking about the future. You know, now, that we are entering information society age. And cars and steels are part of the smoke-stuck age.

And a

N/ OK.

A/ You know, assume that the they are going to be the part of this.

N/ OK. So you're saying that since a information age, and a English is the dominant language in internet. For example, we should, everybody should study English.

A/ That will be an optimistic ...yes.

N/ OK. Thank you. All right. One of the thing is a, talking about, you know, foreign resident in Japan. ...with that a Korean, or Chinese, majority of foreign resident ...

N/ No.

A/ OK. All right. Does 30 Brazilians, for them English is not their native language. Is that correct?

N/ I don't know. I can't speak ...

A/ Huh. All right. Now, OK. About your plan. Let me talk about your plan. Are you going to improve students' oral communication skills or written communication skills?

N/ I could say yes.

A/ Both?

N/ Orals is our focus.

A/ Orals focus.

N/ And the how that relate to, you know, be able, being able to send internet, or we internet in English?

A/ You know, internet is evolving and about your computer but I speak to my computer sometimes.

N/ OK. They respond to you all in English?

A/ So far.

N/ So far. Do you think there will be a Japanese programs who can understand my language?

A/ I can't speak about future.

N/ OK. Right. Thank you. Now, OK. Thank you very much.

2NC

Thank you very much. I'm very nervous but I'll do my best. Firstly begin with a topicality. A. Topicality standard. Every word must have meaning. To be topical, the meaning of dairy word should not be in the word. B. The definition of English as an official language. As my partner quoted the evidence a giving a authorized definition, official language is, has to do with a announcement of administrative services. However, the plan from the affirmative has to do with the reforming in education, like a giving in English as an one of the elective subject. So, advantage from, from this extra topical plan shall not be considered as an advantage.

Now, let me talk about advantage proposed by the affirmative. Information society. Yeah, right. And the, about the companies are, you mean, advanced technology, IT, information technology. And thanks to the advanced technologies, about translation machines and tools have developed. And this was the Yomiuri Shinbun, of the day before yesterday, on actually Wednesday, NEC has developed for the benefit of international users, the translators which is capable of translating 9 different languages. And the service will be pro, start from next month, July. And a as a result of this kind of effort to, to make the use of internet, to access to the internet for non-native speaker of English, English relative position in the future in linguistic, in linguistic world will be decline. The affirmative asserted 90% of the language used in internet currently is 90%. Correct. However, it is focusted to decline as low as to 40%. According to the future of English, quote, as computer usage spreads, it is predicted that the English contents of internet may fall to 40% of the total material. Unquote. So, since information is very important, everyone knows. So everyone makes effort to obtain the

information by their own languages. And as a result, we don't have to learn English as a means to get an access to the information. We can do that by Yahoo Japan. So that, in the process of, for preparation for this debate, we relied heavily on Yahoo Japan, right? And a moreover, English is not a necessarily important, as far as the oral communication is concerned. According to, as the affirmative say, admitted conversation of their mother and their friends. English is rarely used. It's typical for the Japanese. English in oral form is not necessarily important, or must. Only for some segmented people, like us, and if not perfect, we are doing sufficiently, reasonably ...So, if the motivation is provided, we don't have to force them to study English. Moreover, even if a legal statue is given to English, 100% of people won't be able to speak English. This was proven in the cases of India, and Hong Kong. Let me prove. International journal of sociology of language, 94. Quote. However, in such English speaking countries as Kenya, Nigeria, and Pakistan. It is the fraction of the population who actually speak the language of power. Figures for India, there are between 2% and 4%. Unquote. And another evidence

Chairperson/ Time.

Thank you very much.

2NC CX

A/ Those translation program you are talking about. Do they talk.?

N/ Excuse me.

A/ The translation program NEC here talking about. Does it talk?

N/ Ah, no. It gives us a written translation.

A/ If I'm talking to you in English and your Japanese, and you can't understand what I'm saying. You can use the translation.

N/ Without particular program, it won't help. But this kind of conversation is rare between, say, ordinary Japanese and ordinary foreigners living in.

A/ Ah, OK. Then your position statement here for pass that a, you know, English will be rapidly go down to about 40%. Then,

N/ As far as, yes.

A/ Can you tell me ...?

N/ The future about English, written by David ..., the linguist, the study of

A/ When do you write?

N/ It was '99 January.

A/ '99. You know, problems with forecast is the most of the time end up wrong.

N/ Excuse me.

A/ The problems with forecast is end up the most of the time being wrong.

N/ But you use the your forecast as well.

A/ ...Now, you also said that the there is no advantage to, to a reforming the education system.

N/ Ah, no. This point, this is, this has not related to official language. Official language by definition has to do with government service, which does not include reforms or anything to do with education.

A/ But our plan is to reform the education.

N/ Also that's why we afraid it's extra topical.

A/ Extra topical, you're right. I think you, you really reach in your definition of

N/ of the some professor

A/ Some professor?

N/ Oh, yes. We,

A/ Does that mean that a, that a, your definition, you are taking it to your position is that a correspondings doesn't have.

N/ Correspondings, if correspondence from the local...government, to the general public....includeded.

A/ So there will ... translated between...

N/ Translated. With its English. Yes.

A/ Very useful English.

N/ But nothing to do with the education. This is the key.

A/ If you, your point is that even though English should be a second language, we don't have to study it.

N/ As proven in the case of India, on the...focus on them speak English, even though they have a English as a official language.

A/ How many people are in India?

N/ 1 billion? And somewhere between around 1 billion.

A/ Now, I think comparing India with Japan is strange, isn't it?

N/ I want to hear your explanation.

1NR

Well, I'd like to ...piece of evidence which prove, in case of in their how much percent ...time. That means that even though we designate English as a second language, only a few people can not ...International general sociology language, '99. Quote. However, such English speaking countries such Kenya, Nigeria, ...it is the fraction, fraction of population

who actually speak the language of power. That means English here. ...India, they are between 2% and 4%. It's really small, isn't it? OK. Let me talk about in case of Hong Kong. Dairy ...University, the future linguistics July 19, 1997. Quote. Hong Kong's former status of British colony establish English as a language of juri... and ...executive yet. 1991 sensor of the result says the while 29.4% of the population spoke English, only 2.2% did so as their usual language. Only 2.2%. 88.7% for Cantonese and another 10.7% spoke other Chinese dialect. OK. Unquote. It proves that even though we make English as official language they can't improve English skills as much as they expect.

Let me go on disadvantage. OK. Social economic inequity. OK. So, there is an income gap. But it's impossible to change or reduce the income gap because it pertains the economic fractural, economic fractural. It, when they can't, they don't have the money, they can't spend money improve children's English. Abstair Peniker, lecturer at English center at Hong Kong university 1994. Quote. She, Quan Teri shows that children from English speaking homes, where father has a university education have a far greater chance for success in a system that offers success only to limited few. Since their language background and their country source help them to cope with the linguistic di...school system, the me...system moreover, further, ...social stratification by making it almost impossible for student to from, student from lower social economic classes to move from the conditions into where, which they were born. Unquote. The point here is that if they are born in poor family, family cannot have money. Money spend for to improve their English language skill.

OK. Let's talk about disadvantage 2: school corruption will deteriorate. OK. Let me proof from Kei Nakamura, professor at Seijo Univerisity, Mainichi Shinbun March 16 '96. Quote. When Japanese study English become official language every Japanese must be able to read, write, speak in 2 language perfectly. It will impose heavy burden to ...for corruption with deteriorate. Unquote. Why? Because now, ...school is been corrupt and government is trying to lighten the burden for the students. But officializing in those language will again put heavy burden for the students. They have to, students will be, now re-motivated and the they will leave school or they will ...That's impact of the plan. OK. So, which reject the affirmative's proposal. Thank you very much.

1AR

I want to tell, now we are, they said example is Singapore, and Indo, and another country have already take a designate English as a second official language, but and they says they are not equal for the people if we designate English as a second language. But, I think, you know, this is Japan. And also we are a bit different, and recently, as you know, many parents want to

their children go to the English school. That's why you can see the so many English cram school is, in the town. So that means in Japan many people want to study English because we know English is very useful language, so, to, to, to, of course, especially in economic world. You know, now Japan, economic is very bad, but, but only that the economic are related to the ...and computer is a developing. That means, before I told you, 90% of English, the language is English. So they said the translation, software must be helpful, so we don't need to study English, but when we insist something and we want to communicate to each other if you, we use ...papers, or that's oral communication is the most important thing are yes. And also they said school collapse. So and if we designate English as a second language, it, the student will have a stress. But, I think, you know, because we submit that the we want to, if we designate English as a second language, we want to change the education system. Before I told you, the study of English means the study of Japanese, not language and culture. So that means student will, when we study English as a elective subject, we will know how to express and how to ourselves and also I, we will, the students have a dream. Before I told you, useful language is a English, so many, these days many students go abroad. So when we, can you imagine, so when we go abroad, if we can communicate to each other directly, it's not only fun, and we can learn a lot of new things, and we can ...

2NR

Thank you very much. I'd like to first touch upon disadvantage and their advantage and the comparison between the both. First, disadvantage. As my partner explained in the constructive, language inequality will arise after their adoption of plan. And the, we explained the cases of Singapore, then let me talk about what will happen in Japan. In Japan the majority of foreign residence are Koreans, Chinese, and Brazilian, according to the White Paper registered foreigners by nationality. By judicial system and research department. Unquote. So, Koreans, Chinese, Brazilians, they are not native speaker of English. And the affirmative is going to give a legal status to the English. That means those non-native, non-native will have a handicap in terms of getting promotion, get a finding a job, because they don't speak English. Do they think these people, Koreans, Chinese, Brazilians, have to go to conversation schools by NOVA or EION? No. This will just create the language inequality, which is a serious disadvantage. And since much is talk, talked about heavy burden of school education, I think it's enough. And then coming back to the advantages the affirmative proposing. Let me emphasize that even introduction of official language, we will not assure improvement of English. We can't improve people's English proficiency just by declaring English is the language you should speak. It's not possible. However, only a few people who are motivated,

who find it necessary to learn English, learning English as I'm very much impressed with its speaker of the affirmative, she speaks with very good English, and a so, this is not something we should force all of us to speak. And the affirmative plan unfortunately is forcing the people because the office workers should speak English in their plan. But this causes a kind of inequality even among the officials of the work office or public offices. Those who have English proficiency will have more promotion opportunities than those who have not.

Chairperson/ Time.

N/ This is serious problem. Thank you.

2AR

I respectively submitted by asking opponents have not really attacked my basic promise and our plan, and they ignored my case, ...I didn't really go into my case, but even ... world Japanese companies and ...have been absorbed into other companies and they have been forced to deal with the fact now there are 2 system, English and Japanese. Now, I think force...it's actually a shock, because they can ...managers have an option they can do reading in Japanese, and they can do the reading in English. They can use the team of translators, or they can use, they can use the native, not native, but second language skills. Now, as far as language inequality and foreigner ...risk, foreigners of risk of a substandard job opportunities, I think that is happening their own. I don't really see how going to English as a second language will make their lot in worth ...now. The affirmative, introduction on the sure English language ability, we look to the future in next 10 years, starting at the point of English as a, will be a second language. The natural given taker the political sphere will produce more rational communication both in Japanese and English. We want to, we don't wanna force people to speak English, we wanna get them a reason why we wanna speak English. Many people now, you know, don't have any, any pur...sense of purpose on that. They don't see any ability moving on. Why should I study English? Why should I study Japanese? I can't communicate neither what is the language. When you study the second language, you also automatically gain the better ability in using your own native language. I found that in my teaching and when ...Japanese. English is the business language. Business is the world business now. Now, in this more information that it is the cars, tracks, and anything, the American companies and Japanese companies and European companies, are all exchanging the information, and of course they communicate in native languages, but it is English as tool. we respectively ...

yom20020624c

Daily Yomiuri Debate Tournament

2000/6/24

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

Preliminary

1AC

We to resolve that Japan should designate English as its second official language. ...terms of the resolution, we referring as follows. Let's Japan did not national ...governmental bodies of Japan and their public services. Let the English did not the standard language, commonly spoken Australia, Canada, England, United State, and most of the English commonwealth. And their second official language did not oral or written communication for public agencies, or less than importance only to the Japanese language. Thus, without making the news of English, English language, a legal requirement will support the governmental policy that promotes use and delivery of English regional and national levels. In support of the resolution, first, with over 27 hundred languages in the world today. English is by far the most internationally common spoken by some 4 hundred million as a native language. And some other 6 hundred million as either as second or foreign language. This amount to about 1/6 of the world population. Imagine being a business man with 20% access to the world market. Politician with 20% more chance of making a cause first party or traveler with 20% more areas open for exploration. Giving the Japanese population more chances for learning English would provide it with the keys to the open all these doors. And second. This 1/6 of the world population having English as a common language must find itself ...advantage in this information age. When a estimated 80%, 80% of all information in the world computers is in English. If knowledge is power, the language is surely its most basic of components and hinges on it absolute potentials. We should do all we can do give the population of Japan such access. And that as part of the G8, Japan has committed itself to, first, expanding the opportunities for all people to learn anywhere in anytime throughout their lives. One way of facilitating, facilitate, facilitating this would be through the use of common language. Second. As part of the G8, Japan should commit itself to using internet and satellite communication for teaching, training, and research for systems. That have approached international borders. Economic success, economic success is closely linked to intellectual ideas again through information technology. And ...as part of the G8, Japan has committed itself to increasingly international mobility of students. The Japan, Japanese government aims to double, the number of, the number of students, ..., researchers, and administrators from

each G8 countries during the next 10 years. This can be best achieved through English, the most common language of the G8 countries where 3 out of the 8 countries use English as an official language. That collaborative effort of the Japanese government and ...trade any industry has seen not only reliable but necessary to its own purposes. To sponsor ...nationally interchange and this resolution would help ensure it. Thank you.

1AC CX

N/ Would you first explain your plan again?

A/ My plan?

N/ Yeah. Or what was your first ...in your speech?

A/ My first sentence? My first point?

N/ Yeah, my first point.

A/ My first point. 1/6 of

N/ No, no, I'm sorry. Before that, you talked about on public organization or something. English is standard language and so on, and such and such. I'm sorry to say I could not catch your argument.

A/ My

14 sec. Silence

A/ Ah, at the first point, I showed ...first point. First point is about English is an international language because 1/6 of world population use English and 80% of world informations is in English.

N/ All right. What is your definition of official language? So you well may English is Japanese second official language, second official language in Japan, right?

A/ yes.

N/ OK. What is definition of official language?

A/ All written communication for public agencies of less than importance on into the Japanese language.

N/ So, written materials of public organizations are written in both languages by your action, right?

A/ Oral or written communication.

N/ Oral or written communication.

A/ Yes.

N/ Oral?

A/ Oral.

N/ Oral?

A/ Oral.

N/ In public organization?

A/ Yeah.

N/ Aha, OK. Then, you talked about English is the most international language. 1/6 of the world population speak English as a native or second language. Right?

A/ Yes.

N/ Then what about others? 5th, 5/6?

A/ They speak their native language.

N/ So, it

Chairperson/ Time.

N/ Thank you very much.

INC

Let me talk my speech with a brief comment. After hearing to the today's case, we have the strong doubt that they seem to discuss the significance of English education as foreign languages, other than English as a second official language. OK. What affirmative has to do is to justify why Japan has to introduce English as the official language. Without clear explanation on this part, we do not affirmative deserve to call for adoption.

Let me start my, let me continue possible 1 disadvantage after implementing this plan. That is language divide. Sub-point A. Plan introduce English as a second official language. Anyway, if affirmative claim for. Sub-point B. English which is given a special social status in Japan will cause the discrimination according to language. Yukio Tsuda, professor of Nagoya University, March 14, year 2000. Quote. The second issue language discrimination caused by English as a second official language. Institutionalizing the official language make a language hierarchy. In short, Japanese and English will be authorized over other languages, and those who speak either or both languages will out run socially over people who do not. As a result, discrimination according to language will be practice in public. Unquote. Logic here is that the affirmative plan create a hierarchy in languages by government. Officially admitting English and Japanese are special. It creates social sentiment to treat English speakers preferably and non-speakers of English in a discriminatory fashion. Furthermore, English and its speakers will take a dominant position. Same source continues. Quote. We can easily imagine that Japanese people would favorably treat native speaker of English, because of they, their deep rooted royalty to English and western people. Those westerners may rank in upper classes in Japanese society just because they speak English. Nobody can deny that English, which is just a second official language may take dominant position over the Japanese

language. Unquote. C. Emphasis of the language discrimination are to follow. Number 1. Unfair social discrim, discrimination between foreign speaker, foreign speakers and non-speakers of English. Those non-English speakers are unfairly treated such as Brazilian, Persian, and Indonesian or Chinese workers. Number 2. Income disparity within the Japanese people. Who speak English become richer and richer, but others become much, much poorer. Because affirmative plan may expose economic opportunities for them. Tokihisa Oda, former executive of foreign oil company, Asahi Newspaper, March 23, year 2000. Quote. Making English as an official language will create confusion and increase huge governmental spending. Furthermore, the division between speaks and speaks-not of English directly affects their standard of living. Unquote. In this way, the plan will hamper to a healthy in equality of society. OK. On specifically on their case on the first point. They argued that English is the de-facto global language. We do not agree. First point is that we, the negative believe the cultural diversity. Means that, implication here is that cross-cultural communication by a their own native tongue is much better than communication by any de-facto global language, because it agrees with reciprocity and cultural relatives. Therefore future direction for Japan should be prepared ...for multi-cultural and multi-lingual environment, rather than promoting the use of English alone. Point 2. English will lose dominant position in the 21st century. Hiroshi Kato, emeritus professor of Keio, year 2000. Quote. Because from now on, even computer languages are going to become multiple, I suspect the idea to let every Japanese people, to use, use English. English is prosperous at present, but in the 21st century, proportion of Chinese speaking and Arabic speaking people must increase in the world. Unquote. In this way, the significance of English will deficit in the future. On plan side, let me mention 1 thing. They might argue the education. But education in early stage does not guarantee the better command of English for the speakers. And also I'd like to mention that plan side in general. They didn't explain the solvency of the plan. How their plan will bring us any advantage. Basically we didn't hear any beneficial points after implementing this plan. So, this plan
Chairperson/ Time.

we are quite confused.

1NC CX

A/ Does their position recognize the ...for Japanese professionals still be ...in English?

N/ Not really.

A/ When considering the affairs of the ..., ...Don't you agree that the lack of English speaking professionals could jeopardized the very existence of every person in the nation?

N/ It depends. I'm as a professional salaried worker, when I going to, my colleagues in

Netherlands, I try to speak Dutch. When I go to Germany, I try to speak German, German. Because I understand it is better communication with them.

A/ ...? So should Japan continue to ...commitment to the G8? And if so, wouldn't you agree that the happy variety number of people speak in common language, English. Would you have achieve those goals.

N/ ...has nothing to do with the resolution that Japan should introduce English as the official language. Let just bring those English speaking officials and spokesman to the G8 summit. That's all.

5 sec. Silence

A/ OK. Due to the lack of foreign trend, bilingual speakers in Japan,

N/ Huh.

A/ Toyota companies have recently seen a ...of foreign managers to 4.1%...

N/ Aha, ...I think it's good news. But you never say that the person it English speaking or not. He might be Chinese.

A/ OK.

22 sec. Silence

A/ And,

14 sec. Silence

A/ Don't you think that the lack of broad sense in English will you, will be a large ...in the 21st century?

N/ It depends.

A/ It depends?

N/ On the people's needs, whether or not, to have English proficiency is good or not. Because their necessity for communication is determined by their opportunities.

Chairperson/ Time.

2AC

Japan should designate English as its second official language. Firstly our position member claims that there will be a road of discrimination and hierarchy of language, if you like elitism but will be established by. At the government, though, the government feels in fact this is not the case. First of all, majority of citizen will not be affected by this resolution. Only affect those with a position of international interchange. Most these people, of course, being in the business, economics, that those areas. Second. How can this resolution create disadvantage society with English classes are offered to all school children. And, even newer school program are offering English classes to children. Younger and more frequently ...before. The

universality of English teaching in Japanese school system starts all 6 students offer the same advantage and let's children decide, let's should an adult, an professionals decide of the on a court they want to continue English study outside the high school. Third, the opposition claims that to the elitism about creating English hierarchy. It's untrue, because companies of international interchange, for these companies, English will, is used as a tool and should be treated as such. Delivery of English creates no more the elitism class than pipe, wrenches and spanners are in a hand of framers, makes them an elite, separate classes. They have the tools for job, they highly performed job, and they are expected to use them for the job. Would you have not the confidence in a framer between the your job and your going step and ...expose, and ask you for a pipe wrench. Second, the opposition mentioned the English will lose the dominance. Here we find the city there on the fence, were the ...passes by in front of them. The government for speaker, stood up and said, hold on second. You have got the 27 hundred of languages in the world English ...most international economy. We have got the 20% of information, sorry 20% more chance making the cars more first party if you speak to 20% of world's population. You have got the 20% more chances of politicians making you ...first party. I know, get into this rate on, but the politicians are screaming for this is well. You had better leave to able to make first party. And also, 80% of world information being in the English language, where is the Japanese economy, the Japanese society going to be tomorrow, if we sit on the fence, like the opposition is doing, I don't do anything about educating people. The opposition is sitting down on their hands, and they're going to just wait for the world English situation will change. OK. Let's... Let's wait for the English, English dominance changes. When these gonna be, when the Asian population turns to, I don't know, next 2, 2 billion, 3 billion. Find in the meantime, 50 years have passed and Japan will have lost out in a whole million of political, social, economic ways. Well, ...problems Japanese economies as well as largely copy Anglo-Saxon method of conducting the business whether this is beneficial or not. We still should be able to use English to be able to find out what for common cure is, or what cure is. We want to find out a comment for it. But we should be able to have these spirits of tools to go head and find out what is the best way to get out of any social, economic, political situation that we might be entered. Third, in favor of this resolution, and increasing number of politicians support English in foreign formal relations. The opposition member said that, his word was it depends. Maybe Japan's defense ...could be jeopardized. They will agree with the danger. One estimate is Japan is 30 or 40 politicians now, not a 50 years for co-function and formal level in English for international relations. This estimate will grow experientially if we don't take into account this ...economy, in fence,

territorial sovereignty, and other ...national issues. While this debate has been hardly used ..., this debate must hurry. This resolution must hurry, because without supporting for this, the Japanese government would be let down this people. We

Chairperson/ Time.

will losing, time?

Chairperson/ Sure.

2AC CX

N/ OK. Let me start you're the last point. You said that, in my understanding, you are claiming if politicians, a Japanese politicians do not communicate in English well with other foreign counterparts, it will jeopardize the future course of Japan.

A/ It's not just my opinion, that ...politicians.

N/ No, no, I'm asking what you said.

A/ That's right.

N/ Thank you.

A/ It's my reflect or ...

N/ Let me tell you 1 thing. My former job was the ...

A/ We are not interested in personal ...

N/ Let me ask you, please.

A/ ...question please.

N/ I was a legislative assistant to the representative of member.

A/ OK. Personal ...

N/ Let me ask you first.

A/ Faster.

N/ Be calm down. This is the peaceful ...

A/ This is the question period ...

N/ I have the right to question.

A/ OK.

N/ OK? Then, would you briefly explain your plan proposal actually enhanced English command of those politicians? In short, please.

A/ The plan ...propose is to, is to

N/ What?

A/ is to put peoples in positions of public agencies who needs to be there between 2 to 5% of public agencies should hire from normal ...people who are bilingual, who can offer the skills...We are not talking about sweat making 98% of the country bilingual. What we are

talking about is to protect Japan, ...territoriality, talking about protecting business economy by giving the people who are positions of power...

N/ I understand that.

A/ These people must ...

N/ I understand that. Thank you. Let me ask, please. This is my turn. OK? On, I, I'm curious about your second point that English constitutes common cure for something. Would you

A/ No, we said it does not for institute common...We are saying that people should have the skills to find cures to these problems. And 80% of information on internet is in English. and we have all these economists, all these business men out there try to do better ...establish ...If 80% of information is English, they are handicapped.

N/ I understand that. But your plan is, is that your plan implementation would bring the enhanced ...of English in Japanese people. Am I right?

A/ Yes, that's right.

N/ How? Could you give me the ...reason for that?

A/ Yes. English will have to be, to be ...educational ministry, as such 41 new part of ...this past year. They are more continuing. There is 1 such project where high school students have all well was...

N/ I'm not interested in what the government is doing. I'm interested in what you are going to do.

A/ I support the governmental position and this is exactly what the education ministry is guided. They have strategy at policy will...

N/ Simple question. Simple question.

A/ Yes.

N/ Resolution today is not practice under status quo. Am I right?

A/ That's not quite true. ...

Chairperson/ Time.

2NC

All right. First of all, according to our opponents arguments, dictator ...side says in their speech, the not everyone need to learn English. And the business person are mainly, the business person need English. And thirdly, the education ministry is doing the project to educate people right now. That means it is no need, it is no need to make English second official language. Because without making second official language, we can do, we can deal with this problems right now, as the affirmative said. And, the affirmative said that English is the tool to cure social economic situation right now, but as the affirmative side said in their

side, that because business people have to deal with the problem right now, they are doing, they are learning English right now, they are dealing with the problem right now. I'd like to present 1 evidence to prove it. Professor Watanabe, ...University, 2000. In the international companies, only English speaking people are allowed to attend the meeting and sign for the international business. Workers study English very hard because they cannot ...if their English is ...poor. It is strategy in some ...is ...meetings are conducted in English. Workers must study English to the extent they can communicate in ...if they want to become executive. Unquote. And about internet. While that in English, in English and internet. English will lose, English is dominant right now. That's right. But it will lose the dominance in the 21st century. It's near future. That's my, please call my partners argument. Even computer world, ...going to multiple languages. So there is no dominance of English in the 21st century. We should learn of language deal with, public with, multiple national ...And I'd like to present 1 evidence prove that English will lose ...The feature of, according to the book future of English of British counsel in 1997. We make ...of English replace by my own ...languages including Spanish and Chinese. To put it in economic terms, the society of global market for the English language will increase enough so terms. But it's market share will probably ... Unquote. And according to the internet terms, English on the web for 40% in the near future. The same source. As computer uses stress, it is predicted that English competent on the internet may fall to 40% of the total materials. Unquote. And, the same source concludes that, thus main conclusion is that languages other than English are now being used on internet and they strategy likely to be blowing importance. Unquote.

DA2, Spending. Sub-point A. ...has a lot of money. Professor Katsuura, Tokyo Information University, 2000. The government ...enormous ...plural official language ..., such recording administrative document, entertain ...judicial, medical, ...and public saying up the traffic signs. Unquote. Sub-point B. Affirmative plan cause inflation. Since ...version is not ...attacks ...impossible and today's serious economy. Issuing governmental bodies ..., that leads to inflation. Kenji Mizutani, president of Tokai ...institutes stated in 1998. However, actually every countries keeps deficit finance. Deficit finance. As a result, even if it is good in a short run, soon after the inflation occurs. Thinking it rationally, deficit finance shouldn't be allowed. And it is clear that it should be changed immediately. Unquote. Sub-point C. People who live with pension will suffer under the inflation. Mizutani, '97. If the economy become the inflationary, it is considered that workers can live with some refreshment because their salary rise. However, it's serious for the old people who depend on the income of pension and so on. The pension does not always increase just as increase of prices. On the contrary, the

income of pension cannot help being lowered than expected more until now. Because the system of pension is failed. Unquote. Affirmative plan damages more and more people because Japan is coming the aging society. And because the plan says to use, ...to use English in oral and written document in public areas. That means plan costs a lot of money for the government.

Chairperson/ Time.

That's all.

2NC CX

A/ OK. Do you believe that Japan should continue to honor to commitment to G8, and if so, would you agree that greatest number of people speak in common language will help achieve the goals?

N/ Pardon me? I'm sorry.

A/ OK. Do you believe Japan should continue to honor to commitment to G8? And if so, wouldn't you agree that greatest number of people speak in common language will help achieve those goals?

N/ As long as Japan keeps its economic status, or sovereignty, I don't care whether Japan will continue to be a member of G8 or not.

A/ ...how's ...keep economic status if what you are doing is sitting on a fence, saying that we are not going to maintain the levels of education. We are not going to try to maintain our business practices. Or not even we are not support the government ask this resolution?

N/ I'm sorry. Excuse me.

A/ You say that you don't care if, I'm sorry you said you don't care if you are not going to support the levels of language, but without the levels of language,

N/ No, I don't, I don't say I don't care the levels of language. I don't care whether or not Japan keeps, Japan will remain a member of G8 or not.

A/ You said just as long as Japan stays economic power house. And Japan will not stay economic power house, it doesn't have access to information. Maybe doesn't stay on top. Being on top. Being competitive. It's not going to be competitive if it starts going to the other language. You are talking about during 50 years. In 50 years ...time for new resolution. But right now, Japan needs to be on top by preparing its people now. Not in 50 years. What's Japan gonna do? Wait 50 years for another economic power house like United States drop up, maybe it's gonna be China. And you're going to wait for another one after that, and another one after that? If Japan wants to be an economic power house, why have you started right now ...training our people?

N/ So I mentioned that because you talked about education ministry's program. Under, even under status quo, English education is being promoted. So we do not need to make English as second official language to deal with the problem that you mentioned in your speech or G8 problems. If English is important.

A/ You mentioned ...low birth rate in aging population? Wouldn't you ...English as second language sponsored immigration any economic growth?

N/ Excuse me?

A/ You mentioned the aged population. You mentioned

N/ Yes. Not aging population, but about pensionary people right now.

A/ ...Wouldn't you

Chairperson/ Time.

1NR

Thank you Mr. Speaker. Let me give you a big picture first. What they are speaking, I mean affirmative side is speaking desirability of English command of English. But they never, ever, explain how their propose action would enhance those ability. Without explaining this, if 1st affirmative rebuttal speaker fails to this, this is the absolute voting issue. I guess. Because they fail to justify today's resolution. Second, what they are discussing is quite strange that for, and confusing. First, we argue that, as a first constructive speaker, I mentioned that in the G8 conferences for those who can speak English can attend those meetings. If communication in English is important, this has nothing to do with designating English as a second official language. Affirmative second say ...answer to this question. This also denies their argument because nothing will change if you agree what the affirmative say. And on the discrimination, there are a lot of misunderstanding. Let me clarify each by each. They argue that the majority of the people are in ...to this disadvantage. Wrong. He doesn't know the reality. My father is running a Brazilian workers in the small manufacturing business. He can speak only Brazil, Portuguese. For those people will be socially regarded as non-speakers of English. According to our initial logic, which is bad. And also, they said second that let's give the opportunities to those children. However, number 1. They forgot my question that those English education in early stages is meaningless. They also ...this point there is no guarantees that the early stage in English education enhance the education. Overall, unless affirmative clarifies solvency of their proposal. Judge should not vote for the affirmative. Considering the disadvantage of discrimination and their standing ...which is quite costly

Chairperson/ Time.

1AR

The opposition claims this resolution will create ...class of workers. This is not true. Because, first, the majority of citizens will not be affected by this resolution. It only affects those in positions of international interchange. Second, how can this resolution create disadvantage to the society, if English ...are offered to all school children and new school program that offering English classes to children. Younger, more frequently. And the universality of English teaching in Japanese school system stands all students with same advantages and let children and adults decide by their own accords if they want to continue to increase studies as side of high school. And for companies of international interchange, English is the tool and should be treating as such delivery of English creates no more elitest class than by wrenches or spanners in the hand of framers makes than elite class. They have 2 ...dark, hired to back home, and make this and use them well. If you are, if you are programmer that you perceive people in potentials of international interchange as being elitist. Then your program is in here, in the power of their potentials. And not necessarily true that people in that ...fault. Wouldn't it there for a make more, make more sense to provide everyone with more of the same tourist that people possess. So, they don't remain elitist, or in a, in a ...Deserving these skills for only those in these positions. With only rain force the, the ...of the positions. Opposition claims this resolution will just jeopardized jobs. This is not true, because number 1. Staff may be hired through normal staff openings. And number 2. The vast majority of the Japanese workforce will not be affected by this resolution since it's especially ...in those in area of international interchange.

Chairperson/ Time.

2NR

I'd like to start with standing disadvantages. They completely dropped, taking not mentioned about this disadvantages, which disadvantages, which means if the affirmative, if the English is designated as second official language, it will cost a lot of money to the government, which leads to the inflation and damages mainly older pensionary people. Advantage. ...din not refute about the argument that no need to be official language, because not everyone needs English. They said practice being done, and education problem is already done. Why should we do this? Why should we make English as second official language? Necessary people has already done, already learned about English, already doubt with English problem. There is no problem at all. Why do we have to make English as second official language? There is no need at all. And number 2. Please call my partners argument which says there is no solvency at all. How can making English the second official language will increase the ability of people, Japanese people English command. Here is no trick at all. And, nextly, please call my partners

argument which says the communication, international communication by native tongues is important. Then, English educa, communication. Please call for my argument, for my partner's argument. And nextly, at present, English is dominant. That's right. However, in the near future, in the 21st century, English will lose its dominance and other, Chinese, Chinese and Arabic ...and even computer, even in computer world, multi-national languages will be used. Therefore their advantage lose its ...And even in internet society, it will be, it will ...40% use. And DA, language divide. They said majority. Wrong. Of course, the majority, according to the affirmative argument, economic situation forces also deal with the English situation. That means that majority people have deal with English problems and people who can do, who can speak English very well can get a better job, cannot, who cannot speak English can't poor, can get a worse job. That expands discrimination between people. And making official language, rank the language between Japanese, English, and another languages, which is the problem. And number 3. Other non-speaking English foreigners will suffer. That discrimi, discrimination remain. Therefore, as a whole, all advantages can be done under status quo. There is no need to make English the second official language. Disadvantage 1, spending will remain, suffer pensionary people, language divide suffers foreigners

Chairperson/ Time.

who can't speak English. Call for rejection.

2AR

English should be designated as second official language. The opposition can't deny the need for English in Japan today. This debate for as down 2 questions. Does Japan need a second working language? And second will this interfere with its interest? The opposition has made already half of the argument for the affirmative already. Modern Japan is using English already, and all theirs' would be pointed out. And this means to grow, and it must grow the opposition is not very ...The opposition can't deny they are not supporting anymore. They in fact hindered in this case. So why declare English as second official language instead of deviant quasi, shudo if so fact so working language. Because if you don't support the government in this resolution, that's exactly what English will remain. A ...excuse for a working language. Without supporting this resolution today, the education ministry will not get the supported means to make the reforms to deliver a better curriculum. Our plan is to for. 1 to put to define percent of more valuable ...government public agencies where there was in the required. ...proposition actually in favor of having English speakers, supporting the rest of the of the citizens, especially once performs. Without supporting this resolution, Japanese

citizens will not enjoy the international opportunities they could have. But like the opposition, they are too afraid of implement. You've got to support the government position on this. English as second official language will be reflect importance of this issue to Japan's political, business, industrial, and social structures. If you don't pass it now, I guarantee the problem will not go away. Business for ...can't find enough English speaker for the posts. I ...say school didn't give us enough skills to find jobs. And the choice is to know. These people have ...got the ...of the rank of fired Japanese operation. And if industry, turns around and says, we don't have enough ...personality, industry current than the economy is going to go down to, and the opposition is gonna be left ...its face. Their ...attitude but more situation is not quicker enough. We are talking about to 5 % increase of ...stuff in governmental agencies, all through tuition, through normal stuff openings known ...lose jobs all this. It's not going to force whole ...people go out It just means there is more ...for people who want English through institutions, education institutions already exist in to go ahead.

Chairperson/ Time.

yom20020624d

Daily Yomiuri Debate Tournament

2000/6/24

Resolved: That Japan should designate English as its second official language.

Preliminary

1AC

Internet is making the world smaller. Business is becoming international. The 21st century will be so-called a global century.

Point1. English has become the de-facto standard. Today, 80% of information from internet are in English. According to “The world almanac and book of facts 1999,” Chinese and English are the only languages that can be spoken by more than 500 million people. But, because Chinese includes many different local dialects, English is the only one language that is used worldwide. Unquote. In the internet age, the world communication is becoming much cheaper, easier and more important. Not only in a business situation, but also in various settings, English will be spoken and used more often as a de-de-facto standard.

Point2. The Japanese do not have practical English skills. Mainichi newspaper January 11, this year reported, quote, the Japan’s TOEFL score was the lowest in Asia and the worst 14 in the world from 1998 to 1999. Unquote. Ms. Tajima, assistant professor at Shirayuri Women’s College says in Nikkei Business June 4 this year. Quote. South Asian, Korean and Chinese people are taking better scores in TOEFL and TOEIC than Japanese, because there are many business opportunities to English speakers in these countries. If you speak English, generally your salary is much higher there. But in Japan, you can do business without speaking English. The incentive to study English is quite low. Unquote. Because there is no immediate incentive to study English, our English is far below the practical level.

Point3. Future problems inherent to the status quo. The speed of change is much faster. Even though we do not need English today, how about after 5 years? In the near future, everyone would need English. Mr. Iokibe, professor at Kobe University says in the “Movement of Times April issue.” Quote. Currently Japan is being ignored by foreign countries. If Japan can’t improve this situation, maybe in the next 50 years, they will think Japan does not wish to communicate with foreign countries, and they may totally ignore us. So, we need a drastic change now. Unquote. If we can’t speak English, Japan will be isolated in the global century. Foreign investment will shy away. And Japan can’t pursue its important roles in the world. As a result, Japan will be,

number1: a poor country by the middle of the 21st century.

number2: young people can't have dreams in the future, inviting more crimes.

Mr. Funabashi, an editor of Asahi newspaper says in "Economist" March 14 this year. Quote. By designating English as the official language, all the people in Japan can make a nationwide commitment to change the country in a better shape, and to make a new vision and new culture. Unquote. The nationwide commitment is the decision criteria. So, we suggest that Japan should designate English as its second official language. Here, the second official language warrants public speaker, public services to English speakers everywhere in Japan, while Japanese is Japan's de-facto first official language.

Plans. Number1. The government should designate English as a official, second official language in 2010. in the 10-year preparation period, English should be officially treated as the second important language. Plan2. Traditional English classes should be abolished, and the introductory English education should start in the elementary school. High school should offer round-table English discussion classes, totaling 2000 hours for 6 years.

Point-a. 2000 hours of English discussion training is effective. Mr. Senda, a director at TOEIC Friend Club says in "Education Principles" December 25 '99. Quote. To increase TOEIC score from 200 points, a junior high school level, to 730 points, a business English level, you need more than 2000 hours of English lessons by a native speaker. But for 3 years at junior high school, you study it less than 264 hours. Apparently such limited hours can't achieve practical English. Unquote. TOEIC core of 600 is the minimal practical English level. So, students should master 200 TOEIC score level in elementary school and 600 by the end of high school. Plan3. After 2010, TOEIC scores of 600 should be the minimum requirement for public service job offers. The TOEIC scores of no older than 5 years should be used for the application. Our poor English is caused by the lack of incentives to study English as I explained before. By introducing TOEIC as the requirement for public service job offer, we can create strong incentives. We believe that only our plans can in... can invite bright futures in Japan. Thank you very much.

1AC CX

N/ well, I want to ask you you said internet is developing, so and, most of the language 80% language is English.

A/ That's right. I said the 80% information from internet are in English.

N/ and also Japanese people's TOEFL score is low.

A/ Lowest in Asia, I said, and was 14 in the world.

N/ and in, with, within a 5 years, if Japan cannot, Japan cannot take English more, we cannot catch up with other countries.

A/ Excuse me, you said 5 year, no, I said that the if we continue the situation current situation the world will see Japan do not, does not want to communicate effectively, to, to the foreign country therefore as a result Japan will be more as a natural course of direction.

N/ huh.

A/ so this, this is ...situation. So we believe that English should be the official language and Japan should promote effective communication to the rest of the world. That is our ...

A/ huh.

N/ And also you said, to, to achieve that the some score of TOEIC you, you found that, you found the year or the term the each students, elementary students, junior high school students, high school students need.

A/ That's right. So, I explained by using some evidence. The 2000 hours of English discussion training is very effective. And if, currently in junior high school for 3 years, the English education is just 264 hours. So to ...compare with 2000 hours and 264 hours, this is much shorter time. Therefore our suggestion is that from the elementary school that at least the students, I should say pupil, study elementary, very introductory English lessons. And the TOEIC score maybe achieving 200, and then through the junior high school to the senior high school by introducing the round discussion classes for 2000 hours. So I believe the all the students can achieve the basic practical English level. That's our plan.

Chairperson/ Time.

A/ Thank you very much.

INC

We disagree with basic proposition that English should become second language, second official language in Japan. ...colleagues in affirmative have, has been many great sounding argument, but I'm afraid most of them are ...For instance, you know, first, internet starts as academic communication tools, so and is basically based in America. So right now, 80% of information is in English. But many countries are catching up quickly with this information technology. And the base, academic base is already has a large substructure in French, German, Russian, and Chinese. As far as, as communication didn't cheaper that ...first topics, I think such number 2 and number 3, computer powers also increase in the ...46 months, and along with that, powers translation programs. In Yomiuri Shinbun in Thursday June 22nd 2000. Quote. NEC and Toshiba have already released simple internet program ...normal Japanese people can, can look at English pages in a native language Japanese and have prepared on internet currency. The, and other point, next point, about other countries have better scores on TOEIC and TOEFL than Japan. While other countries are ...spend more money in, in a

language ...in Japan. Japanese focus on education is more in a, in a Japanese, and mathematics, and other subjects, that a our spent in studying English right now is, is not so high as my colleague said. I, we believe at in negative team that if we rebalanced the traditional English education with more emphasis on spoken and, and lis, spoken and listening parts of English language that without making the added expense where is the money going to come from in, in put making ...the official documents and English and Japanese, and all the books and other things we need as a culture. Where is the money come from. Our economy is now just coming out of the worst recession and ...I respectfully submitted there, neither political will nor the political capital is available to do some such a gran...skin. I think we, and Yomiuri Shinbun in annually special of, in the April 1st 2000 agrees the Japanese is key to world politics. Professor Suzuki of Keio University says there are many arguments of for and against making Japanese official second language. I want a lovely on ...making indis...at second official language. At least I can say how ...we are not support commission's proposal, to reform education system with the aim of eventually make all Japanese capable speaking in English on the basis. Their losses. Encouraged for doing some will be too huge, with resolve ...will be too few.

Chairperson/ 1 minute left.

Thank you. Already, already politicians are able to be, to speak their own mind, and public debate and for a country. I refer to another the article in the same edition. Koichi Kato, and Mr. Ichiro, Ichita Yamamoto, state secretary for foreign affairs, directly, directly confronted matter of overwrite, the, excuse me, secretary state for America and in public debate about ...to of US senate passes the tes...compensate tes...aishinoni for us to do, to go to a radical end of training such habit. I remembering 1960s when the Americans and Japanese first ...

1NC CX

A/ 3 minutes, thank you very much. OK. Thank you very much. Your negative speech is very interesting to me, and I have many point that I'd like to confirm.

N/ OK.

A/ And firstly you talking about internet. It's academics. Do you know BtoC or BtoB? So internet is using more to business. Do you know Yahoo, or ...?

N/ Yes.

A/ This is academics. This is written, right?

N/ Yes.

A/ OK. You admit that internet is not only using academic but also business situation, right?

N/ I admit 2, 2 facts the internet is evolving into something that we don't know is going to,

what is actually in dark in the future.

A/ OK. Do you know, do you understand that the internet is making world smaller? Do you admit it?

N/ Yes.

A/ OK. So what language is most effective to communicate with foreign people? Do you listen to my first evidence that English is now de-facto standard and everyone is using English as, for communication ...Do you admit?

N/ I'm sorry, but I believe French would disagree with that.

A/ OK. Do you think Russia, Russians and Chinese will be the de-facto standard in the world?

N/ I can't speak about the future. Alls I know about is the present.

A/ OK. At present, I'm talking about current situation. English is the dominant language. Do you admit?

N/ No.

A/ Why?

N/ Because in, with the power of computer now, many people carry handy translating programs and ...

A/ Huh. Oh, Interesting point of view. So, do you, do you prove that translation is accurate?

N/ Ah,

A/ How effective translating. I don't know what's technology is. But I have never used translation equipment. Is it working well?

N/ I, um...

A/ Have you used translate before?

N/ I don't need to use the translation.

A/ OK. So have you used translation for Russian or French?

N/ Ah,

A/ Is it working well?

N/ In my computer, I have translation for Chinese...

A/ OK. OK. How long will it take to translate 1 sentence? 1 minute English translation into Japanese. How long will it take? It's ...technology.

N/ I don't know...

A/ Oh, you don't know.

N/ I don't know you think you are talking about. You know, my computer is almost supercomputer ...

A/ OK. You use the supercomputer.

N/ ...I translate it.

A/ How much does it cost?

N/ It costs me a,

A/ Million dollar.

N/ about a hundred fifty thousand Japanese yen.

A/ OK. Do you think every Japanese need such a very expensive supercomputer to translate ...for communication?

N/ No, my point is that the, you know, as you said in your, in your first, in your first speech that the now we are in a very fast evolving communication and future resolution.

A/ Oh, ...

N/ And I, you know, my point was that, when I first came here to translation programs were job.

A/ OK.

N/ Now normal people with, with the small amount of money can have the access to the technology.

A/ OK. Thank you very much.

2AC

Thank you madam chairperson. Regarding the English occupancy in the world information, they, the negative side totally granted that the English is the dominant language in the world. So I'll argue number 1. The neg, the English is still the dominant language in the world. Number 2. Other language they said taking the major role, but it's, it's, it is not good percentage. English is still 80%. Number 3. English is the key to the Japan's economy and politics. And I'll argue onto their argument. Translation the program. Number 1. No proof that the, translating program is efficient or not. Number 2. That's limited to the writings in the internet. Never assume the communication between the humans, the verbal communication. Number 3. Hence the, their, without affirmative plan, we cannot communicate efficient in English. Number 4. translation machine doesn't work, work at all. From all the reasonings. OK. Let's go to the next. They said the money, where is the money come from. Number 1. They didn't, they just doubt, doubt what is the problems caused by the spending the money. However, no impact was given. This is the number 2 argument. Onto number 3. The current spending does not make sense. Because it is, it will contribute, contribute to the future prosperity of the Japan. So we don't have to care about this. Number 4. The future prosperity is guaranteed by the affirmative plan, because we will improve the English ability of the Japanese people, and it's contribute to the Japan. OK. Let's go to the next argument that the

they said the politicians can speak English. However, number 1. Just few examples of, but not all. So we have to improve all the people or all politicians. So, they just pick up of the 1 example of the politician. That's not efficient. Number 2. all people can speak English. This is the key to the success. Number 3. our plan improve the overall English skills of the Japanese. So this will contribute to the growth of the economy of Japan and political commitment. Number 4. It also help the business, as I mentioned before, of the Japan. So just politicians can speak, it is not enough. So all the people, leaders from the economy, education, politicians, this is the key to success of Japan. OK. I have to prove the Japan is the exception from the count, all over the Asian Pacific ...According to the English speak, English speaking in Asia is the on rise. From the, from Honma, Mr. Honma, professor Aoyama University. Quote. English is already common language among Asian nations. Their English accent is, however, unique to each other. This, so-called Asian English had developed in Asia, except Japan. Unquote. According to evidence, Japan is the exception from the Asia, that English communication community. So we have to improve now. OK. Let's go to the our point 2. So I have to extend of my, my partner argument. As extension of the point 3 of our constructive speech. I'll present the following sub-points. Number 1. Japan will ...the poor country by the middle of the 21st century. A. Japan is facing serious economy. B. Foreign investment is the key to recovery. C. Economy is being international where English is standard. D. Without English, foreign investment will go to Asia, like Singapore. Asahi Newspaper January 8 2000. Quote. Mr. Lee Kwyanyuu, a supreme minister of Singapore said in the reply to the interview that Singapore has taken a lead in this globalization age. Quote. Ah, the effect of English is enormous. The English has become a leading line for cooperation of nationals. English has contributed on the growths of ASEAN. Unquote. Thus the English is the key factor to economic growth. Number 2. real people can have dreams in the future inviting more crimes. Nikkei Business June 5 2000. Quote. School teachers think that the real problems of dropping the general intellectual level at school is the lack of goals in school. Students don't have a clear goal as to why they study. This may be because Japan itself does not have a clear vision as to what country Japan should be. Thus, the vision of the nation is the key to success for information. The designating English as an official language is the decision criteria in this debate, so hence we call for the adoption of the affirmative plan for the national commitment.

2AC CX

N/ Thank you. You said ...language is important in international commerce.

A/ The language other than English, you mean?

N/ Yes.

A/ I didn't say. But the English is the dominant language, I said.

N/ I'm sure that you said other ...is important. You really qualified that. They are important?

A/ ...?

N/ Other language is ...importantat?

A/ Ah, less important than English.

N/ But still important.

A/ Ah, no. I don't think. I don't have comment on that. English is the most dominant and important.

N/ Huh.

N/ And about my first, my first point that you are an expert on computer translation programs?

A/ Yes. Excuse me?

N/ You are an expert on computer language translation program?

A/ I, um, sorry I don't catch your ...

N/ Are you an expert on computer language translation program?

A/ No.

N/ You speak that they are not efficient. You can't communicate with it and you don't want.

A/ Right.

N/ Pretty strong negative comment you have the ...

A/ Excuse me. My point is that translation program is limited to the writing from the computer, it is not efficient in the verbal communication. It means that human beings.

N/ Ah, so you are separating your argument between the internet and verbal communication.

A/ No, no, no.

N/ Can you have it both ways?

A/ My point is number 1. Translation program is not efficient even for the computer world. Number 2. It's not, it does not work well. No, it does not work at all in this environment where the actual world verbal communication exist. This is our point.

A/ OK. And we don't have to worry about ...money coming from. We just have to worry about glorious future in never never land...I'm sorry

A/ Ah,

N/ in their English, in English communication...

A/ It will come from the national budget in terms of, in terms of the education cost.

N/ Your first construction speech, you wanted to raise the confidence ...politicians, but in my first rebuttal, I mean first construction speech,

A/ So it's...

N/ You said I said so. You know, maybe court ...positions are...smaller, you agree with me, smaller but already confident in English.

A/ Aha, some people. But it's not efficient. So I said majority of the all leaders have to speak high level of English. So this is the key. So normal people have minimum practical English level. I mean the leaders have to have high level of English.

Chairperson/ Time.

A/ Thank you.

N/ Thank you.

2NC

I think Japan shouldn't designate English as its second language, because now we've already studied English when we are junior high school student for 3 years. For a long time. And most of the students study longer than that. But unfortunately our English skill is not so good. So if we, because the problem is that's education system. It's not about the language we use. So I think, if Japan should, Japan designate English as its second language, the students have, of course, the test for English is getting more harder and students will have lot more stress. Now in Japan, according to newspaper, classroom collapse is big problem. So students cannot study, teacher cannot teach. So now we have a big problem. If you, we designate English as second language, I think we will have a lots of stress, not only for the students, but also the teachers. So this is the reason 1. And reason 2 is like Singapore. Singapore has second official language, English. But Singapore English is a little bit different. According to newspaper, Singapore has a problem because when they take English as a second language, it's a bit changing, and it causes a problem. So I worry about if Japan designate English as second language, it's change, that we will make a new English in a bad way. And also we will lose our native language Japanese. And number 3. I think you know, now Japan's economic is very low. And the a government doesn't work. So, doesn't work very well. So we have a lots of problems. And economic is not good. In this time, if we designate English as a second official language, we have to change all official documents and road signs, many things. So it's cost a lot of money. So, first, we don't, we shouldn't use our government budget to just change papers, official documents, when Japan designate English as a second language. And also first we have to think about, before we designate about the language, I think we have to think about different another problems, like a school education system, and pension problem. We have a lots of problem first we have to solve. So that's why, I think, now this is not the exactly time Japan should designate, Japan should not, this is not the time Japan should designate English as its

second official language. In Japan we have, if we designate English as a second language we will have a society fighting. You know. We have a strong pride. We want to keep our own Japanese culture and Japanese language. English is a useful language, I mean it's a useful skill to maybe in the business ...But I think, you know, first we have to keep, we have to keep our Japanese, Japan's culture, and recently even that the Japanese, the language Japanese is changing, and some people are worried about younger people's language. So, I think, if I think about the society, Japan, many people don't like and disagree Japan should

2NC CX

N/ Sorry.

A/ OK. On your reason number 1. you said that the students have to, will get more stress. Right?

N/ Huh.

A/ So what is the impact of this argument? What will be caused by stress?

N/ Because we already studied English in the schooldays,

A/ Yeah,

N/ then, we, even a, even we studied, as you know, many students go to a cream school.

A/ Ah, I understand that the your point is that the English education cannot improve the Japanese people's English ability. Right?

N/ Right.

A/ OK. Do you assume our plan, that the we make the English as a official language, and we will make as a minimum requirement that 600 TOIEC scores for public service job offer. So do you assume our plan?

N/ No.

A/ OK. Thank you.

A/ OK. On your reason number 3. The economic, economy problem. The you claim that now the Japanese economy is low. Now is not time. So, but the do you know how much, do you claim that the how much, a spending will be caused by affirmative plan. Did you just say that the plan cost much money, or do you have the specific, exact number of the money we have to use.

N/ I cannot calculate how much money if Japan designate English as second official language. But I can easily imagine even I don't read economic books, soon, designating official language, second official language change a lot.

A/ Um

N/ That's why I think, you know,

A/ So, change a lot. It's just a overall argument. No specific exact number. What will be happen. OK. How about the public, public edu, public public purification from the government. So those books are selled to the people. Do you think that this will increase the national income?

N/ Umm

A/ So the government does, government will not ...money, but they will get income from the English publications.

N/ But who, but Japan, Japanese that means like me,

A/ Yes.

N/ I don't want to pay that the money ...for the book, for that kind of book.

A/ But the your partner will have, you want to have such kind of book. Don't you think so?

N/ Yeah, but you know, as you know, many foreigners live in Japan. But most, in Japan, most of the population is, we are Japanese.

A/ Ah,

N/ So if you

Chairperson/ Sorry.

A/ Thank you very much.

1NR

With the ...argument here, I can't ...very much with the, you know, I don't really think they answered our arguments about, you know, ...English is a pretty much de-facto standard in internet right now, but that's right now. You know, we can't, we can't look into future very far, what we can, if we do the ...look at the past and try to predict the future in the last 12 months. The internet has evolved so quickly and so fast that even the experts are amazed. And in the last 2 years computer power has more than when up ...1000%. Now, I'm, of course I'm according for memory, but in my, in my field expertise, I deal with companies, and I sat up internet business. So please allow me the benefit ...ness. I, my personal computer, you know, it's 5M bytes. You know, to, you know, I won't really talk about computer jargon right now. But you know, even 2 years ago that would been unbelievable power, and it's so fast. You know, the problems which translation program ... as my spe...negative, affirmative colleague's arguments is how slow it is. In, they, you know, I wanted to ask them, have you ever spoken to the computer? You know, even now you can, you can talk to your computer. And soon we, we will do more of our international communication from either our office or from our home in front of our computer. And technology and software is, has evolved such a ...that I see no reason to, to expend, and it will be a great expense, and if it's, you know, it's

government money, but it's our money. And, we, you know, do we have the political will and capital to go to that extreme. And I will never use Singapore as a good reason to change our, our society and culture and such a great way. We will go to go to great society of people, many people are ...against the idea of using English as a second language. Academics, normal people, I deal with everybody in my business. Thank you very much.

1AR

Thank you very much. ...I'd like to mention that the negative side admit that English is very useful. And also they said that internet is prevailing all over the world and speed is very ...They agree that the change, the speed of change is very fast. And internet is making, as I explained before, internet is making the world smaller and communication, world communication is much cheaper and more important. Therefore the negative side admitted the importance of English as the de-facto international language. And they said that the French people do not wish to speak English. But please consider the OECD meeting or UN meeting. They speak English. According to the Mr. Hirano, a NHK news caster said in 1999. EU also uses English as a standard common language. The European Union decided to use all the language used in 15 member countries and official language as a ...Theoretically English won of many official language, however, the, reali...reality is that only English is used. English is the official, or the de-facto official language in EU. For example, EU's Japanese ambassador is from Denmark. And the assistant ambassador is from England. The public relation official was until recent from Greek. They communicate in English, because other language does not work at well. And so today English is the de-facto standard. Even in Europe they speak English as a standard language. And as I explained before, in Asia they speak English as an official language. And to, and according to the Asahi newspaper ...25. Quote. To the vision of introducing English as a second official language, the president of Korea, Kim De Jun said there are a lot of, a lot the Korea must demand from practical English is increasing more important. Unquote. So many Asian countries, European countries, they think English is important and the basic communication tool.

Let me go to the other issues. First, they talked about the class issues that at school the students do not study very hard. As he, my colleague explained before, because we don't have dream in the future. If we can communicate effectively with the country, all over the world, we have a future, we have a bright future, and we study, students study very hard. So the students are, will be a very promising people in the future. So the commitment, national, nationwide commitment to make the, make English as a second official language is very

important to commit the bright future into Japan.

And about disadvantages. They said that the cost is enormous. But we say just translation and my colleague said the company, the Japanese government will sell the...And this will eventually boost the Japanese economy. They didn't explain the impact, theory's impact of the disadvantage. On the other hand, we ...that the our plan will work well, and 2000 hour of the effective English communication class will, are, work, is, work is working well. But they said 3 year junior high school, high school education is enough.

Chairperson/ Stop

N/ But I don't

Chairperson/ Please stop.

N/ think so. Thank you very much.

2NR

Listen. He says the many politicians are ...as not only as the native English speaker can speak English in that the OECD. But you know, when we think about that the politicians, what is the important, which is the important, they, the politicians can speak English better? But I think the most important thing for politicians is they, what kind of policy they have, and what's, politician can negotiate to other country. Even if politician can speak English well, fluently, if he doesn't have the power as a politicians, and he can't, as a native language speaker, it's, it's no meanings. So and I want to tell English is, before I told you, English is a useful tool, but it's not everything. Many, good politician in this world, even they don't speak English, they can communicate to other people. And also he said when we studied English for 3 years but we cannot improve our English because, he says, we didn't have a hope, but a dream, but as you know, now, nowadays, many younger students can go abroad. You know, it's easy for us to go abroad if I, we can think that the before. So, for instance, our parents' age, it's, it was too difficult to go abroad. But it's now, it's easier. So and also, and of course, many students go abroad. So that's means if, he says the students didn't have a dream on that students', a school time, but I think it's a different issue about a Japan should designate English as a second language. And also, that the he says that the government can get a money if we change that the we take English as a second language. We can take a money from the publishing the books and economy a boost. But all Japanese, all documents are must be 2 language, offici...official, 2 language, English and Japanese. It's, it's a

Chairperson/ It's time.

N/ Sorry.

2AR

Thank you, madam chairperson. On to their reasoning argument 1.2.3. On the number 1, they said the that the English education is not sufficient to improve the English of ability of the students. However, they didn't assume our plan, as I stated. And the because of the lack of the vision for a commitment of the nation, a people cannot get the English practical English skills. But our plan solves, as I said, we said in the constructive speeches. On to their second argument that the Singapore the English, but they didn't deny the effectiveness of the English communication. Cross apply my card in second affirmative constructive speech that Japan is the exception in the Asia to communicate in English. So please extend this argument. So we have to change now. Number 3. They said economic problem. That the, however, the they didn't show the impact of the disadvantage at all. So please cut their argument. So, and please take our argument the government will increase their income by spending the cost, spending cost make somewhere increase the income. So this will boost the economy. This is our additional dis, additional advantage. Please take it into your consideration. And the more, yes. OK. On their, on our contractive argument on our case side. The English dominant. So they totally grant it that the 80% is the English is the world information. And num...and number 2. They didn't prove which language will be dominant next to English. However, number 3. So, over all, English will be continue to be dominant even though it decrease to the 60%. Other language cannot be so dominant in the world. OK. Please take our English is the key factor argument. OK. Onto their political argument that the policy itself is the key, not the English. However, the problem now is the politicians cannot express their ideas through English, without English. So if they can't get the English ability and they have the policy, policy itself, they can't express themselves. Under the status quo, even though they have the policy, they cannot express. This is the problem. So, our plan solve the problem improving the English ability, expressing, leads to the expression of the policy itself. So it will make the Japan 's commitment freely we can enjoy the advantage. And onto the translation argument, they totally couldn't prove that efficiency of the comm...communicati...the translator, translation programs in the ...communication. So they totally dropped this argument. Please drop this. So over all, our, the, English is the key factor. So our plan adoption increase the practical English Chairperson/ It's time.

N/ level of Japanese. Call for the adoption of the affirmative's plan.

jdafall19990913a

JDA 秋期ディベート大会

1999/09/13

論題「日本は首相公選制度または国民投票制度の導入による国民の国政への直接的な参加のを可能にすべきである」

決勝

進行係：A部門の問題は、日本は首相公選制度または国民投票制度の導入による国民の国政への直接的な参加のを可能にすべきである、です。肯定側に立ちますのは、XXXX チーム、そして否定側に立ちますのは、えーXXXX チーム、です。XXXX チームのほうは一応、ディフェンディングチャンピオンがかかっているという二連覇を目指してがんばれということ（になっております。）

観客：すごい。（（拍手））

観客：すごい。（（拍手））

観客：そうか。

観客：すごい。（（拍手））

（（拍手））（（笑い声））（（拍手））

進行係：えー、ジャッジの方（を）紹介したいと思います。まず、えー、株式会社XXXX 研究所、えー、XXXX 先生。（（拍手））えー、XXXX 株式会社、XXXX 先生。（（拍手））えー、XXXX 大学ディベート講師XXXX 先生。（（拍手））

観客：／／（（笑い声））

進行係：そしてXXXX 協会会長でのXXXX（）。（（拍手））え、先ほどのB部門をご覧になった方は、すでに、えー、ご承知のことと思いますが、今回も、え、ジャッジのパネルは4人のみになっております。そして、最後の一票を、え、こちらのごらんの皆様に、いやXXXX さんじゃないです。

観客：（（笑い声））

進行係：あの（（笑））みなさんに、えー、投票して（お）いただくというシステムをえーとこの大会では導入いたしております。（えー）、この試合が終わって、10分ほど考える時間を取りました（す）後に、え、みなさんま方にですねえ、あのどっちが勝ったか、ま挙手によって、あの一、手を上げていただくと思うんですけども、

そしてその、多数のほうにまずは一票入れる、そして、ジャッジの四票くよんぴょう
>と足して計五票でどっちが勝ったかというのを競ってみたいとおもいます。((間))
え、今回の決勝、のメンバーは、えー、XXXX 高校 XXXX 大学関係者とはまったく
利害 (が) ないようですので

観客：((笑い声))

進行係：ま、あの一、公明正大なジャッジが期待できるんじゃないかな、(という)
ふうに思います。ですから、え、どうか、観客のみなさまも、どうか、え、ノートを取
りながらですね、あの、このディベートをジャッジとして、参加していただきます
ようお願い申し上げます。

進行係：それでは、え、よろしいでしょうか。

((間))

進行係：それでは、A部門の決勝戦のほうを始めたいとおもいます。肯定側の第一立
論六分間でお願いします。

肯定側：最初に挨拶していいですか？

進行係：あ、どうぞ。

肯定側：えー、みなさんこんにちは。

観客：こんにちはー。//

肯定側：//えー、XXXX の XXXX と申します。実は、え無所属とな
っておりますが、私は XXXX の会員であります。(今回)、えー、この舞台に立たせ
たいただくにあたって、えー、いつもながら XXXX のみんなの温かい応援、えー、
それから今晚は私の家内、の献身的な努力により、//

観客：//ふー ((拍手))

肯定側：幸運にもここまでたてることになりました。みなさん、えー、少なくともデ
ィベートのみならず、これをきっかけに日本の政治を考えていただけるような//

観客：//おー、すばらし
い ((拍手))

肯定側：まずは六分間、よろしく、おつきあいをいただきたいと思います。((間))

よろしいでしょうか？ ((間)) はい。

1AC

我々 (は) 肯定側は、このディベートにおいて我々が目指すゴールとして、我が国に

における参加民主主義の拡充、民主主義の(ていし)(に)を引用しながら説明します。ながい(さ)としお PHP 研究所主任研究員 民主主義のパラドックス、95年10月 引用「民主主義とは国民に、国の意志決定をする権利、(つ)つまり主権があるということだ。よりよい民主主義とは、おそらく国民の意志により効率でかつ直接的に国家の意思決定に反映させることであろう」引用終了。この背景となる基本的認識をさらに詳しく説明します。

基本認識。間接民主制には民意の反映という点で制度に固有の欠陥があります。少なくとも以下の4つの欠陥が指摘できます。その一、ひとり人間が何十万の意思を完璧に把握して代弁することは不可能。その二、代表や政治家の行ってしまった行為に対して有権者(は)事後的に否認することができない、できるのは事後の承認だけ。その三、有権者が投票後に自分の考えを変えた場合、次の選挙の時まで自己の意見を政治に反映できない。その四、逆に代表者が選挙後に意思を変えた場合、有権者がそのことに賛否を表明する機会は次の選挙までない。これら4点はいずれも間接民主制度に由来する固有の限界です。この限界を正すために直接民主主義制度を国政に拡充し、代議制の結果を補完することが必要です。この認識に立ち、民主主義の発展のため国民投票制度のひとつである国民拒否制度を以下のプランで提案します。

一、こっ国旗および国家に関する法律の施行を一時停止した上で、同法律第一条、国旗は日章旗とする。第二条、国家は「君が代」とするのそれぞれについて二ヶ月以内に国民投票を実施します。二、一の結果各条文について賛成が有効投票の過半数の場合はその条項を法律として拘束力を持たせませす。反対多数となった条項については新たに設置される審議会が代案について議論し、その結果を尊重して新しい立法措置をこうずることとします。三、その他、財政法、諸税法を除くその他の通常法律案の議決については、国会の議決の二ヶ月以内に全有権者の50分の1以上の署名による請願があった場合、請願の一ヶ月以内に国民投票を実施します。四、三の結果過半数で可決されれば法案は施行され、否決された場合は廃案となります。五、国民投票で否決された法律案および類似の法律案については、次回総選挙が実施されるまでは国会が再議決することを禁止します。六、その他必要な措置をこうずるものとします。このプランのメリットは公共選択への民意の反映です。

論点 A。今の政治過程では大多数の民意を裏切るような立法がまかり通っています。最近にして最大の事例は国旗・国歌法案です。政府与党は極めて限られた時間の中で

この法案審議を強行し、法案は8月9日に可決成立、さる8月13日に公布施行されました。ところがこの問題では実に多様な意見が国民の間に存在していました。証拠資料を引用します。太田りょういちろう（ひょうろうかちほうぎょうせい）平成11年8月5日号、引用。「いわゆる国旗国歌問題のことをこの数ヶ月できるだけ幅広く多くの人と話すよう心がけてきた、中略。日の丸も君が代も否定する人、日の丸はいいが君が代はだめという人もかなり多い。主に歌詞の問題である。日の丸も君が代ともそれ自体は良いが法制化は反対、じっくり取り扱うべきだという人もかなりいた」引用終了。しかし与党は民意との乖離を無視してきや採決を強行しました。同じ資料から引用します。引用「衆院本会議の採決は投票総数489のうち賛成403反対86で、賛成が8割を超える圧倒的なものだった。中略。個人的には今回の国旗国歌法案をめぐる政治の性急な展開には最大級の失望を感じる。政治と国民意識の実像との落差が大きすぎる気がする」引用終了。このほかに先の通常国会ではいわゆる盗聴法、国民総背番号性を導入する住民基本台帳法などが強行採決されるなど、民意をないがしろにする立法が強行されているのが現状です。

論点 B。代表者と民意の乖離を解決し国民に納得のいく政策決定を実現するには国民投票を導入が有効です、一点目。こっ国家こっ、国旗国歌法案については国民投票を望む声がありました。引用です。やまずみまさみ。もっ東京都立大学長 北海道新聞99年7月8日。引用「今後長く使われるものですからもっと十分な議論が必要です。国民が納得する国旗国歌をえらぶには1974年にオーストラリアが国民投票で国歌を選んだように、日本も（そうせいよびかけ）を国会でやったらどうでしょうか」引用終了。二点目。国旗国歌の法制化については国民投票を実施したほうが民意が反映できる上、国民の納得が得られるのでより効果的です、産経新聞99年3月23日引用。「日の丸・君が代の国旗国歌としての法制化をめぐって自民党内で22日までに国民投票を行う案が浮上した。中略。国民投票で日の丸・君が代を尊重する国民の意思を確認することによって、法律による義務化以上の効果が生まれることを期待している。」引用終了。三点目。間接民主主義との比較では問題の正解ではなく、す国民の選択が必要になる場合、代議制よりも国民投票のほうがすぐれています。たけだふみひこ（りーかん）クラブ代表 無党派市民の究極民主主義せ、宣言95年。引用。「現在の日本はあらゆる意味で未踏の時代あるいは指針なき時代に突入している。いいかげんな民主主義的方法では統治不可能な問題を抱え込むようになってきている。

正解を求める問題ではなく選択を決める問題に対しては、代表者にまかせるのではなく、主権者が直接参画して決めるしか他に方法がない。

論点 C。このメリットの重要を再確認します。それは間接民主主義の欠陥の助成、補完を通じたよりよい民主主義の実現です。第一に国民自らの手で国旗国歌を選択する機会が実現されます。第二にプランによって国民全体の意思を政策形成に反映される手段が国民にあたえられますので、国会が国民の意向を無視する立法に走った場合、それをチェックして真の民意が反映できるようになります。

時間が余っているのでメリットをもうひとつ出せるところまで出します。えー、民主政治、え、え、み、政治教育による民主せい政治の基盤整備です。論点 A。政治参加は民主主義にとって重要です。その理由は参加によって市民が教育されよき市民が育つからです。論点 B。国民投票制の導入で我が国の政治参加が拡大し日本の政治が改善されます。B はふ二点あります。一点目は肯定側のプランによって国政への直接参加という、これまでになかった政治参加の機会が国民に開かれ、え政治教育が進みます。二点目。政治教育の進展で代議制民主主義の政策（アウト）とも改善されます。えー、証明は。（（ピピピッ））わがパートナーに次でお願いしたいと思います。

1AC CX

否定側：えー、ありがとうございました。では質疑をさせていただきます。

肯定側：はい。

否定側：えーとまずちょっとあの一、原稿をお借りしてもよろしいですか。

肯定側：あ、そう、どうぞ。／／

否定側：／／すいません。あんまりよく聞き取れなかったものからです。

肯定側：はい、すいません。

否定側：まずプランについて確認したいんですけども、えー少なくとも、その国旗国歌法案についてそれを拒否するかどうかという、ことを国民投票にかけるという、ふうに理解してよろしいんでしょうか。

肯定側：えー、日章旗を国歌とするかについて、／／国民投票、

否定側：はい／／

肯定側：えー、君が代を国歌とするかについて国民投票を／／する（ ）です。

否定側： / / はい。

あの一、別々に国民投票を行うと。

肯定側： はい。

否定側： それ以外についてはいかがでしょうか。

肯定側： それ以外については、諸税 税法、それから財政法に関する以外の 法案、

否定側： はい
はい。

肯定側： つまり条約ですとか、 予算は除きます。そういう / / 法案に関する、

否定側 はい。 / / えーと、つまり

他のテーマに関しても国民投票が行われる可能性は残してらっしゃるんですよね？

肯定側： はい、その通りです。

否定側： は、わかりました。じゃそれがわかれば（いいんです。）えー、まず、えー、利益についてなんです。えー、ま民意の反映という風におっしゃってるんですけども、えー、ここで民意の反映の利益としてあげてらっしゃるのは、あの一、まあ国民による選択が重要であるということですが、 それはなぜ国民による選択が重要なのでしょうか。

肯定側： はい

えー、自己決定による、直接参加による、自己の決定による、政策決定、公共選択が可能になるからです。

否定側： え、自己の決定による政策、が行われることに関して、それは何が重要なんでしょうか。 / /

肯定側： / / えー、たけ

否定側： / / 何故それがいいと言っているのでしょうか。

肯定側： たけだふみひこさんのカードの中で証明いたした通り、 善悪、えー失礼。

否定側： はい。

肯定側： 正解を探るような問題というのは、確かに頭の良し悪しというものがかかわってくるのかもしれませんが、しかしながら、国旗国歌に関するような好みに関わるような純粋な選択に関わる部分は、 / /

否定側： / / えーと、好みに関する問題とおっしゃいましたけれども、

えーと、肯定側のプランを見るに、その一選択がうんぬんという問題だけでなく、正解があるような問題に関しても国民投票にかかってしまう可能性が、あるわけですよ？

肯定側：そこは認めます。

否定側：はい。

肯定側：ただし同様に例えば、4月29日のみどりの日を昭和の日と変えるうんぬん
／／

否定側：／
／えーそれについて、じゃあ選択することによって何か実際的な利益があるのか具体例があれば教えていただきたいんですが。

肯定側：具体的には自分今まで、少なくとも国旗国歌の例を考えていただきたいと思います。／／自分で決めたい、国民投票をやりたいという声があった。

否定側：／／まー、はい。

肯定側：やって自己決定

否定側：まー、やりたいことをやったというただそれだけのことで
よね。

肯定側：違います、国民主権にのっとった自己決定、自己責任／／（ ）

否定側：／／まあそういった、
とりあえず、まあ利益が得られるかどうかわからないものに関して、とりあえず選択をして満足感を得たと。

肯定側：フィロソフィカルなアドバンテージを（向けて）訳（を）わからないという
のはお言葉かとは思いますが／／

否定側：／／そう、ですかね？

聴衆：((笑い声))

否定側：まあ、時間みたいですので、以上で終わります。

ピピピピ

進行係：さあ、このディベーターのディベートを私は解説しなければいけません。

聴衆：((笑い声))

進行係：今回、え 国民投票というところで肯定側が（解釈）して、いわゆる日の丸
君が代法案ですね、それに対して本当に日章旗を国旗とす、するか、そしてま国歌と

いうふうに認めるかその(骨)の部分に関して、国民投票するというふうなプランが、出てました。ま、それ以外にもまた何かあったらま する可能性もあるというふうにま質疑でゆ、おっしゃってましたけれども、要するに、えー国民の望まない法案ていうのがいろいろ入っているというふうに言っていました。すなわち、ま国旗国歌もそうですし、それから、いわゆる盗聴法案、そしていわゆる国民総背番号制につながりかねない()なほう、に関して、反対があるにもかかわらず強行的に採決、採決されている。そしてもしも、日本が、民主、国家であり国民主権というものをやるんだっただらば、それは、一番最初に言っていたように、意思決定というものがしつかりとできるようなシステムでなければいけない、そしてプランを導入することによって、そういう意思決定を、ま、せ選択(をです)、自分で選ぶ機会が生まれたりとか手段が生まれる、そしてなんか悪いものにあ、が出てきたらそれをチェックする、そういうことができるという風に、言っていました。これに関して否定側は、次できつとこのプランからのデメリット、及びまたはいろんなことを、してくるんじゃないかという風に、大いに期待しましょう。

INC

えっとではスピーチを始める前に、と、わたしくした、ちから(も)2,3述べたいと思います。わたしくしたちのチームはXXXXチームと申しまして、こちらXXXXさん、わたしはXXXXと申します。でこの由来なんですけれども、えっと去年ですねXXXXさんと一緒にこの同じ大会に出たときに奥さんのXXXXさんがお弁当をつくってきていただきまして、それが非常においしかったんで、出ませんかって言われた時にお弁当があるなら出ますと、((笑))というふうに答えました。それまあ3人、昨日もあのXXXXさんちで準備してたんですけど、奥さんの協力があってこそそのチームということで、こういう名前にした次第です。

聴衆：((笑い声))

否定側：あ、だからありがとうございます()。あの一、今後ともよろしくおねがいしまーす。

聴衆：((拍手))

否定側：では始めたいと思いますので紙と鉛筆を準備してください。((ピッ))行きます。

否定側：と、初めに不利益を私達は提示したいと思います。過剰民主主義、がおこり

ます。1番、現在投票率は50%以下です。皆さんもご存知だと思います。2番、これは現在政治にとっても関心のある特定の有権者層のみ、が政治参加しているということを示しています。この状態は政治システムの安定、を乱してきました。筑波大学の(かばしま)教授は(メレルソン)の投票論を引用し以下のように論じています。「政治参加は政治システムの一部であり、システムの安定にとって激しい政治参加は機能障害をもたらすのである。その観点から見ると、受動的な市民、や政治的無関心はむしろシステムの作動の緩衝材の役割を果たすと考えられている、中略。制度的には一定期間政治エリートに権力をいじょうするような選挙制度が、政府と国民の勢力を、のバランスをある程度保証する。3番。プラン、こちらのプランでは、国民投票制度をま国家国旗法とおっしゃってましたけど、全体、ほかの(いしょ)についても導入するということです。ということは今まで政治に興味を持っていなかった様々な層の、層の国民が政治に参加するようになります。えー、筑波大学の(かばしま)教授はまた以下のように述べています。あ、失礼しました。4番次4番(にうつり)ます。過剰な民衆の政治参加は不安定な政治状態を引き起こします。(かばしま)(かばしま)教授によりますと、「政治参加の拡大は政治意識と行動面に活発な市民層を輩出し、政府<せええふ>の政治が彼らの要求を満たさない場合の政治指導者や諸制度への不信感が形成され政府の権威低下に結びついていった。この良い例が千九百九十あ、1960年代のアメリカです。ベトナム戦争など特定の政治課題に政府が振りまわされ、過剰民主主義が政治システムの大きな負担となりました。((間 約1秒))

次に、えー、カウンタープランについて、えー別の意思を提示したいと思います。我々は拘束の力<りょく>のある、えー、住民制度、住民投票をカウンタープランとして提示します。サブポイントA。日本国内の各地方自治体は住民投票制度を導入します。住民投票は住民の1%または地方議会の3分の1以上の賛同が得られた場合に実施されます。B、国民投票制度、の、え導入は禁止します。C、予算その他のプロセスは通常の手続きに従うものとします。

えー論点1。非命題制。カウンタープランは国民投票ではありません。えー論点2、競合性。えーとー、Aサブポイント、カウンタープランは国民投票を禁止しているので同時にプランと選択することは物理的に不可能です。えーBサブポイント、カウンタープランはプランと同じ利益を得られる上、公示する不利益を被りません。えー。((間 約1秒)) えー、論点3。(ゆうめいせい)について申し上げます。サブポイ

ント A、カウンタープランはより大きなえー利益をうることができます。肯定側が解決している証拠資料は、ま地方自治体における住民投票層を提示していますのでカウンタープランのほうはよりよくあてはまります。また地方自治体はい民主主義の学校といわれるようにまずは地方レベルで緊密なディスカッションの機会を作り徐々に政治の参加の土台を作っていくことが重要だと考えます。サブポイント B としてカウンタープランは憲法に（ていしょく）せずに実施できます。一方プランを見ますと、えー憲法の条文の、「日本国民は正当に選挙されたこく国会における代表者を通じて行動し」、という記述があったり、他の条文が根拠となり国民投票で法案を決定するのは違憲となります。そのため憲法の改正のための余計な時間お金がかかる、ということになります。

では相手側の意見にうつってみましょう。（にえ）プランを確認したいんですけども、国家国旗法にかなり包括してお話していましたが、えーとクロス QA の、あの一時間にもおっしゃっていましたが通りに、他のイシューについても同様にこっ国民投票制度が当てはまる。ということです。ここにご注意ください。で、えー国家国旗法についてま一国民投票をやりたかった人が多いというようなディフェンスをえーあげていらっしゃいましたが、これについて少々反論したいと思います。1 番目として、私は国家国旗法、を反対するようなデモは聞いておりませんし、見たこともありません。ということで反対している人はほんの一部であるということが考えられます。私<わたくし>自身はどっちでもいいんですけども。／／

聴衆：　　／／（（笑い声））

否定側：（（笑））それで、これはフィロソフィカルなことについてのバリュー、です。で、フィロソフィカルなことについて自分で決めたいという人もいれば政府によって決められたものをそのまま受け入れたいという人もいると思います。ですから自己決定権だけが唯一のその基準に（なりうる）とは、えー考えられない、と思います。で、最後の、解決性についてえー、説明したいと思います。（（間　約1秒））と、我々が言いたいのは、えっとですね、解決性のところで、ま1番目の論点として、ま現在日本であまり情報公開が行われていません。で一応制度上情報公開制度がありますけれども、手続きが煩雑複雑でありなかなかトライすることは難しい一般の人には難しい。そして、えっと一国民投票でたぶん問題となるような国政レベルのイシューに関してはまあ外交の問題等々もありまして国として情報公開できないというような部分た

くさんあります。このような状態で、国民投票が行われたとしてもいったいなにが問題なのかなにが真実なのかということについてきちっと判断ができません。2番。またプランで対象と、まーなる、だろーという思われる国政レベルのたとえば問題としますとコソボ問題など自分の生活と密着していないので、なかなか実感が湧かずに安易に投票してしまうということが考えられます。3番。一方住民投票、を考えてみますと、住民投票が行われる巻町や沖縄のケースを見てみますと、住民との意見交換会が頻繁に行われて賛成派も反対派も意見を交わすという双方向のコミュニケーションが行われた上、でお互いに十分に情報交換をした上で投票に臨むと、現状は非常にいい状態になっております。4番として、えーですので国民投票では情報は限られている、それからマスコミ主導の偏ったセンセーショナルな情報が一方的に市民に向けられるということが、えー安易に予想されます。ですので我々は上手く判断ができないということが考えられます。で、1、2、3、4、5、5番目として国民投票を何度もやると、国民の関心が（せそんぜんい）がなくなります。国民投票の歴史の中でスイスでは国民投票の投票率は30%まで落ち込んでいます。また、スイスでは国民投票になんでもなんでもかけちゃうので、えー情報、じょう行政／／が停滞し、政治改革が進んでいません。

INC CX

肯定側：いいですか。

否定側：はい。

肯定側：どうもこんにちは。

否定側：こんにちは。

肯定側：えーカウンタープランからお話しましょう。

否定側：はい。

肯定側：えー住民投票を全3300の市町村でやって

否定側：はい。

肯定側：えー、国旗国家に関してはどういう決め方をなさるんですか。

否定側：決め方一ですか。／／それを一まあ、詳しくは考えていませんけれども一

肯定側：はい。

考えてください。

否定側：は、じゃあじゃあどうしましょうか XXXX さん。

肯定側：非常に重要な問題だからです。

否定側：どうぞ。

肯定側：非常に重要な問題だからです。

否定側：(そうけい) しますか。あ、第二立論までに考えますっていつてんですけれども、だめですかね、それじゃ。

肯定側：いや、あの明確にお答えをお願いします。

否定側：／／あ、はい。

肯定側：／／3300の、その結果を多数決で決めればいいとお思いになるかもしれませんが、2段階で決めますとこれは合成の誤謬が発生します。よろしいですか？多数で買ったところも一票、少数で勝ったところも一票として評価されますから、住民投票を全部足して国レベルの結果にすると、少数決になりますよ？これカウンタープランになってますか？我々のアドバンテージを(あて)にしていますか？

否定側：反駁は、あのお時間にしてください。

肯定側：わかりました。納得の行くご説明を第二立論でお願いします。

否定側：はい。

肯定側：／／それは、

否定側：／／待っててください。

肯定側：はい、わかりました。これ、それから。ちょっと私は、なれないもんであがってます。すいません。えーと、あとカウンタープランに関しては、

否定側：はい。

肯定側：あの、住民、に関する部分というのは非常によくわかるんですけど、例えば昭和の日とか、4月29日<にじゅうくんち>、みどりの日を昭和の日に変えるってなのやつが、やっぱりあるわけで、これ住民間((笑))の議論によって、あの一というメリットが、得られるんでしょうか。

否定側：あの一わたしが、ま今思いついたのは、／／例えばその昭和の日に変えるとか、

肯定側：／／はい

否定側：そういうのはま各個人の価値観によっていろいろま、変わると言うんですけども、ま土地柄によって、ま戦争の惨禍を受けた地域受けない地域で住民の考え方も変わるでしょうし、

肯定側：はい

否定側：ま、えっと一国民投票だとどうしてもマスコミ対、私達っていうふうになっちゃいますけど、

肯定側：はい

否定側：住民投票ですと近所の人とみんなで話したりとか、コミュニティでそういうことを話したりする／／ので、

肯定側：／／いえ、国家的な話題をご近所で話すものは。あの、地域のことなら分かります／／

否定側：／／あ、すいません／／

肯定側：／／例えば巻町のこと私は全然知りません。
ですから／／その話は巻町の人に説明していただいてもいいと思うんですが、

否定側：／／あ、あ、じゃあ説明します。そし、((笑))

肯定側：国家的な話題が、住民レベルに入ると国レベルの話によりよく、話にできるという議論が／／よくわかんないんですが。

否定側：／／あすいません。住民投票制度にしますと、その町で例えば投票日がそれぞれ決められると思います、ま一緒かどうかわかんないんですけど。でそれに合わせてじゃあ集会を開きましょう、て近所の人がああ集まります。

肯定側：はい、はい。

否定側：て、みんなで話し合うようになります。で制度的なもんだと思うんですけど
／／

肯定側：／／あ、わかりました。すいません、時間がたないんで、ひとつだけ、不利益について聞きたいんですけど、

否定側：はい。

肯定側：過剰な民主主義、あ、みんな参加ということなんですが、

否定側：はい。

肯定側：これは参加が、増えるとして理解してよろしいんでしょうね？

否定側：はい、そうです。

肯定側：わかりました、ありがとうございます。えーと、以上です。

否定側：ありがとうございました。

進行係：さ。住民投、国民投票のプランに対して出た。デメリットは、いわゆる現在政治に無関心な人、あんまり興味のない人も参加することによって、むしろ政治が不安定になっていってしまうというそういうデメリットですね。これがでてきたということになります。そして、B部門の試合でも出ましたけどカウンタープランとって、否定側のほうがこっちのほうのプランのほうがよりよい、メリットがあるこっちのほうがいいですよ、という対抗プランを出しました。それが今度は拘束力のある、住民投票を行おうということですね。ま住民投票のほうがまあ身近に、せまっている話を、良く考えるという関心も高まるということもありますし、地方自治というま民主主義の学校だということ、それを実際に開こうとそれだけでメリットというふうな形のポジションをとっています。

2AC

進行係：それでは肯定側の第二立論、()

肯定側：よろしいでしょうか。

進行係：はいどうぞ。

肯定側：えーこのようなあの一、席慣れないんですけど、まずあの一JDAの皆様ですね、えーま大会を、このようこのような素晴らしい大会を開いていただき本当にありがとうございます。で、あの一あとは私<わたくし>のパートナーのXXXXさんですね、今回おんぶにだっこにせなにあしに()になっちゃて、ものすごいあの一頼りましたけどおかげでこのようなステージに立つことができました、非常に私<わたくし>も幸せです。では始めさせていただきます。

肯定側：はい、では肯定側のえー第二側、あ第二肯定側の議論としましてメリットの2<ツー>を証明させていただきたいと思います。まずえー論点1、政治参加は()。えー政治参加のえー拡充を提示するということですね。えー、ここで、あの(かばしま)教授、の、えーえー(やつ)を引用したいと思います。えー(かばしま)いくお、えー筑波大学教授、せい、えー政治学政治参加、えー1998年、を引用します。「政府のコントロールのほかに政治参加は市民教育の場としても重要である。市民は政治参加を通してよりよい民主的市民<ちみん>に成長するといわれている。略。いわば政治参加の過程で市民は他人の立場に大きな配慮を払う思慮深い市民に育っていくのある、である。」引用、終了。つまり新しい国民参加の、あ国政参加の機会(が)開かれることでよりよい、民主主義の基盤である思慮深い市民が育つ

チャンスが拡大、します。

えー、論点 B は、国民投票制導入では、() 政治参加が拡大し日本の政治は改善されます。えー二つ目のポイント。えー政治、えー政治教育の進展で代理性民主主義の政策が() と改善される、これを証明したいと思います。えーたなかぜんいちろう氏東京大学、あーとごめんなさい、東京工業大学教授、選挙研究1990年、えー引用、1999年引用します。「市民は日常生活に影響を与える諸制度において力を行使する機会が与えられるならば、それによって、えー。自我が、自己変身、自己成長を遂げ、公共精神に、を、より多く持ち、えー寛容になり知識を持ち、他者の利益に対しても注意深くなり、自己の利益に関してもより深く考えるようになる。市民のこのへんしえー変身によって代理政治のアウトプットも向上すると考えられる。()」引用終了。ということでアウトプットということは、そこから出てくる政策もおのずからよくなるということですね。えー相乗効果が生まれるということですよ。これが、えーメリットです。

えーそれでは、(ディスイジョンルール) ですね、えーこれを述べたいと思いますが、自分たち、自分たちで決めるということ、これが非常に大事であるということですね。えー、いまいはじめ氏、96年、えー、引用いたします。えっと「大事なことは国民で、国民投票で決めよ」え引用します。「住専問題に見られるように、政治家達が自分たちがいいかげんな政策を立て失敗も犯してもまったく責任をとらずに国民にそのつけをまわすだけ。それならばたとえ違った判断を下す可能性があっても、国民が自分で決めて自分で責任をとったほうがいいに決まってる」引用終了いたします。えー、ということでですね、まず自分たち、で決めて、自分たちで、あの一、えーの意思を国政に反映させる、このことが大きなメリットであるわけです。はい。えー次に、えー国民は、あの投票に、えー投票にしゅ参加いたします。えー朝日新聞96年7月20日、引用します。「国の重要なせいさき、えー政策を決めるときには国民投票のような形で国民に直接意見を聞いたほうがよい、が82%だった」引用終了します。ということで国民投票を実施すれば大勢の人間が、えー国民投票参加するということですよ。はい。

え、では、否定側のデメリットについて、みたいと、おもいます。はい、え、まずですね。えっと、肯定、否定側の議論は、過剰な民主主義といっておりますが、これはまず一つ目、えー参加、者<しゃ>が増えるということですね。民主政治に参加する

ということがことが増えるということ、ということはどういうことかということ、メリットの二つ目、教育効果がさらに増す、ということですね。これは逆に、えー否定、肯定側のメリットを強化しております。で、その二つ目デメリットのインパクト、これは提示されておられませんし、えー証明されておられません。あえーそれから、えーエビデンスですが、二つ目のポイントについてはですね、え、これはえー過剰、一部の機能の（ ）と書いてありますがこれは選挙制度のことを言っているのであり、えーちょ、国民投票のことをいっているわけではありません。えーそれから次に明確にしていだきたいのは何パーセント以上がいったい過剰なのか、ここまではあくあーあくまでも否定側の主観でありまして、えーこれが不明確であります。

えーそれからえーカウンタープランについていきたいと思いますが、非常にだい重要です。カウンタープランは、これは非常におかしな制度です。こちらをごらんください。それぞれの地方で、このに投票した結果、例えば、この地区この地区で採用されたというふうになった場合、この投票数から見た場合にはこれは逆に、少数が勝ってしまう。という、これは少数。えー少数決、ということになります。これは民主性に反しています。ですからこれはかえってデメリットを大きくもってることになります。それからえーもうひとつはですね、えー、もし、こちらのじゃあ12の方を取る、こちらの数で取るとすればこれはカウンタープランではなく国民投票であります。どちらをとってもこのカウンタープランは成り立ちません。

はい、えーそれからえー、ですね、はい。（(間 約5秒)）はい、プランに対して、えー（反論がありましたので）これは反論いたしますが、まず最初に、えーま国旗国家の話ですが、えーデモがない、だからほんの一部、一部、で、でしか、の関心事でない、これはまったくちょっと乱暴な議論である、デモがないからといって多数が関心ないという証明にはなりません。（その）我々のエビデンスでは、あの一おーあの一大勢の人がこれ関心関心があると、国民投票にいれ、れと投票すべきだというふうに証明しております。それから、えー自分で選びたいという人、と、それから、あの一まあ政府に頼みたいという人、いいじゃないですか。国民投票をどう導入するということは両方可能だということですね、現在では、自分で、直接投票して、自分の意見を直接表明する機会がないんです、ということが、ということはこれは肯定側のプランによるアドバンテージ、メリットですね？えーそれからえー、情報公開えーと、えー情報公開ができないと書いていますがこれは誤りです。えー読売新聞91年9月

1日、引用します。「政府は31日特殊法人の情報公開について、JRやJTなどの株式会社を除いて原則的に公開とするという方針を固めた。行政機関を対象とする情報公開は5月に成立しており、中略、これにより、えーちゅう、おう、えーとちゅうゆうしょう庁から特殊法人への天下り人事や退職金の問題などで一層透明化が（（ピピピピ））はかれることになりそうだ。」

進行係：終わりでーす。

肯定側：引用終了します。

2AC CX

否定側：では質問を開始したいとおもいます。よろしいですか。

肯定側：はい、おねがいします。

否定側：えっとー、メリットの2、についてなんですけれども

肯定側：はい

否定側：えー政治参加が、可能になると。いうことがメリットとおっしゃいましたが、具体的にちょっとわからないんで説明していただきたいんですが。

肯定側：はい。

否定側：政治参加するだけでなんでいいんでしょうか。今でもデモしたりとか、住民投票に行ったりとか、（ ）活動したりとかできると思うんですが、なぜ国民投票制度が、ユニークに、いいんでしょうか。

肯定側：えー。ま住民投票で出来るのは地方政地政に、自分たちの声を述べるということで国政にはそれは反映されていないということ、それから国政に関しては現在のシステムでは、選挙ということで、間接的にしか、あのその参加できていないということですね？したがって国民投票というのは直接自分たちの意見をま政策に対してあてられるということがユニークなわけでございます。でもう1点は教育効果ですね。これによる、えーこれによる／／教育効果、

否定側：／／あ、はいはい、わかりました。そしたら、それによるメリット1と、ちょっと私はあの一混乱、少ししているんですけれども、メリット1、については、えー、よりよい民主主義というふうにま簡単に言うとそういうことなんででしょうか。

肯定側：はい、そうです／／

否定側：／／で、最後にまディスイジョンルールというふうにおっしゃいましたが、これはメリット1と2と、どちらにあてはまるというつもりで

出してるんですか？

肯定側：えー。

否定側：と、まー民主／／主義がなぜいいか／／ということについてあまり

肯定側： ／／あ ／／あ、はい。

 えーまず1ですね。／／

否定側：／／はい。

肯定側：少なくとも1は、参加するということ、そして、それによって自分で政策を決定するということ。

否定側：え？2、2ですよ？

肯定側：えーメリット1

否定側：1は民主主義ですよ？

肯定側：民主主義、はい。

否定側：でー2番がま単に参加するっていうことですよー。

肯定側：参加しるすることによって得れる教育効果と、それからそこからてくる政策のあのーアウトプットという（ ）しましたけれども、そこから生まれる政策がいいものであるという、これが／／

否定側：／／なぜいいというふうに結論できるんですか、何を基準にいいって言うんですでしょうか。

肯定側：（（間 約2秒））えーと、そうですね。（（間 約2秒））あ、はいえーとエビデンスで述べてますように、あのープロセスがですね、他者の利益に関しても注意深い、ああのー自己の利益に対しても深く考えるようになると、というふうに両方のことを考えた結果政策を選ぶという、えーその、そこから出てきた政策はいいものであるという、まそういうことをございます。ま抽象的（ですけれども）。

否定側：具体例はありますか。

肯定側：そう、ですね。えー（（間 約2秒））たとえば、ま将来のことですので、どいう政策に関して投票するとか決定するとか、まちょっと今は浮かばないんですけども、それはま投票に（（ピピピピ））なった場合に

否定側：ありがとうございました。

進行係：さ、主に、デメリットそれからカウンタープランに関しての、えー反論が行われましたけれども、特に、あれですね、デメリットのほうでは、いわゆる参加をす

る、っていうことで、それにより、ま、国民がその一、まより民主的な市民として育つというそういうメリットを、2番目にあげていましたけども、それがやっぱ大きな争点になると思うわけですね。結局、否定側が言ったのが、なんにも無関心な人が参加するのが悪い、肯定側が言ったのは、いや無関心になるんじゃないくて、参加すれば、いろいろ（関心）を持ってきたりとかして、よい、結論をくだせるようになる、だからこのデメリットは起きません、むしろ、メリットなんです、というふうな感じで返しています。

逆にカウンタープランのほうは、前のほうにこう上手な表が書いてあるんですけども、国政レベルの問題を話し合うときに、国民投票がいいのか、それとも住民投票で出た結果を総体として見るのがいいのか、っていう選択だと思うんですけども、ま、そる、後者を主張しているカウンタープラン、そしてそういうものをやると結局少数決の問題が出てしまう、前のほうに出てますね。住民投票レベルでは参加者でやって2対1で、まあ緑色のほうが（ほんとに）勝ってるんですけども、いわゆる表の総数からいったら、負けてるほうが実は、多くなっていってしまう。そういう問題が起きてしまうので、ま全体多くのをきめるんだったら直接、やったほうがいいだろうと国民投票で、国政レベルだったらやったほうがいいだろうと、いうのが肯定側のポジションであります。

（（間 約14秒））ですから今後は国民ははたして育つのか否か、ですね。それから国政レベルを、のこを決めるのに住民投票はいいのか悪いのか、この辺がまあ二つの大きな争点になってくると思われます。

2NC

えーまず初めに、えーこの大会に出ることを許してくださったXXXXの（ ）
今回のマネージメントで えー、多大なるあの貢献をしてくださったXXXX君には、
あの一非常に感謝したいと思います。

観客：（（拍手））

否定側：で、えー私はですね、実を言いますと、あの一私<わたくし>もXXXXのXXXXでして、えー、実は、このあとの大会のほかにXXXXというのがあるんですけどもそちらの方のXXXXを、えー、担当しております。なんで、あの一今回あのこの大会すごくたくさんお客さんがいらしてて非常にうらやましいんですが、あの一XXXXの方も（よろしくおねがいます）／／

観客：／／ ((笑い声))

否定側：で えー、あとあの今回この大会 () ここで感謝したいと思います。

観客：((拍手))

否定側：えー最後にですね、あのー今回のパートナーとして組んでいただける XXXX さんなんですが、えー、XXXX さんの XXXX さんがここにいらしてるんですけども、えー、なんか今日 XXXX だそうで、

観客：((笑い声)) ((拍手))

否定側：えーXXXX さんお借りしてます。

観客：((笑い声))

否定側：じゃあ、よろしいでしょうか。((間 約1秒)) えーまずカウンタープランから入りたいと思います。えー今回のカウンタープラン、に対して、えーと非常にいろいろな誤解がえーあって、混乱させてしまっても申し訳ないんですけども、ここで、えーカウンタープランの内容を、今一度今一度というか、新たに、説明しなおしたいと思います。まず一番目として、えー現状で採択されている国家国旗法案いわゆる日の丸君が代法案は、えーとりあえず廃案にいたします、これは国家レベルのえー決定です。次に、地方レベルで、えー、日の丸を、日の丸を、えー学校行事であるとか地方自治体の行事であるとか、そういった公式行事で掲揚するか、また君が代をそういう公式行事で斉唱するか、そういうことに対して各自治体で、えー住民投票を行って各自治体ごとにそれを決めるということを提案致します。で、最後に、もし、えー必要であれば、えー、県の旗。県の歌。そういったものを制定する、こともえー提案いたします。さてこのカウンタープランのメリットについてなんですけれども、えー1番目に彼らは、えー肯定側の利益で、全く選択の問題であって、これがあの正解があるとかないとかそういう問題ではないというふうにおっしゃいました。ということは、えー各自治体で、いかなる結論を出そうとも正解はないわけですから、その各自治体が、より自分たちに適した、えー国家、こっ国家というか日の丸君が代の使い方というものを自分たちで選択するべきだと考えています。たとえば沖縄県。のようなそういった日の丸君が代に対して特別な意識を持っているようなところであれば、独自にその沖縄県の歌であるとか沖縄県の旗であるとかそういったものを制定すればいいわけです。((間 約2秒)) ですので、好みの問題というのもクリアします。そしてさらに、えー実生活での関わり、というのもあります。このこっ、あのー国家

国旗法案というものが実際のえー自分たちの生活に関わってくるのはこういった公式行事で、えーそういった日の丸君が代を、えー掲揚し斉唱するかどうか、ということなわけで、実質問題としてこのカウンタープランと、えー肯定側のプランというのはなんらかわりがありません。民主的に（ ）より地方レベルで細かいその決定ができる分だけカウンタープランの方が優れていると言えます。（(間 約1秒)）さて、（ ）についてですが、えーこれはあの一、最初の立論の議論をそのまま適用して頂いて結構です、カウンタープランは国民投票ではなく地方自治体により実施されるものです。で、これらの非命題性の証明責任は当然肯定側にありますので、えーカウンタープランは、とりあえず肯定側が証明するまでは、非命題的であると推定すべきだと思います、次の（きょうほせい）についてですけれども、カウンタープランはえー国民投票を、えー、第一立論で投票を禁止しますので同時に採択することができませんさらに、2番目として、カウンタープランは、えープランと全く同じ利益を得られる上、えー、ま。第一立論でも出ました、えー憲法改正の必要がないといった不利益を被ることがありません。では優位性の方に、行ってください。まず、えー地方レベルでの、住民投票がいかに優れているか、ということに関してですけれども、えー地方レベルの住民投票は、より、よい民主主義を達成することができます、なぜなら国政レベルでは民主主義は達成されがたく地方レベルからの教育を進めることによってよりよい民主主義が達成できるからです。証拠資料は、えー琉球大学講師のとくだ氏が97年にえー「沖縄の県民投票が記したもの」という本の中で、あ雑誌の中でゆっ言<ゆ>っていることですが「人権や民主主義が地方自治において実現されやすい大きな理由は、当該自治体の行政の責任者や議会の議員が住民の選挙によって選ばれているという点にあるそこから地方自治体の長や議員の第一義的責任は、地域住民に対する責任であり住民の意思に沿って自治体の政治行政が運用されなければならないという論理が導かれることになる、」国政レベルよりも、え地方レベルの方が、より住民、あー住民の意思が反映されやすいということです。さらに狭いエリアの中で住民達がディスカッションすることによってよりよい議論が生まれ、よりよい決定が下されるというのが、えー、否定側の主張する利益です。これが、これは、あの一肯定側の第二の利益によりよく当てはまるものでありますから、肯定側の第二の利益もこのカウンタープランによって得ることができます、次に、えー国民投票、えーを、制度化するためには憲法改正が必要になります。えーこれは、えーAERA

<アエラ>の96年2月5日号で述べられていることですが、国民投票制度の議論が日本でこれまで（行われなかった）のは憲法で定めた国会の役割と一どう整合性をつけるかという問題が未解決だったからで、もある、憲法は国会を唯一の立法機関と位置付けている従って投票結果が法的勢力を持つような国民投票を導入するためには憲法改正が必要だ、と述べています。したがってプランを導入するためには憲法の改正が必要になりますので、その憲法、を改正するための、えーコストですとか、憲法を改正するための時間というものが問題になりまします。このぶん、えーこ、ひ否定側のカウンタープランの方が優れているといえます。（(間 約2秒)）次に、えー地方レベルのえー住民投票は憲法に（ていしょく）しないということは、地方自治のえー原理からもえー明らかです。（(間 約4秒)）

さてそれでは、えーケースの方に、いってください。えー第一のメリットについてはカウンタープランで、えー確実に得ることができます。第二のメリットについてもカウンタープランによって確実に得ることができます、これは、住民の政治参加が、えーよりよく行われるからです。で、彼らは政策的アウトプットの改善ということをおっしゃっていましたがこれもカウンタープランで得ることができます。なぜかというところで想定されている状況はえー（にんど）の問題ですから、住民がより教育されより民主的な住民が現れることによって、えー。まあこうった代議政治のアウトプットが改善される、それが利益なわけです。したがってよりよく住民を教育する否定側のカウンタープランの方が優れているといえます。次に、全国規模の投票を行いますと国民は無責任になりがちです。これは、えーラメス教授が言っていることですがけれども、民主主義や選挙と言ってもアメリカ合衆国あるいは日本といった大きな国が全国規模で決めるときは判断が抽象的になると思います。人が無責任になるといってもいいほとんどの人が沖縄の巻町を見たことがないという話があります。したがって国政レベルで、えー国民投票を行うよりも、えー地方レベルで住民投票を行ったほうが、より住民の教育にもなりますし、よりよい民主主義が（(ピピピピ)）得られます。従ってよりよい政策が行われることになります。

2NC CX

肯定側：あの一まずひとつ確認しておきたいんですけど、

否定側：はい、はい

肯定側：あの一この（特徴であります）、えー、住民投票で、実際、ま仮に、例えば

消費税をどうするか、そういったことについて投票（ ）ない（ ）

否定側：消費税に関しては、あの一肯定側のプランにおいても税に関するものは国民投票にかけないというふうに、はっきりと明言、されてますよね？

肯定側：あ、はいわかりました。えー、いや、あの一変えましょうえー、他の国政ですね。他の国政に関しては、えーたとえば地方であの一投票するといったことはしないわけですか。

否定側：あの一具体例がないとちょっとはつきりは言えないんですが。はっきりはわかりませんが。えーとほとんどの問題に関しては地方レベルで対処できるというふうに考えています。あの一もし全国レベルで、そんなに重要な問題が、えーまあ国民投票にかけられないということによって困るということであればそういう例を示していただくと、また反応できると／／思います。

肯定側：／／例えばあの、日米安保どうするかということ一つの例ですけれども、あの一それを、えー。かけるのか。そういったことは、（ ）だとされるわけですか、つまりあの住民投票でかける可能性はあるわけですか。

否定側：えー、まあ、あると思います。あの一例でいえば沖縄県で行われたえー県民投票なんてのはまさにそういったえー例だと思います。

肯定側：あれは、あの／／

否定側：／／端的にいうと、あれはあの一安保問題に関して、その一全国に対して問いかけを行ったというのがそのあの住民投票の名目一／／ですから。

肯定側：／／あの、いいか、ようはそうかもしれませんが内容自体は、あの土地をあの米軍に貸すか貸さないかそういう投票だったのではないのでしょうか。

否定側：えーと投票の内容自体が問題なわけではなくて、それによって全国レベルで、そういった日米安保をどうするかということについて議論が巻き起こったというのがあの、住民投票のけっ結果というか、あの一利益だったわけですよね？

肯定側：それはあの一

否定側：ですから、住民投票でも十分そういった議論が巻き起こるですとか、よりよい政治的アウトプットが得られるというメリットは、得られるはずですよ。

肯定側：あごめん。では確認します。じゃああの一ちほ、えーえーと住民投票で、ま国政レベルの話もする、そういうことで

否定側：国政レベルのそういった議論を巻き起こすことによってよりよい、あの一政治的アウトプットを得ることが可能だというふうに、申してます。

肯定側：はいわかりました。えーそれからですねー。憲法改正ですね、コストと時間の（　　）

否定側：はい

肯定側：例えばコストは何にどれくらいかかるんでしょうか。

否定側：えーまあ、いろいろ例はあると思うんですけども、まあ憲法を改正すれば、えーと当然そう言った法律の文面上、の改正も行わなければいけませんし、

肯定側：どのぐらいー、でしょう、という、

否定側：えーと量はちょっとわからないですが、

肯定側：はい

否定側：あの一少なくとも、

肯定側：ええ

否定側：えー憲法、あの一改正するのにえー、相当なま時間がかかるということは、予想されます。

肯定側：時間、はいわかりました。えーそれから、とても無責任になると、国民投票の場合、というお話ですが、（　　）についてですが、

否定側：あの全国レベルで国民投票を行ってしまうと巻町や沖縄について何も知らないような人が決定権を持ってしまうそれが問題だというふうに申してます。

肯定側：巻町が／／（　　）

進行係：　　／／（（ピピッ））終わりです。

否定側：原子力政策についてです。

1NR

では始めたいと思います。まず、えー相手の不利益のさい、あ、利益の2番目の最後の方に、まディシジョンルールとして自己決定権が大事っていうふうにありましたけれども、これをよくよく中身を見てみるとですねえ、だらだらだらだら、いいに決まっていると。理由が全く書いてありません、これを取るか取らないか、私たちのスピーチを聞いたあとにきちっと判断してください。

次いきます。で、相手の解決性について、なんですけれども繰り返しになりますけれども、えーこちらがわがオープンイン、インフォメーションをオープンできると情

報公開されている、というふうにおっしゃいましたけれどもこれは制度的にある、ということだけで、まあ役所はこういうことしますということは都合のいいことだけやる、それからまあ制度としても非常に複雑煩雑である、ということで一般市民にはか、す、かならずしも利用可能ではない、といことをいいたいと思いますなぜこういうことを言うかっていうと、情報がきちんと与えられない、のでは正しい判断が下せない、本当に自分の価値観にあった判断を下せるのだろうか、そういう疑問がのこります。こちら自分の価値観にあった判断が下せるからといっていいですがけれども、そのための情報が私たちは得られない、というふうに主張したいとおもいます。で、また、住民投票では、その双方向のコミュニケーションが行われますけれども、国民投票ではまあ一方通行になるしマスメディアからの一方的な情報が氾濫するのみ、で我々の判断の、判断がかなり混乱するということが予想されます。また、国民投票が何度もやられると、えっと投票率がどんどん落ち込んでしまい結局は政治参加しないのではないかというスイスの事例も考えられます。

でですね。たとえ、でこ、私たちの不利益にうつっていただきたいんですけども、ではじゃたとえ、たとえばもし、ですよ。その一こちらのプランがまあある程度うまくいって政治参加する人が増えたら、じゃあどうということが起こるのだろうかということについて話したいと思います。えーと、まず参加者がま増える。それが私たち、の話の始まりです。えー教育効果があるという話でしたが、誰でも教育すればいいというもんではありません。私たちがいっているのは、まあ、国民がこう、例えばこうありますと。現在の段階では判断力に非常に優れている一部の人達がまあ投票に行っている。そのために政治が安定している、というのが私たちの論理です。で、いっぽうこちら側ですね、まああんまり関心がないと、いままで感心が無かった人達がじゃあプランを取ったらどうなるか、というとマスコミの判断に、踊らされてこうなんだかわからないうちにまあ投票してしまう。で、その判断。（間 約1秒）無関心な人はマスコミに踊らされてしまうということで、その結局のところですねえこっちの人たち、の価値観というのは達成されないということが予想されますし、安藤さんがおっしゃっていたとおりに言っていたとおりにまあ、投票に対して無責任になりがち、ということが、えー予想されます。で、こういうふうにはですね過剰に、まあ別に、この人達だけ参加してれば、民主政治、っていうのは今までうまく、ステータス（ ）でうまくいっていたんですけども、プランを取った後にあまり無関心

だった人達はその、ぶれをもった、感情や考え方にぶれをもったような人達、が、えーたくさん参加する、ということで、えー政治が不安定になります。それで何パーセント以上が過剰か過剰でないかという話ですけれども、国民投票に賛成の方が 82 パーセント、現在投票率が 50 パーセント以下、ということでかなり大きな差があるということは明白です。でこれで何が悪いかということについて説明しますと、まず一番としてま政治が不安定になるので、まあ政府は長期的な視野で行動しにくくなる、政策がころころ変わる。それからですねえ政策がころころ変わるとなぜ悪いかといいますと、まあ経済が例えば不安定になる、金利がどんどんおーいったりきたりする。国民自体が、国民が自分の生活設計がうまくできなくなります。政府の政策に、一貫性がなくなると、まあ自分がどうやって人生を設計していったいいのか、というのが、えー分からなくなってこう希望おーがほとんど持たなくなってこう自暴自棄にまあなってしまうのかも ((笑)) かもしれませんけど、希望が持てる生活というのがなかなか難しくなると考えます。((間 約 2 秒)) えー、考えます。ということで、我々は、今まで通りに、こちらのきちっと判断のできる方だけ、が、関与できるような政治システム、つまり現状を、えーと

進行係：終わりでーす。

1AR

はい。皆さんがたに申し上げます。この試合を判断するのは実は簡単です。否定側が出してきた投票理由に足ると思われる議論二つだけです。対抗案、カウンタープラン、えー不利益、えー、えーと、過剰民主主義ですか？この二つが、二つとも立たなければ、全く否定側に、投票する理由うぁありません。それをこれは順番にお伝えを致します。

まずカウンタープランから申し上げます。1 点目。同時に採択できない。なぜならば、同時に採択することを禁止しているから。これを同義反復と申します。

聴衆：((笑い)) //

肯定側： //このような、仁義的な、ロジックに、皆さんだまされてはいけません。同時採択は可能です。2 番目。えー憲法憲法改正によって不利益が生じています、ところがこの不利益なるものを具体的になんにも説明してくだされませんでした。言ったのは時間がかかる、コストがかかる。私がうちからここまで来るのにも時間もコストもかかるんです。それがなぜ悪いのか、全く説明されていません。

これ、不利益でも何でもありません。不利益立証の義務を果たしていません。

それから、3点目。えー地方レベルでは、その通りです。そのように、政治参加勧めるば、べきだと思います。問題は。地方レベルで得られた議論と、我々の言う国政の議論が。二つに重なれば無駄と言えるかもしれません、違います。地域のことと国政のこと。つまりやった分だけ、メリットが2倍になるわけです。話す対象、話題が違うからです。よろしいでしょうか。すなわち、一生懸命否定側はカウンタープランで我々の、利益が、なくなるようにように説明していますが、全て失敗しています。論理的に考えれば分かることです。

それから最後、これが最大の事です。一生懸命日の丸のことを説明していましたが私は申し上げました。このプランでは、例えば今国会で、えー4月29日（にじゅうくんち）を昭和の日にしようネットワークというのを活動しているらし、えーらっしゃる方がいらっしゃいます。私これ個人的に大反対です。もしプランが採択されたら、国会で、4月29日（にじゅうくんち）を昭和の日にしようといったら私は、なんととしてでも50分の1の署名を集めて、反対をしようと思いますところが、カウンタープランでは、これできません。ここで説明した通りです。少数決のロジックにはまるか、実質国民投票をやってるかのどちらかに落ちてしまうからです。それゆえに彼らは、日の丸の意味があるということ、一生懸命して、こちらの国政上の課題から話題をそらそうとしているわけです、皆さんだまされないでください。決定をするかぎり、少数決という非民主的なものになるか、実質、否定側が（(笑い)）肯定側のプランを出してるというどっちかのトラップに陥らざるをえません、カウンタープランはつぶれました。

不利益を申し上げます。1点目、政治が不安定になります。なぜ悪いんでしょう。私のパートナーが申し上げましたとおりに、あのーコロコロ変わるから、なんだ、それがあ、というふうに申し上げたあんですけれども、具体的な説明をしてくださいまし、せんでした。むしろ重要なのは、プランによって参加が増えるということをお認めくださったことです。よろしいでしょうか。今まで参加してなかった人が、これから政治に参加しなきゃという、ふうに思うようになって、くる、重要なことは、わたくしどもが、えーえー（立論）で申し上げました、田中（ぜんいちろう）、参加によってよい市民ができる、代議政治のアウトプットがあるというのを彼は立証してくださいました、これは不利益ではありません。利益です。ありません、この時点で否定が登

場しちゃいけません皆さん。／／

聴衆： ／／ ((笑い))

肯定側： ／／ さらに、

申し上げますが、我々の、自分のことは自分で決める、なぜならば自己責任によって、国家を選ぼう、それが以外の国政の課題を選ぼう、それが、国民主権。それが。民主主義だという、定義。このディベートにおいて民主主義の定義はこれだけです。なぜならば、否定側が議論しなかったからです。肯定側投票してください。

聴衆： ((拍手))

司会者： はじめて拍手が出ました。

2NR

司会者： それでは否定側の最後のスピーチになります。否定側の第二反駁4分間です。

否定側： えーでは始めたいと思います。えー肯定側と違ってえちょっと派手なスピーチはできないんですけども／／

聴衆： ／／ ((笑い))

否定側： ／／あの一ゆっくり聞いてください。否定側の立場としては、まずカウンタープランに、しぼりたいと思います。不利益の方は、えー忘れてください。えーカウンタープランのみが、否定側のオプションです。えーカウンタープランについて確認刺せていただきますと、まずとりあえず、国家国旗法案については、えー廃止する。それに対して、えー新たに、地方レベルで、公式の場での、えー日の丸掲揚君が代斉唱、そういったものを、えー行うかどうか。地方レベルで判断する、これを住民投票によって行う。または州旗<しゅうき>ですとか、あし、県旗<けんき>ですとか県歌<けんか>ですとか、そういったもの、を定めても良い、というものです。

さて、えー否定側の議論としては、えー、まず、主なところでは、競合性のところ
です。カウンタープランとプランが同時に取れるかどうか、同時に取れなければカウ
ンタープランのみを採択すべきである、すなわち、否定側に投票すべきである、と
いうことになります。この点に関して、明らかに、否定側のカウンタープラン、のみ
を取ったときの方が優れているといえます。なぜなら、えー、利益が、純利益が、そ
のーカウンタープランのみを取ったときの方が大きい、からです。えーそれについて
説明します、

まず彼らは最初に、えー。まあ。取れば取るだけ、国政レベル、地方レベル、利益が2倍になるといいました。これは、全く違います。何故かという、例えば、沖縄のことを考えてみてください、あの沖縄で、えー日米安保に、えー反対することによって基地を追い出すことができる。そういった、えー住民投票を行うことによって、全国レベルで、えーそういった、あの一より、えー積極的な議論を巻き起こすことが、できる、というのが否定側の主張するメリットなんです。それに対して、えー肯定側のプランをとりますと、全国レベルでいきなり国民投票を行ってしまうわけです。まず、メリット2で、えー否定側第二立論で出した、証拠資料を思い出してください。これは全国規模での投票は無責任になりがちだ。というところに関して、えー（違反）しています。なぜかという、えー全国規模で決めるときは判断が抽象的になって人々が無責任になってしまう。ほとんどの日本人は沖縄の巻町を見たことがないから、抽象的に厄介なものはどこかに置かなければいけないからしかたがないという程度のことしか考えない。というのがこの証拠資料の内容です。ということは、プランとカウンタープランを同時に取ってしまうと、日米安保に対して、安易な判断が行われてしまう。というのが問題です。そして、えーさらに、まあ巻町、の例でも言いますと、えー原子力発電所のような厄介な施設はどこかに置かなければならない、という程度のことしか考えない。全国レベルで投票してしまうとこのようなことが起こるので、問題だというふうに、考えています。

次に、えー肯定側は、えー昭和の日、云々という話をしましたが、これに関しても、えー全く、えー当てはまりません、なぜなら、例えば埼玉県、あ、私千葉県に住んでますけれども、千葉県民の日というのがあってその日は千葉県の学校お休みです、地方レベルそういった休日をさ定めることができます。で地方レベルの休日に対して、反対するんであれば反対すればいいし、えーまあ賛成であれば賛成すればいい、というふうに、思います。

でさらに、憲法の議論があります。憲法、を改正しなければいけない、これによって莫大なコストと時間がかかることが予想されます、彼らは、えー憲法に対する不利益がないというふうにおっしゃっていますけれども、え憲法を、えーいままで54年間全く変えずに、日本はきたわけですから、えーこれを変えとなると、大事<おおごと>ですあの一。今までのその法体系ですとか、そういったものを、全部変えていかなければなりません、そういった手間がかかります。そして、えー。っと。憲法を変

えるには、その一いろいろ国会でも複雑なプロセスを通さなければいけませんし、えー時間もかかる、ということが予想されます。したがってカウンタープランのみを取る方がすぐれていると言えます。

次に、えー肯定側のメリットに関してですが、これはすべて、カウンタープランで、得ることができます。全く、えー、アドバンテージとしては一緒です。なぜなら、肯定側の議論としては、えープランをとることによって、日本（（ピピピピッピピピッ））日本人が教育されるということですから、これはカウンタープランでも十分得られる利益です。

進行係：終わりでーす。

2AR

司会者：それでは肯定側の、最後のスピーチです。このディベート最後のスピーチになります。肯定側の第二反駁4分間です。

肯定側：えーありがとうございます。えーまずこのディベート大事なことはですね、えー我々のゴールは民主主義の拡充でありました、その民主主義の拡充というのは、えー我々が定義したように、えー国政へですね、国民の意図を、より、反映させること、であります。で、このメリットに関しては、えー、肯定側の方が、あー肯定側のプランつまり国民投票が効果的に得れる、ということですね。でそれに対して否定側の方なんですけど、えーま、（あの）カウンタープランにによってこれは得れる、えーそれに対してあの、こく国民投票であるとデメリットがあるので、カウンタープランをえ得るべきであると。でーひとつ思い出してください。カウンタープラン、によって、例えば国のことを考える場合ですね、先ほども申し上げたんですけれども。

（（間 約2秒））えー少数制ですね、非常にひ、であ非民主的な、一あ結果がまちか、あ出るというこですね、こういう結果、が出るものにどうやってあの一国民は教育されうのでしょうか。少ない方が選ばれる、で、えー、えーというこですね、そういうこれは、ディスエデュケーション、逆の、教育を受けるという。ですから、肯定側受ける、正統なみんなしゅう、えー民主的な市民としての、えー教育と、あの肯定側のえーあ考えている教育効果と、これは違うものである。我々が、これは肯定側の、えーあえー国民投票で得れる、えー、あのメリット、の方が、えーま重要であり、えーそして我々のゴールに合致すると、考えております。

えーそれから。（（間 約2秒））日米安保の話が出ましたけれども、えーこれに関

して国民が、あのえー無責任になると。まずエビデンスに関してどの政策に関して、考えたときに、えーまエビデンスは一般論です。どの、どのケー政策を考えたときに国民が無責任になるか、これあこのエビデンスがはたして国民が日米安保をどうするかと考えた時に無責任になるか。とは言っていません。ま、あのー米軍基地のことをどうするか、それがとお、場所が遠いからということで、あのーというのが（リーズン）になっているかと思えますけれども、まあの一国策として日米安保をどうするか、日本のつか国家安全保障を考える、うーになっ、になった場合には、当然国民はもっと慎重に考える、考える、と、えー我々は主張致します。この点におきましては、まず最初我々教育効果で、えーまああの証明致しました国民あん、あのー教育効果を受け、そしてよりよい政治判断をできるようになると、いうふうにあの主張しました。えーそれから。えーデメリットですけども、否定側の方はデレ、デレ、デレデメリット（ ）しました、ということで、これは判断材料から除いてください。

したがって。（（間 約1秒））国民、投票を導入して得れること。は、我々のゴールで申し上げたように、えー自分たちの意思で、えー自分たちの、あのー、直接関係する、政策を選ぶことができる、そしてえー、仮に、これが、あのー。悪い結果が出たとしても、それが自分たちの結果であ、自分たちの選んだの（で）あるからそれを受けとめる、逆にこれは責任感、ですね、自分のことは自分でえあ決めるという責任感をですね、持たせる、ということになるんじゃないでしょうか。ですから、えー。あー。こっあの、議題がですね、論題が重要であればあるほど、かえってこれは教育効果を生む、と我々（は）考えております。（（間 約2秒））

えーしたがってそれからですね、えー。（（間 約1秒））え否定側はですね、えー、あのー憲法肯定側のプラン国民投票導入案うあ憲法を変えなければいけない、コストがかかる時間がかかるただしこれ具体的にどのぐらいか、そんなに、あのー国民投票、あの導入、する、十分な理由なのかどうかこれは証明されておられません、かえって、カウンタープランさきほど申し上げたようにですね、こちらにあるように、えーカウンタープランの方が非民主的であるというデメリットがあるわけです。したがって（（ピピピッ））国民投票導入をぜひ支持してください、ありがとうございました。

jdafall19990913b

JDA 秋期ディベート大会

1999/09/13

論題「日本は首相公選制度または国民投票制度の導入による国民の国政への直接的な参加のを可能にすべきである」

予選

1AC

われわ、あ、それでは肯定側第一立論を開始します。われわれは国民それぞれの生活の根本となる国政を国民自身が決定する民主主義の実践を至上命題と考え、日本は首相公選制を導入すべきであると主張します。定義を述べます。首相公選制とは行政の長である首相を有権者の直接投票により決定する制度です。プランを5点述べます。1、首相公選は全国一区で直接投票により過半数を取ったものを選出し、任期は4年とし、2期までとします。2、被選挙権は国会議員の50名以上の推薦を受けたものに限定します。3、首相および内閣は議員を兼務できないものとします。4、首相のリコールは総議員の3分の2の賛成のもと、国民投票を行い有効投票の2分の1の合意が得られた場合成立します。5、首相に法案拒否権を持たせません。以上のプランから発生するメリットは民意の反映、民意の反映です。

現状分析を5点述べます。1点目は国民の望まない政策を掲げた人物が首相になっていることです。現在のシステムでは国民が選んだ国会議員によって首相が選ばれており、間接的な方法が採られています。そのため国民が本当に望む人物が首相になることができません。事実首相が過半数を占める与党から出ているにも関わらず、その支持率が過半数を超えることはほとんどありません。証拠資料を引用します。出典は朝日新聞、98年6月23日付けより、引用開始、「橋本龍太郎内閣の支持率26%は内閣発足以来の本社調査で最低。」引用終了。よって間接的に首相を選べば国民の望まない人物を首相にしてしまうこととなります。2点目は政権の座が、ご、政権の座が固定していることです。現状の議院内閣制のもとでは政権を握っている党を変えるためには多くの選挙区で野党議員が大量に当選しなくてはならないため政権が変わることはほとんどありません。そのため国民が政府に対して不満を持っていてもその政権を変えることは困難です。3点目に、首相が地域の利益代弁者となっています。現在の首相や内閣は、たい、大多数が国会議員です。そして国会議員は選挙区という

特定の利益、ん、特定の地域の利益代弁者です。その結果、日本という国家の視点ではなく地域の、地域への利益誘導という視点を持つ人間が行政に介入しているのです。具体例としては、故田中首相が上越新幹線建設時にりれきを、利益誘導のために地元
の町に駅を設置したことのほか様々な公共施設、インフラ建設に各大臣が奔走している現状を見れば明らかです。そもそも国民全体の代表者、代表者としてではなく地域の代表者である議院内閣制の首相や内閣はこうして国民全体の利益よりも地益の利益を不当に優先させることがあるのです。4点目は投票率の低下です。現状の低い投票率では投票するのは一部の国民であり、政治にも一部の人の民意しか反映されません。5点目は政策論争の少なさです。現状のぎ、ぎかいせい、議会選挙では各選挙区で立候補者が出ているためその全てをマスコミで取り上げることができず国民の関心も薄いため、政策論争が活発になりません。

このような現状でプランを導入すると次の5点からメリットが発生します。1点目は国民の選択によるものです。プランの導入により国民は直接首相を選ぶことができなくなります。候補者は国民の支持を得るために政策をうったえ、国民もそれをもとに直接首相を選ぶことができるので国民にとって本当に利益のある政策を実行する首相を選ぶことができます。2点目は政権の交代によるものです。プランの導入により現状の政権に不満を持っている場合には党派に関わらず違う政党を選択することができます。よって、現状の問題が解決されます。3点目は首相が全国の利益を考えることによるものです。プラン導入により首相は地域選出ではなく日本全区から支持されたものになります。従って特定の地域に利益を還元するような政策を行わず現状の問題3は解決します。しかも当選するためには全国の支持が必要なため必然的に全国の利益を考えたせいさこ、政策を行うようになります。4点目は国民の政治参加によるものです。プランの導入により、国民の政治意識は高まり、投票率が向上します。なぜなら、こく、国の指導者を決めるこの選挙にはどの国にも高い投票率を出しているからです。証拠資料を引用します。出典は日経新聞95年5月9日付けより、フランス大統領の選挙の投票率です。引用開始。「投票率の79.65%」引用終了。また韓国でも92年の選挙では81.6パーセント、81.6%の高い率を記録しています。このことは日本においても同じことがい、同じことが言えます。たとえば東京都知事選挙が都議会選挙よりはるかに高い関心と投票率を示したことから明らかです。よって多くの人々が選挙に参加するようになるため多くの国民の民意がはん、より正しく

反映されることとなります。5点目は政策論争が活発になることによるものです。全国一区で行われるこの選挙では全国民の関心を集め新聞テレビ等も一斉に取り上げます。よって政策論争が活発に行われそれが国民にしっかり届くためより民意を正しく反映させることができます。

次に重要性を説明します。一点目は理想的民主主義の実現です。日本の主権は国民にあります。しかし現状分析でも述べたように国の主導者は国民の望まない人間です。本来の人間主義の理念から考えれば国民が自分の手でその国の指導者を選ぶのが当然のことなのです。二点目は政策の充実です。首相の掲げている政策は国民に支持された政策です。これをし、実現することで本当に国民の望んでいる政策を実施することができます。反対に住専処理のような国民の望まない政策を否決し、国民の利益を守ることができます。よって国政が国民のための政治になり国民がその利益を享受することができます。よってこのメリットは大変重要です。えー、どうしよう、それから、以上で肯定側第一立論を終わります。

1AC CX

否定側) はい、それでは否定側質疑を始めたいと思います。えっと、まず最初にプランをおうかがいしたいんですけど。4点目のリコールというのはどのような場合に起こりますか？三分の二以上の議決が必要というのですが、

肯定側) はい。

否定側) たとえばどういう、失政の場合ですか、これは。

肯定側) 失政の場合もあります。

否定側) それか、あるいは、

肯定側) はい。

否定側) 法案が、え、え、違法行為をした場合、場合ですか。

肯定側) 違法行為をした場合...

否定側) 失政の場合というのはダイエットがそれは三分の二以上が失政と決めた場合にやるってことですか

肯定側) はい。

否定側) それだけですね？

肯定側) はい。

否定側) はい、分かりました。

否定側) えーっと、次にですね、えーっと、それでは、えーっと、特定の地域、ま、えっと、発生過程、現状分析の三点目ですね。えっと、特定の地域っていうことですが、

肯定側) は
い。

否定側) 特
定の地域に利益が誘導されることと、え、ことはなぜ悪いことなのか、ですかね。

肯定側) もともと首相は国全体の利益をかんがえなければならない、

否定側) はい、分かりました。それは議員のことじゃないですかね？現在首相というのはその地域に、その例えばですね、今小渕首相はその当選地区にこう利益誘導をするという報道は現れてますかね？イエスかノーかでお答えください。

肯定側) うーん。

否定側) はい、結構です。

肯定側) はい。

否定側) えっと、それではですね、え、投票率が向上するってことですが、えっと、これは現在でも見られる傾向であるということをご存知ですか？

肯定側) 現在でも...

否定側) はい、現在でも投票率は上昇傾向があるということをご存知ですか？

肯定側) 現在でも...

否定側) はい、結構です。えっと、それでは五点目のマスコミに関してですけども、マスメディアの効果があるっていうことですが、例えばマスメディアの影響を受けることによって、えっと、まあ、マスメディアが、えっと、誤った報道をするという可能性もありますよね？

肯定側) はい。

否定側) その場合民意が反映されると失政が起こりますよね？

肯定側) はい。

否定側) はい、結構です。えーっと、うーん、えー、政権が固定されるということに関してですけども、えーと、政権が固定するっていうことはどういうことでしょう

か？つまり任期が安定しているってことですか？

肯定側) いいえ。と、一定の党が

否定側) はい。

肯定側) ずっと与党として

否定側) はい。

肯定側) 政権を握っているっていう

否定側) はい。

現状はそうですよね。

肯定側) はい。

否定側) プランを導入するとどうなりますか？

肯定側) プランを導入すると、先ほども述べた通りに、っと、まあ、うーん、

否定側) ど、どう

いう風に発生しますか、政権交代というのは。

肯定側) うーん。

否定側) はい、結構です。えっと、(pipipipi...) あ、それでは質疑を終わりたいと思います。

INC

否定側) はい、それではこう、それではこれより否定側立論を始めます。定義は肯定側に従います。プランは現状維持の立場を採ります。プラン導入により発生するデメリットは二点です。一点目は衆愚制の発生、二点目は執行部と議会の対立が発生することです。

それでは一点目の衆愚制、衆愚政治の発生について説明します。われわれの基本的スタンスは現状の官僚政治はうまく機能しているが国民の手による政治では機能不全が起こるというものです。発生過程を説明します。発生過程は二点です。まず第一に現在の高度化した政治を国民は理解できないことが挙げられます。現在の高度化した政治を理解するためには専門的な知識が必要です。例えばガイドライン法案や金融政策でどの程度の額の増税を実施すべきかということにしてもその効果や意義を見極めるには専門的な知識が必要なのです。現状では官僚がそのような専門的な知識を持ち政治を機能させています。証拠資料を引用します。出典は、えーと、議会官僚支配を超えてです。引用開始。「このように法律は国会で改正されるといって人は国会

が法律を作り、これを立法化するのだと思うかもしれない。せいとう、政権党である与党が作ると思うだろう。しかし現実には敗戦から自民党のいっとうし、一党支配の崩壊まで実際の立法作業を取り仕切っていたのは官僚組織だった。」引用終了。つまり現在の政治は官僚によって動いているのです。そしてその官僚が専門的な知識を持っているのです。しかし国民にはその知識がございません。国民は仕事などで忙しく、知識を得る時間がないことが知識不足の主な要因です。プラン導入により国民は候補者たちのあげる、掲げる政策あるいは政策自体の良し悪しを判断することになりますが、その判断をする材料が国民の手にはありません。そしてその判断をざい、判断する材料の知識がないのです。このような国民によって選ばれた政策はその効果や意義において非常に不確かなものであり、政治が機能しなくなることは明白です。第二に、(ごうせいのごびょう) が起こるということです。(ごうせいのごびょう) とは大人数のほうが悪くなるという意味です。つまり国民の総意の下に善しとされ行われる政策が結果的には国民の負担につながるのです。例を挙げると現在の財政状態は非常に深刻な事態にあります。あかあつ、非常に深刻な事態があります。赤字国債が約三十、三百二十兆円にものぼり、そのために財政支出に伴う景気、対策などに支障をきたすたね、きたすとうのいわゆる財政の硬直化が発生しています。現状では大蔵省の増税などの政策を適時行うことによってなんとか歯止めをかけていますが、えーと、すいません、えー、歯止めをかけています。官僚は経済全体をつまり国全体のことを考慮しています。しかし、プランのどうりょうに、プランの導入により、増税政策を行うべきばめ、場面でも減税政策が採られることになります。なぜなら国民は経済全体の(びょう)よりも個人レベルでの利益を、利得を優先するからです。証拠資料を引用します。出典は八十年の住民投票と市民参加です。引用開始。「ことに経済問題に関しては自己の利益と相反するせんた、選択をしないから必要な経済負担やしょうすうさ、少数者の利益が保護されるとは限らないし、直接民主制は鈍重な制度なので時期的な事案の解決を逸する恐れがある。これらの欠陥を回避するために行政サイドで様々な(抜本行為と抜本旧条項)の活用が行われる。」引用終了。つまり国民は官僚のように国全体のことを考慮せず、個人レベルで利得を優先するのです。先ほどの例に戻ると結果的にインフレ等により経済は混乱し、国民の負担につながるのです。それでは二点目のデメリット、あー、えーと、あ、続いてこのデメリットの深刻性を述べます。衆愚政治の発生により国民の負担は大きくなります。

例を挙げれば、経済問題での失政により不況にな、れい、例を挙げれば経済問題により不況になれば失業し、失業率の増加など深刻な事態につながります。また外交問題での失政は国際化時代での日本の立場に悪影響を及ぼします。つまり、政治の機能麻痺の状態での衆愚政治は国益全般に悪影響を及ぼすものです。えーと、従ってこのデメリットはとても深刻なのです。

それでは二点目のデメリット、執行部と議会の対立が頻繁に発生することについて説明します。発生過程を説明します。発生過程は一点です。現在の議員内閣制は執行部と議会の対立をかい、回避するシステムを持っています。現在の首相は就任時において議会の多数派の支持を得ています。さらに連立などにより議会の情勢が変わり首相が議会の支持を得られなくなれば議会は不信任案を提出できます。しかしプランの導入により執行部と議会の対立は頻繁に起こります。まず就任時において議会の支持を得ていません。さらに不信任案を提出できないので対立を回避できません。証拠資料を引用します。出典は九十九年の政治制度論です。引用開始。「大統領制の主要な構造上の欠点、構造上の弱点は執行部と立法部との間に潜在的な対立をかいし、解消できる民主主義的な原理を持っていないことである。政府のに、にこうす、二構成要素のいずれも不信任動議を通過、させることができず、二構成要素の政治的対立を解消するという任も選挙民にゆだねる。大統領の弾劾は政治的な相違という理由では正当に使われて、使われない道具であって実行可能な選択肢ではなく大統領が法律に忠実でない場合にのみ、は、可能である。」引用終了。つまり公選制は対立を回避できるシステムを持っていないのです。従って執行部と議会の対立が起こるのです。続いてこのデメリットの深刻性を述べます。執行部と議会の対立により政策実行が困難になります。首相があるせい、政策を実行しようとする場合、議会による法案の可決が必要となります。あるいは改正や廃止する法案にも議会の可決が必要となります。証拠資料を引用します。出典は六十二年の首相公選論です。引用開始。「元来行政権というものは立法権の援助を必要とするものだ。法律は新しいものを作ったり改廃しなくてはならない。中略。行政権を必要とする法律が議会を通過しないとなったらどうか。大統領は今の法律に対して拒否権を持っている

チェア) 時間です、終了してください。

否定側) が必要な法律を作ってもらわなければどうにもならない」引用終了です。ありがとうございます。

INC CX

肯定側:では尋問を開始します。

否定側:はい。

肯定側:えーと、先ほど国民は、っと、高度な、その、政治的な、知識がないと、おっしゃられましたよね。

否定側:はい。

肯定側:その根拠は。

否定側:官僚に比べて我々は知識がありません。それは時間的に我々は費やすことができないということですので立論でも述べています。

肯定側: はい。と、判断する材料が全くないといわれましたが、これは普段新聞やテレビとかでは情報を入手するという事は出来ないんでしょうか。

否定側: それは十分ではありません。

肯定側:十分ではない。

否定側:はい。

肯定側:はい。えーと、えーと、現在の政治は官僚でうごい、動いている、と言われましたが、

否定側:はい。

肯定側:えーと、プランを導入しても、官僚が政治を、ん、官僚が政治を行うということとは変わらない、のですか。

否定側:はい、えーと、し、質問の意図が分からなかったので、もう一回お願いします。

肯定側:プランを導入しても、

否定側: はい。

肯定側: 官僚が政治を行う、ということが変わらない、んですか。

否定側:え、それは肯定側のプランを導入すると、変わらない。えーとプランてのは...質問のいしがよくわからないんですけども。あの、それは肯定側のプランを導入すると、どうなるか、僕肯定側、否定側なので分かんないです。

肯定側:すいません。

否定側:はい。

(時間まで沈黙)

2AC

はい、それではこれから、えーと、肯定側の第二立論を開始します。まず先ほどの、えー、デメリットの議論、えー、デメリットが（すぐ起こることを言っていきます。）えっとですね、まず、んーと、先ほど、えーとですね、まずデメリットの発生過程の一点目の中で官僚政治について、え、おっしゃっていましたが、これに関してはまず、え、プランを導入したと、プランの導入、導入後もまず官僚が政治を行うふうに関してはプラン導入後もまったく代わりがないということを述べたいと思います。えーと、そのため、えっと、官僚が今うまく取り仕切っているその部分に関してはまったく、えー、変わりはありません。その意味で、えー、我々がこのメリットによって、メリットの中で述べているのは政策等の決定の部分に関する、つまり首相がですね、えー、行政の長である首相が、えー、政策決定等を行う、また議会のほう、議会に対して、えー、まあ、方針を打ち出していく、そういった政策等に民意を反映しようということであって、えー、何ら日本の優秀な官僚機構を傷つけるものではありません。それでは発生過程の二点目の議論に移ります。まず、えーとですね、国民に良いと思われても、ま、駄目なことがあるといったような議論でした。えと、しかし、これに関しては国民が、え、それに関して、えっとですね、そういった、え、例えば増税といったよう、財政問題を例として挙げられていましたが、そういった長期的な政策にも、え、ちゃんと考えることができるということを述べたいと思います。その例として例えば環境問題のことをあげ、あげた、挙げたいと思います。環境問題は昔は、えーですね、環境の、環境の危機がまだ国民の間に伝わっていない間は、えーですね、環境が国民の間に危機として伝わっていない間、この間に関しては、えー、こ、環境のためにお金を払うなんてことは国民の誰も考えず、またそれを、えー、国民のためにお金を払うなんて無駄なことだと誰もが考えてました。しかしその後、マスコミ等の、えー、報道とまた教育等によって、えー、意識は向上し、いまや環境問題にお金を使うことは当然となっています。それと同じように先ほど我々が、えー、メリットの、で述べたですね、えー、五点目を見てください。五点目で、えー、この首相公選制によってマスコミが取り上げる、それによって論争が行われるということがありました。これによって意識は向上します。よってですね、えー、先ほど環境問題で意識が向上したことによって危機感が分かって、お金を使うことに賛成するようになったと同じ

ように、えーと、こういった増税等の問題に対しても今の日本の危機感が、え、どれだけ今財政が苦しいのかということのをそれだけ、ぎ、国民の間で議論されればそれが、えーですね、危機感として伝わり国民もそういった増税等に対する問題にもきちんと考えることができるようになります。よって、え、こういったことは起こりません。それでは深刻性に関してですが、えー、では先ほどですね、経済問題で不況になる、また財政問題で不況になる、こういったことが果たして起こるのかどうか、これを考えたいと思います。我々が述べたように、え、まず、ですね、しゅ、まず、プランをみて、プランを見ていただくと分かるのですが、えー、首相の、ほう、首相に立候補する条件として五十名の、えー、推薦が必要となっています。で、つまり、もうそれに選ばれた時点で、えっと、えーですね、国民の、え、国の最終的な利益を考えないようなまったく無能なぎ、人物というのはまず選ばれません。よって、最初からそのような、えー、本当に経済に対して、不況に、経済が本当に不況になって財政問題が不況に、財政が不況に、えー、駄目になって、そういったような政策を掲げる人物はまず、りっこう、立候補することはできません。次二点目。えーと、それが、えー、またあったとしても、えー、今度はそれが議会、え、そういった本当に目先の利益だけを狙ったような法案であればそれを議会が、えー、通すことは、議会を通すことはできません。えーと、その例として証拠資料を引用します。えー、証拠資料はしよう、首相公選性に関する主要論点集より。これは、ですね、えっと、より、吉村正氏の発言です。引用開始。「えー、国民と政党の間に距離があり政党が国民よりも先走り横暴になる場合には大統領制のほうが望ましいと考えられる。すなわち、大統領と国会との両者がともに国民の世論を代表して相互にチェックアンドバランスすることによって国政の行き過ぎを防止することができるからである。」引用終了。え、まあ、ここでは話しているのは大統領ですが、まあ、ここにおいては首相と国会という関係は、まあ、同じですので、えーと、結局、え、本当に、えー、明らかに首相が当選するためだけの法案であれば議会が通さないということがいえ、チェックアンド、ちえ、えー、両者のチェックが働くために、えー、通すことができなくなります。えっとそれからですね、ではデメリットの二点目に議論に移りたいと思います。先ほどの議会の対立ということが、えー、政府と議会の対立について述べられておりましたが、これは、えーと、かえってメリットであるということを述べたいと思います。なぜなら、これによって少数意見の反映が、えー、起こるからです。えーと、ですね、証拠資料

を引用します。先ほどの資料より、えー、引用開始。「アメリカにあっては大統領を四年、下院議員は二年の任務であるので、大統領の任期中二年目に議員の中間選挙が行われ、大統領の反対党が国会の多数党となる可能性もある。しかしこの場合といえども、各省庁長官の人事や政策で妥協調整を図りながら政策は進められるので、さして不都合はない。かはんの大統領選挙で十一万票の差で勝ったケネディー大統領が、共和党系の（イロン）を財務長官にしているがごときである。」引用終了。えーとですね、まず、ここでこの資料で述べられていたのはまず第一に、えー、アメリカでは実際にこういうことが起こったとしても大して影響は出ていないということ。さらには、えー、えーとですね、両者の間で妥協が行われると。つまり、え、どういうことかということ、えー、今回我々が、えー、プランを導入することによって得られる民意の反映、これは大多数の民意だけでなくもちろん少数意見の、えー、本来ならば、えー、議会では多数はでない方の議会、えー、側の少数の意見さえも反映されると、こういった新たなメリットを、えー、このデメリットの二に関しては少数意見の反映、そしてそれによって、本来反映されなかった、えー、意見を反映されると。それによって我々が述べている、えー、本当の国民の意見の反映という、まあ、本来の民主主義の姿により近づくというこのデメリットはメリットであるということを述べます、えー、述べました。えーと、それからですね、じゃ、深刻性の議論に関してデメリット一の深刻性の議論に関してなんですが、えっと、あ、すみません、じゃ、時間なので終わります。ありがとうございました。

2AC CX

否定側:これより否定側の、えと、質疑を行います。えーと、肯定側は、あー、えーと肯定側は先ほど、えーと、環境問題などを例にとり、国民がマスコミなどにより、えーと、情報を与えられることによって危機感が向上すればま、マクロ的にも考え、ることが出来るとおっしゃいました。

肯定側:そうです、まず、えー、危機感、そういった危機感が得られると、そして論争が、ま、論議が行われる。

否定側: えーと、はい、その際、マスコミによって与えられる情報って言うのはあらかじめバイアスがかかっていると思われませんがそれについてはどうなん、でしょうか。

肯定側:ええと、そこでいうバイアスはこういったような内容の（ ）ですか。えーと、

否定側: え

一。

肯 定 側 :

間違った方向に導かれるとか、えっと、

否定側: えっと、この場合は正しい、えーと、正しいか正しくないかというのは、えっと、価値観によるとと思いますが、えーと、そうですね、その場合に、まあ、正しくない方向性にバイアスがかかったときととって下さい。

肯定側:正しくないもの、えー、正しくない、

否定側: 例えば、他のものと比べたときに、環境問題よりも優先しなければいけないものがあったり、また環境問題を（ ）的に捉えて、えっと一、環境問題を、えっと、改善しようとすることによって環境問題を悪化させるとか、そういうことです。

肯定側:はいはい。

否定側: が起こりえるようなバイアスはかかるでしょうか。

肯定側:えー、まずマスメディアに関しては、えー、かなり中立的な努力をしていることは、えー、していることが挙げられるということと、でまあ、それに、それでも、えー、止むを得ないという分に関しては、まあ、ある程度はありえると思います。

否定側:はい。えーと、後ですね、えーと、えーと、対立調整というのが、えーと、後半出ていましたがそれについてよく分からないので説明をお願いします。

肯定側: ()

否定側: えーと、妥協が生じるというところですか。

肯定側:えーと、そうですね、アメリカに、えーとですね、当然、えー、首相の掲げた政策を議会で通すためには首相が自分の意見で、もし、えー、先ほど、否定側のだい、デメリット2などで、えーとですね、せい、政府の党と最大党が異なった場合ですが、まあ、その場合には、えー、当然自分の主張だけを押し通し、通したとしても議会は可決しないわけですからその議論は通すことができな、出来ないわけです。さらに、

否定側: ということはですね、

えーと、民意はそこでは反映されなくなるということですか。

肯定側: いえ、違います。そ、しかしその政策を通すために妥協等を行います、事実アメリカでもそのような

否定側: はい。

肯定側: ことを行って法案
を通しています。

否定側: えーと、ということは妥協するということは国民の意思ではないものが混じる
ということですよ。

肯定側: いいえ、えーと、そういうわけではありません。え、議会、国民の意思ではな
いものが混じるとか、混じる、あ、えー、()

否定側: (混じるよ)

肯定側: 混じる分には、そうであります。

否定側: ということは民意が必ずしも反映されないということですね。

肯定側: いいえ、首相の政策が実現されているわけですから民意は反映されています。

否定側: えーと、国民が投票した際に思い描いていたものとは多少変わるわけですね。
多少って言うか変わるわけですね。

肯定側: え、しかしそれは国益、えー、であるものであれば問題ないと思います。

否定側: はい、えーと、民意、えーと、分かりました。えーと、えーと、国民はマクロ
的に考えることが出来るとおっしゃいましたがこれは、えーと、マスコミによる教化
だけですか。

肯定側: えー、

否定側: どうかいうかマスコミにより、情報などを与えられることがある、とそれによ
って議論が活発になることだけですか。

肯定側: えー、はい、主にその2点です。

(pipipi...)

否定側: はい。はい。ありがとうございました。

2NC

それではこれより否定側第二立論を行います。まず初めに民意の反映というのがま
ず発生したものとして考えた場合、その重要性について、深刻性の衆愚政治と関連し
て考えたいと思うのですけれども、まずわれわれの基本的スタンスとして民主主義と
民主政治っていうのを区別しています。民主政治というのは民衆のためになる政治で
す。つまり国民がためになる政治ということです。これは現在の官僚政治でうまく行
われていると主張します。そして民主主義というのはあくまでも民主政治の手段とし

て民主主義を用いるわけです。つまりその民衆が、えー、政治にこく、参議をすることによって、えー、民主政治をたっしょう、達成しようとするものが民主主義であります。その民主主義を達成することによってその国民の利益にならない政治、つまり民主政治というのは達成することが出来なくなるということをご理解ください。つまりですねえ、民意の発生が衆愚政治というデメリットをもたらすということでのめり、これが発生したと、仮に発生したとしても、この重要性というのは非常に低いものとなります。

えー、次に、えーと、発生過程について、えーと、5点上げられました。えーと、5点について反駁したいと思うんですけども、え、まず1点目の、えーと、現状分析のところ、えーと、資料を上げられて橋本政権は最低時26%しかないという資料を用いられましたが、これは最低時、えーと、橋本政権が26%の支持しか得られてないということです。つまり、えーと、現在小渕首相は、えー、50%、まあ、あるいは60%にも支持率が昇っていると言われてますし、えー、つまりですね、その、その、なんですか、それが民意に、民意が、えーと、首相に反映されてないということは必ずしも言えないわけですね。えーと、さらにそのプロセスの時点でですね、えーと、プロセスの時点でプロセスの時点で、えーと、国民の直接的な参加があるということを証明したいと思うんですけども、えー（11秒間の沈黙）、あ、まあいいです。ということで、あの、プロセスの時点でですね、直接選出作業があるわけです。つまり国会議員を我々は直接選んでさらにその国会議員が、えー、首相を選ぶわけですから基本的には直接参加というのは現在でもありえるわけです。つまりこの発生過程は成り立ちません。次に政権、えーと、第二点目の政権交代が起こるということですが、えー、現在よりもこれは政権交代が起こらないということがいえます。なぜならプランというのは任期が4年あります。しかもリコールがありますがリコールというのは先ほど質疑で確認した様に、え、違法行為、あるいは失政が起こった場合にのみ適応されるということで、えー、それ、その場合に3分の2以上の賛成がいるという非常に、え、困難な、えーと、システムであります。というのは、実行が困難であります。従ってその任期4年というのはかなり政権交代が、それは、その間ずうっと政権が交代しないわけです。しかし現在では、その、不信任案が提出されることによって政権は常に変わりますから政権が固定されているということはありませんし、そして発生過程で政権が交代するということは、えー、政権が交代（ひんばい）起こるということは現

在よりも非常に、えー、固定されるということがいえませう。したがってこの発生過程は成り立ちませう。え、3点目に、えーと、えー、3点目に特定の地域に誘導するということでしたが、これは現状を捉えていません。え、現在、これ、ころ、この議論というのはですね、国会議員に当てはめられるものであり、首相はその、特定の地域から選ばれているわけではありませう。その国会で選ばれているわけですから、首相ってというのは。だからその地域誘導っていう議論は、えー、議員のものであり、現状分析の時点で成り立っていません。えー、さらに、えっと、4点目の、えー、投票率向上に関してですけれども、えーと、これは現在でも投票率の、えーと、上昇の傾向はあります。えー、読売新聞98年によると、えー、12日の、えー、証拠資料を引用します。12日の参院選の投票率は選挙区58.84%、ひれい、比例選58.83%で過去さいせいだった前回95年の42.52%を大きく上回るなど、えー、近年の国政選挙の低落傾向に歯止めがかかった。つまり現状でも、えーと、投票率向上というのは行われているわけで、えー、現状のところその一部の人しか反映してないということは間違っています。さらにいえば、一部の人、つまり投票してない人もですね、その意見というのは反映されています。なぜなら無党派層として、例えばマスメディアもですね、その選挙率が低いということの原因として、ま、無党派層の存在をあげています。つまり無党派層、つまりそれは政治にふしん、不満をもっている、現在に不満をもっているというふうなことで捉えられますからそれは一部の人間がというのは、その投票率だけで考えれば一部ですが、その、全体の意思ってというのは分かるわけですね、現在でも。えー、それから5点目のマスメディアの効果についてですけれども、えー、これはマスメディアの効果があるとしてそのマスメディアってというのが間違った報道をするということがあればそれは失政につながるわけですね。つまりマスメディアという、まあマスメディアも民意ですよ。ということでその民意が反映される、イコール、失政につながるというわけです。えー、これはなぜならば、そのマスメディアというのがいくら正確であっても官僚、現在の官僚に比べて政策って言うものは把握できないわけです。つまりですね、公開されてない情報もありますし、えーと、えー、官僚が、官僚だけが握る、えー、情報というわけが、ものがあるわけです。したがってどれだけそのマスメディアというのが優れていようともその情報の時点で得られてる分量というのが少ないわけですから、えーと、その政策自体の分析というのは低くなるわけです。したがってそれが失政につながるということはありません。えー、これで、

えーと、肯定側第二、えーと、否定側第二立論を終わります。

2NC CX

肯定側:はい、えーとこれから否定側の尋問をはじめます。えーと、まず1点目、一番最初の反駁に関してですが、

否定側: はい。

肯定側:えーとですね、えー、あ、小渕首相がまあ50,60を超えていると言いましたが、他に、えー、なにか、そういった50を超えてる

否定側: えーと、橋本総理大臣も越えていた時はあります。

肯定側:はい、一時的には超えて、

否定側: はい。

肯定側: 超えたときもあると。

否定側: はい。

肯定側: 分かりました。一時的なものであったと。それから、2点目に関して

否定側: はい、しかしながら26%と

肯定側: はい。

否定側: いうのも(事實的)なのです。

肯定側: はい、分かりました。えーと、それからですね、

否定側: はい。

肯定側:えー、2点目に関してなのですが、えーと、えー、まず、ですね、現状で、えー、プロセスで、まあ、議員を選ぶ時点で直接参与されているということをおっしゃってましたが、これに関しては

否定側: はい、ちょっと待ってください。2点目というのは政権交代の話ですか？

肯定側:ああ、じゃあ、すみません。いっ、ああ、2つ目になるわけですね？

否定側: 2つ目、ああ、はいはい。

肯定側: はいはい。

えーと、それに関しておっしゃっていましたが、

否定側: はい。

肯定側: えーと、ここで、え、議員を選んずること、まあ、えーと、否定側の主張としては、まあ、それで十分民意も反映されているということですか？

否定側: そうです。

肯定側: 分かりました。えーっと、否定側のスタンスとしてはそうであると。

否定側: はい。

肯定側: えー、それから、では、2点目の政権の話についてです、政権の固定の話に関してですが、えーと、ここでおっしゃっているのは、

否定側: はい。

肯定側: えーと、その、任期の途中でリコールで、え、代わらないということをおっしゃったわけですね？

否定側: そうですね、それ以外代えようがありませんから。

肯定側: はい、了解です。えーとですね、えー、ではこの後の反駁で我々の述べているのは違うということを述べたいと思います。えーと、それでは3点目の地域の利益代弁者ということに関してですが、えーと、これはそういった、えーと、否定側としておっしゃりたいのは現状では、まあ、そんなことはないとおっしゃっていましたが、現状でちい、地域に利益を還元する首相がいなかったということですか？

否定側: はい、そうです。っていうか、むしろ、その、それを意図した政策というのは行われていないということです。それはむしろその議論っていうのは議員に当てはまることだと言っている。

肯定側: はい。えっと、それでは4点目に関してですが、んーと、えーと、投票率の、まあ、低下ということに関してですが、えーと、上がった分は、えー、まあ、42%から58%ですから、まあ、約10%少し、(pipipipipipi...) はい、終わります。

1NR

これより否定側の反駁、えっと、第一反駁を行います。えーと、まず、えーと、肯定側の、えーっと、(ごうせいのごびょう)に、ああ、否定側の(ごうせいのごびょう)に、(ごうせいのごびょう)が生じるということに対して、国民は環境問題などを見て分かる通り、えっと、マクロ的に考えることができると、肯定側はおっしゃいました。しかし、これは、えーっと、我々は経済問題などから、えーっと、(ごうせいの

ごびょう)が発生するということを証明したのであって、それに対しての反駁にはなっておりません。えーっと、発生過程に対する反駁にはなっておりません。えー、次に移ります。えーっと、えーと、肯定側は、せい、えーと、肯定側は立候補者に、えーと、しゅしょ、首相、えーと、選ぶべき首相に対して、えーと、行うのはそれほど知識を知らないというようなことをおっしゃいました。えーと、しかし、政策判断をするということ、えーと、首相の掲げる政策判断をしなければならないので、えーと、非常に高度な知識を国民には、本来なら要求されます。複数の首相が、複数の政策を同時に並べて、なんか、個々の政策ごとの優越を比べつつ、な、さらに総合的な、えーっと、優越を決めなければいけないというのはとても、えーと、高度な知識や、えーっと、能力が必要であるのに国民はそれを行うことができません。えーっと、また、えーと、マスメディア、マスメディアの影響によって国民は、えーと、教育されるということをおっしゃいましたが、マスコミが行うのは情報を流すだけであってそれによって、えーと、国民の、えーと、知識や意識や、えーと、能力が向上するということは立証されておりません。えーと、えーと、また、肯定側は、えーと、アメリカにおいては、(ちょっとフロー見して、フロー見せて)、えーと、アメリカの例を引いて、えーと、議会と、えーと、議会と行政の対立は起こらないとおっしゃいましたが、しかし、これに、えーと、これはあめ、あくまでもアメリカという特殊な例であってそれ以外、日本においてこれが当てはまるということは一切立証されておりません。えーっと、資料を引用します。えーと、資料は99年、制度政治論です。「第一にアメリカ大統領制の統治の安定性は西洋民主主義との関連で考えると独自の歴史的制度的な条件の結果であり、第二にアメリカ大統領制の安定性は同時に、どう、独特の政治的条件の結果である。中略。これは西洋において全体(しゅぎ)や権威主義から登場した(けん)においてもその民主主義的な統治の形式を変えてきた国においてもアメリカの大統領制の道が決して深刻に考慮されなかった理由である。」つまりアメリカというのは非常に特殊なのです。これを日本に適応すれば、適応、えーっと、にっ、これ、これによって、え、えーと、与えられている議会と、えーと、行政が対立しないということは日本においては適応されません。えー、えーっと、えーっと、肯定側は、えー、国会議員の推薦が50人、え、50人の国会議員の推薦により、えー、選ばれるので、えー、候補者が絞られるので、えーと一、えー、絞られるとおっしゃいました。えーと、しかし、これはあくまでも、えーと、立候補段階においてどのような政策を

掲げているかであってその人の行政的手腕や、えーと、政治的決断についての判断が行われているということは、えーと、立証されておられません。えーと、さい、えーと、最後に価値比較を再び行います。えーっと、何度も繰り返してますが、否定側は、えーと、民主主義と民主政治を分けております。そして我々が、えーと、求めるのは民主政治であって民主主義、民主政治です。えーと、民意の発生によって民主主義は達成できるかもしれませんがそれによって、えーっと、それによって衆愚政治が発生し逆に民主しゅじが、民主主義が、えーと、行われなくなるということをご理解ください。以上です。

1AR

では始めます。えー、まず先ほど、小渕首相の支持率について、あつたんですが、それは部分的に高かったということで、えーと、肯定側のプランの一番目には、ま、過半数を得なきゃいけないと、常に支持は過半数であろうと、ということです。えーと、またプロセスについて、と、国民が議員を選び議員が首相を選ぶ、こういったプロセスがあるとおっしゃられましたが、えーと、こういった選び方をされた首相は国民に支持にされていません。えー、んー、肯定側のプランでは常に支持されます。と、また任期は4年で、と、不信任案が可決しなければ政権、ん、不信任案が通らないという話がありましたけれどこれはまったくの勘違いであります。と、任期が4年とかそういう問題ではなく、えーと、その任期4年終わった後のその後の選挙で政権が代わる、代わります。と、今は、と、その不信任案が通ったとしても首のすげ替えになってしまって、えー、あ、首のすげ替えの状態になっています。と、しかしプランを導入すれば、その、すげ替えなんかなかく政党は代えることができます。えー、また地域(誘導)の()で、んーと、田中首相は、えーと、首相なのにそういうふうな地域(誘導)、地域の利益のために、えー、まあ駅を建てたと。えー、それは議員のことであつ、ことであると言われましたが、つとまあ、まあ、首相も元は議員だったと、いうことで。えー、そのまた投票率が上がるとい、ま、現状でも上がっているという証拠資料を挙げられましたが、わずかなもので、まあ、関係なしと、こちらは判断します。つと、こちらのプランを導入すればあがる、その投票率は上がる分は格段に違います。えー、(9秒間沈黙) また、えと、国民に下りてくる情報量が少ないということがありましたが、つと、情報量は少なくとも官僚がいるので、と、その分はカバーできます。また、と、マスコミが間違った報道をするというふうな話がありました

が、マスコミが常に間違っているという、ほしょう、ん、常に間違っているという、ん一、保証はありません。民主主義についての議論で、ま、国民の利益にならなければ、え一、(9秒間沈黙) あ、国民の利益にならなければならないというのは一緒です。あ、先ほどの否定、の、第一反駁の中で、ん一と、アメリカの資料は日本に当てはまらないというところで証拠資料の中にも独特であると、日本は独特であるという、ところがありました。え一、時間なんで終了します。

2NR

それでは否定側第二反駁を始めたいと思います。え一と、まず始めにもう一度かつ、価値比較をしたいと思うんですけども。え一と、これは重要性に関してですね。つまり民意の反映と衆愚政治。これを価値比較した場合に、え一、民意の反映というのが仮に起こったとして、それが起こることが問題なのだと我々は主張しているのです。つまりですね、それで確かに民主主義というのは達成されるでしょう、しかし、それが民主政治を達成することにならないのです。なぜならば、民主、主義を導入することによって、それが失政につながる、イコール民主政治の達成、が困難になるということなのです。つまり民意の発生、が衆愚政治を生む。つまりその民意の発生という重要性というのは非常に低いものと思われま。え一、つ、づいて、え一と、発生過程について、え一、反駁があったものに関して、再反駁をしたいと思うんですけども、え一と、まず、はい、現在の、え一、首相公選制を導入すれば、え一と、え一、支持というのは過半数以上確かにあると先ほど、肯定側第一反駁おっしゃられました。え一、過半数の支持は必ずしも得られるわけではありません、なぜならば、5人いれば、え一、その中に投票は分散し、必ずしも過半数が得られるわけではありませんね。た、たとえ、この、まあ、プランによると過半数がないと無理ということですが、例えば2人その中から、上位2候補選んだとしても、それで過半数が得られるとしてもそれは、国民全体の過半数の意思が反映されているとはいえませぬ。え一と、次に、え一と、政権交代に関してですが、え一、4年終わった後政権交代があり、それで政党が代わるという、おっしゃられましたが、え一、4年終わった後政権が代わる、それによって政党がなんで代わるんでしょうか。同じ政党かもしれませんよね。ということでその政党が代わるかどうかということは立証されていません。そして、え一、現在と比べて、現在はですね、4年間の間に何回も代わっているわけです。しかしながら、え一と、プラン導入により4年間は絶対に代わらないわけですね。したがって

その分その間ずっと民意が反映されてないということです、肯定側のふ、えーと、立論によると。したがって現在では4年の間になんど、何度も代わる。その根拠は55年体制っていうのが崩れ、() も多いわけです。その場合例えば公明党と自民党、じ、自由党。この場合じ、公明党自由党の支持者という民意が反映されているわけです。したがって政権交代というのは現在起こっているわけです。それによって民意は反映されている。しかしながらプラン導入によりその民意というのは逆に反映されなくなってしまいうわけですね。えーとさらに、えっとー、マスメディアの効果、まあ、5点目ですね、マスメディアの効果に関してですけども、えと、マスメディアが常に間違っていること、とはかぎらない。間違っていればそれはそれでいいんです。現状と変わりません。その官僚の政策、とまあ、ほぼ一緒の政策評価ができていますということです。しかしですね、間違えば確実に失政が多くなるということなんです。つまりマスメディアの分析、というのはいくら、もっとも正しくても、その官僚、の正しさ、と比べ同じ、程度、と思われまますので、例えばその分析が失敗している場合明らかに失政というのは多くなるといっているのです。えー、それから、続いて、えーと、否定側の議論に移りたいと思うんですけども、えーと、まあ、反駁された点に関してアメリカ、の例、は、えーっと、えー、挙げて、我々はアメリカの例を挙げて、そしてその、それに対して日本は当てはまらないとは限らない、とおっしゃいましたが日本は当てはまらないです。なぜならば先ほど証拠資料で述べたようにそれはアメリカは特殊なんです。それが根拠です。アメリカは特殊なわけで、そして、新たな国には導入されていないと証拠資料にも述べました。つまり新たな国、日本ですね、日本には当てはまらないです。えーと、それから、えーと、まあ、首相、えー、首相の政策、っていうのを判断、えーと、あ、官僚政治、が、は、いず、維持するということに関しては、だから、首相の政策が判断できない

(pipipi...)

ということが問題、と我々は主張します。

2AR

それでは肯定側の第二反駁を始めたいと思います。えーと、それではまず議論を大きく、えー、総括していきたいと思います。まず、えー、比較としてでは、まず、めり、我々のメリットとこのデメリットの1点目、衆愚制に関して比較を行っていきます。えーとですね、先ほどの、えー、否定、否定の第二反駁のあったように、えー、まず

民意は反映されるんだ、このことに関しては否定側も認めて頂きましたので、えー、民意の発生過程に関する議論に関して議論を行うことは無意味でありますので、はたしてその発生、反映された民意は正しいのか正しくないのか、この点が一番の争点です。この点に関して議論を行っていきたいと思います。まず、先ほどか、先ほどから否定側が述べている民意は間違っているとする根拠です。その1点目の根拠、官僚のほうが、えー、すご、えー、正しい判断ができるということをおっしゃってます。しかし我々の2つを思い出してください。えー、さき、え、官僚の部分に関しては代わらないということは何度も先ほどから述べていますが官僚と、え、比較されるのは非常におかしいことです。官僚が、例え首相公選制を導入しても官僚は別にちゃんといるんです。首相が、えー、公選制で選ばれたからと、とって首相が、あ、官僚が全て取り払われる、そんなことは我々一言も言ってません。官僚が、えー、優秀な官僚の上でその新しい首相が、えー、新しい政治を行う、そのことに重要、我々のメリットが、え、我々の述べている民意の反映があるのであって、官僚とまず比較、しているという時点で、えー、これはおおき、官僚が別に首相を選んでいるわけじゃないんですから、官僚と、ん、そうです、官僚と、が、首相を選ぶわけではないのでこの官僚と比較するのは間違いでもあるし、また現状、プラン導入後と現状もまた変化はありません。せ、それから、根拠のその、民衆が愚かである根拠の2点目として、えー、財政問題のことをおっしゃってましたが我々の環境問題の例に対して経済問題のことを挙げた、いたのだから、この反駁はあたらないということをおっしゃってました。しかし、えー、とまあ、当たらないということをおっしゃっていただけで終わった非常に、えーと、まあ、反駁としては根拠は少ないんですが、えー、これに関しては、えーとですね、まあ、我々が述べたことが、まあ、先ほど、おっしゃっていたように財政問題、つまり国民が負担する問題に関してはどうかということに関して議論したので、この反駁は当たっていると考えます。えーと、それでその上で我々が、えー、いかに国民の民意が正しいものであるかを考えます。えーと、我々が、えーとですね、最初の立論の重要性のところまで述べ、えー、重要性の2点目で述べたように、えー、我々これの、ふら、えー、メリットによって政策の充実が起こるといってます。つまりそれは民意が正しいからです。例えば、えー、えーとですね、その重要性の中で述べた住専の問題、あれは明らかに、えーと、国民に負担を強いるだけの悪法でした。しかしそれは国民が反対しているにもかかわらず、えー、政府は

それを無理やり導入しました。こういった、国民に被害のある法案を、えー、法案でもやめさせることができる、民意のは、正しい民意を反映す、えー、われ、民意を反映させることによって、え、とめさせることができる、ということが、えーと、いえません。つまり、えーと、ですね、結果的にまず民意は、えー、反映され、それが正しく、はん、えー、正しい政治が行われます。では仮に、えー、間違った政治が行われるとしましょう。えー、否定側の言う通り間違った政治が行われた場合の話をしてします。えー、間違って政治が行われた場合我々が2りつ、えー、第二立論で述べたようにまず、えー、議会のチェックの機能が働きます。それはあめり、えー、実際アメリカでも、えー、行われていたので、えー、じす、えーですね、あまりにも、えー、国民、ん、国民の人気取りのためにだけに掲げられたような法案は議会が通すはずがありません。よってそういった、えー、あまりにも無理な、()、え、無理な政策に関してはきちんと議会で否決されます。で、えーと、その、アメリカの例に関する議論ですが、えー、まあ、ですね、特殊だかこん、特殊な()だし根拠がない特殊だ根拠がないと()が続いてしまいましたので、これが例え、えー、仮に、ですね、われ、えー、デメリット2と我々がターンアラウンドとして述べた、少数意見の反映、これが両方発生したとして考えてみます。えーと、両方発生した場合には、まあ、少々議会が対立して議論に時間がかかるかも知れません。しかし、ぎ、えー、じか、時間がかかればその分我々が言ったように、えー、議論がなされるわけです。それによって少数意見が反映される、それだったら別に少々対立して時間がかかったところで全く問題はないではないですか。我々が述べたように議論が深まり少数意見がそれによって反映されればよりよい政治が実現されることは間違いありません。よって、えーとですね、メリットとデメリットの比較、デメリットに、えー、

(pipipi...)

えー、比較してもそっちのほうが大きいわけです。

ディベートにおける談話構造の日米比較

平成 11 年度～平成 13 年度

科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））

課題番号 11610561 研究成果報告書

発行年月日 2002 年 3 月 29 日発行

研究代表者 井上奈良彦

九州大学言語文化研究院

言語コミュニケーション研究室

810-8560 福岡市中央区六本松 4-2-1

092-726-4667

inouen@rc.kyushu-u.ac.jp

印刷所

株式会社サガプリンティング

849-0936 佐賀市鍋島町森田 909